ONESOURCE Global Trade Visibility (GTV)

ユーザーガイド

Version 26.3

© 2026 Thomson Reuters

Contents

はじめに **5**

メインメニュー **5**

GTV ダッシュボード **5**

ダッシュボードのナビゲーション 5
現在の設定 5
表示オプション 6

マップナビゲーション 7

ダッシュボードのレポートナビゲーション 9

ダッシュボードの保守 11
個人用ダッシュボードの保守 11
個人用ダッシュボードの作成 11
既存の個人用ダッシュボードの修正 14
既存の個人用ダッシュボードの削除 15
共有ダッシュボードの保守 17
共有ダッシュボードの作成 17
既存の共有ダッシュボードの修正 21
既存の共有ダッシュボードの削除 22

Global Trade Visibility レポート **23**

カテゴリナビゲーション 23

ビューナビゲーション 24
独立したビュー 24
対象のシーケンシャルビュー 25

レポートナビゲーション 26
トップレポート 26
すべてレポート 27
YoY（前年比）レポート 27

データ検証レポート 28
確認済み/無視へのオープン検証の更新 29
レポートリンク 30
関税分析 30
EV（搬入検証）のビュー 31
WCO 説明 31

レポートオプション 32
表示オプション 32

© 2026 Thomson Reuters

フィルターの追加/管理 33
フィルターの追加 33
フィルターの管理 36
What Ifオプション 36
関税 37
生産関連 38
What Ifベストプラクティスと提案 40
お気に入りの星 42
お気に入りレポートの削除 43
レポートの印刷機能（グラフ） 44
レポートの抽出機能（グリッド） 45
レポートの共有機能 46
注釈 47
GTV メモのレポート 48

申告詳細ビュー 48
申告の検索 48
グリッドの並べ替えとフィルタリング 50
テーブルビュー 50

GTV レポートルックアップ 52
ドック（レポート） 52
一括レポート設定 53

相互参照データ設定 54
ステージングデータの更新 55
クライアント主導のデータ検証 55
標準データ検証 56
必須データ検証 58

GTV メールテンプレート 59

優遇プログラム 60

国地域 61
地域の新規作成 62
地域の有効化 63
地域の無効化 63

港コード 64
積地港の追加 64
既存の積地港の変更 65

© 2026 Thomson Reuters

既存の積地港の検索 66

為替レート 66

ブローカーデータ監査管理 68

ブローカーデータ監査画面のナビゲーション 69

ブローカーデータ監査プロセス 72

申告サンプルへのアクセス 72

ブローカーデータ監査詳細（グリッドビュー） 73

ブローカーデータ監査詳細（テーブルビュー） 75

ブローカー監査注釈の追加 76

全体注釈の追加 77

監査ステータスの設定 78

申告詳細の抽出 79

ブローカーデータ監査エントリの更新 80

ブローカーデータ監査の転記 80

GTV 検索 82

GTV 検索の使用 83

検索の保存 86

保存した検索の「カテゴリ」の作成 87

保存した検索の取得 88

保存した検索の編集/コピー 89

新規検索の作成 89

抽出機能の使用 90

［検索を削除］オプションの使用 90

用語と主要定義 90

© 2026 Thomson Reuters

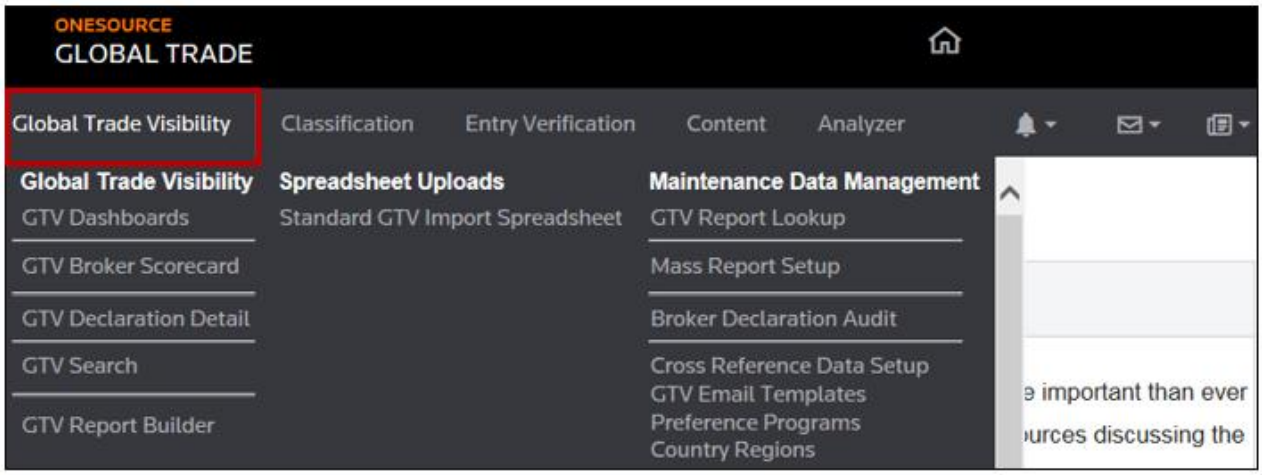
はじめに

ONESOURCE Global Trade Visibility (GTV)ソリューションは、顧客の取引データを集約した包括的なグローバル参照ツールであり、グローバルレベルのレポートを表示できます。このレポート作成プロセスによって、複数の国のデータを一度にレビューし分析するための、統一されたプラットフォームが実現します。

このシステムは、すべての通関申告をグローバルに把握できる高レベルの「管制塔」ビューを提供します。それらの通関申告は、効果的な分析のために統一されマッピングされています。GTV を使用すると、潜在的なコスト削減の機会やコンプライアンス上のリスクを特定できます。GTV にはすぐに使用できる多数のレポートが付属しており、各レポートをさらに掘り下げて、より具体的な目的に使用することができます。

メインメニュー

ログインして [Global Trade Visibility] メニューをクリックすると、使用可能なオプションのリストが表示されます。メニュー項目を選択するには、目的のオプションにカーソルを合わせてクリックします。



GTV ダッシュボード

[GTV ダッシュボード] 画面は、複数のレポートを同時に表示するために使用できます。ユーザーの必要に応じて、ダッシュボードを共有するように設定することも、個人用に設定することもできます。この画面を開くには、[Global Trade Visibility] メニューから [GTVダッシュボード] を選択します。

ダッシュボードのナビゲーション

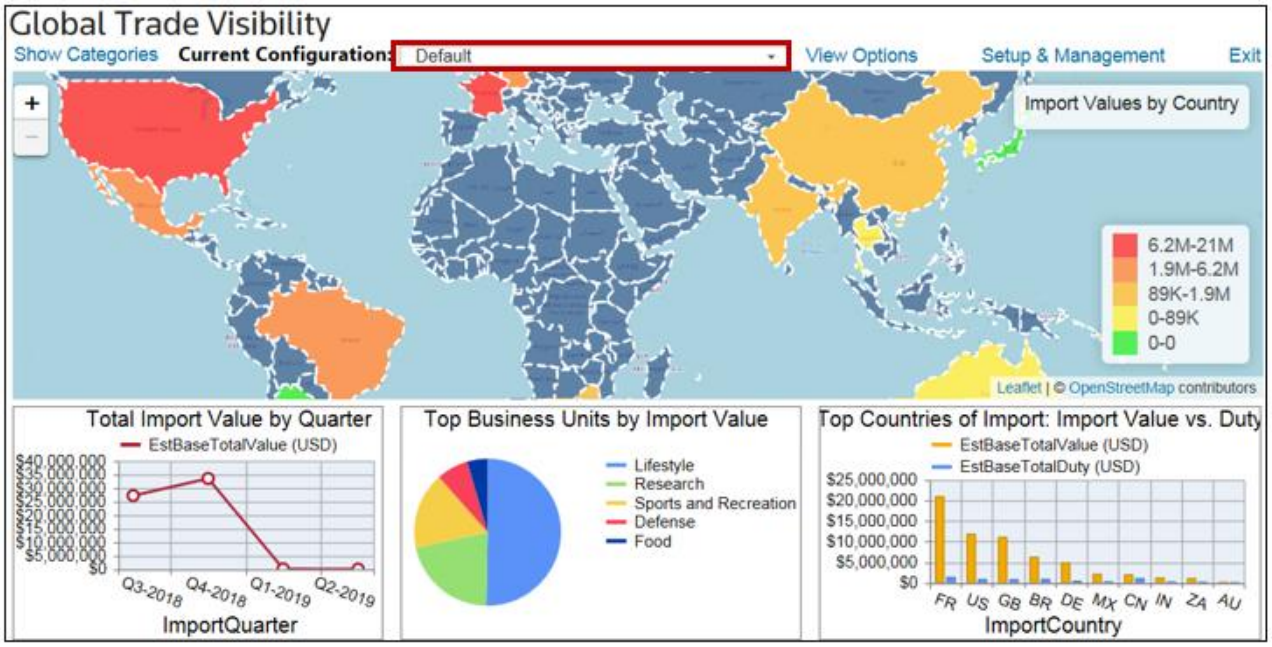
現在の設定

[現在の設定] ドロップダウンは、画面の左上にあり、追加のダッシュボード設定オプションに探索するために使用できます。

個人的設定はユーザーごとに利用できます。

© 2026 Thomson Reuters

共有設定は一般的なセキュリティグループで共有されます。



表示オプション

[表示オプション] リンク（画面の右上）は、すべてのシステム（ダッシュボードを含む）レポートに表示される日付の範囲を修正するために使用されます。

[表示オプション] を使用するには、リンクをクリックします。これにより、日付範囲のオプションを複数備えた [表示オプション] ポップアップが開きます。

ポップアップの上部には、データを読み込んだ最も古い日付と最も新しい日付の日付パラメーターがあります。

ポップアップの中央には、複数の日付範囲オプションがあります。

ポップアップの下部には、すべての範囲内の国と、データが国ごとに読み込まれた最後の日付を含むドロップダウンがあります。

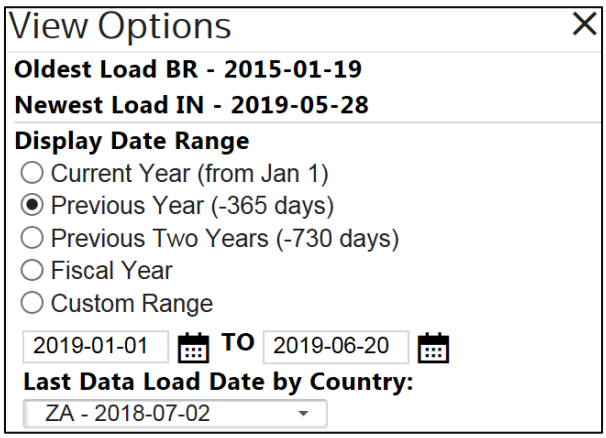
すべてのロード日付は、情報が ONESOURCE に読み込まれた時間に基づきます。

[日付の範囲の表示] セクションには、選択するさまざまなオプションがあります。

© 2026 Thomson Reuters

オプション	説明
本年	年から日（本年の 1 月 1 日から）
昨年	現在の日付 - 365 日
前 2 年	現在の日付 - 730 日
会計年度	企業の会計年度
カスタム範囲	カスタム範囲(ユーザーが選択した日付パラメータ）

日付範囲を選択した後、右上隅にある [X] をクリックして、[表示オプション] ポップアップを閉じます。これにより、ダッシュボードと、ONESOURCE GTV 内のすべてのレポートの両方が、更新した日付範囲で再レンダリングされます。更新した日付範囲は、選択が行われたパートナー ID にのみ使用されます。



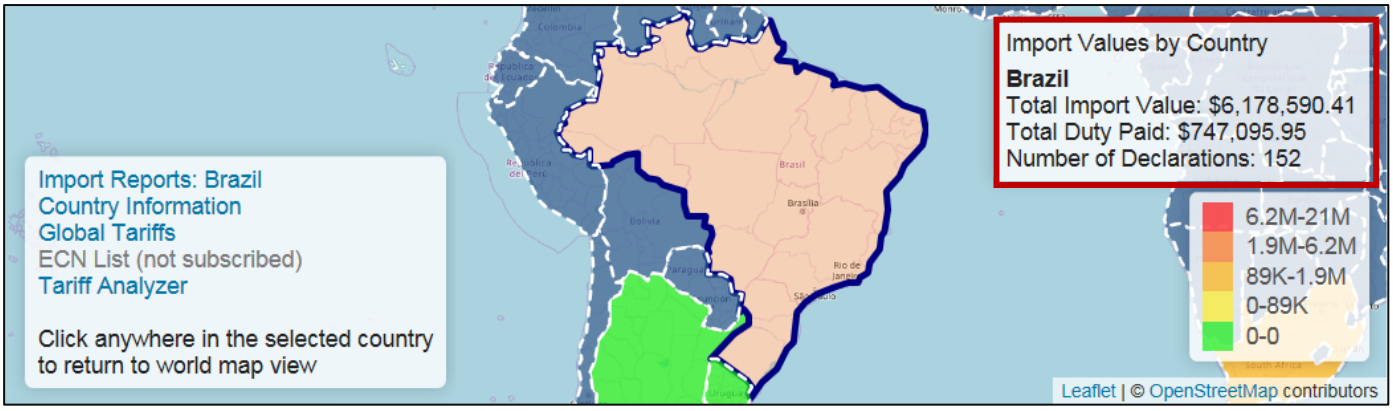
マップナビゲーション

国固有の追加情報は、画面に表示された 1 組のテキストボックスに示されます。最初のテキストボックスには国別の輸入価額が表示され、次の値が示されます。

- 合計輸入価額
- 合計支払い済み関税
- 申告数

このテキストボックスは、マウスを国の上に置いたときにマップの右上に表示され、国をクリックすると画面に表示され続けます。

© 2026 Thomson Reuters



2 番目のテキストボックスは、ONESOURCE Global Trade Content への現在のサブスクリプションに基づいて設定されます。これには以下の情報が含まれる場合があります。

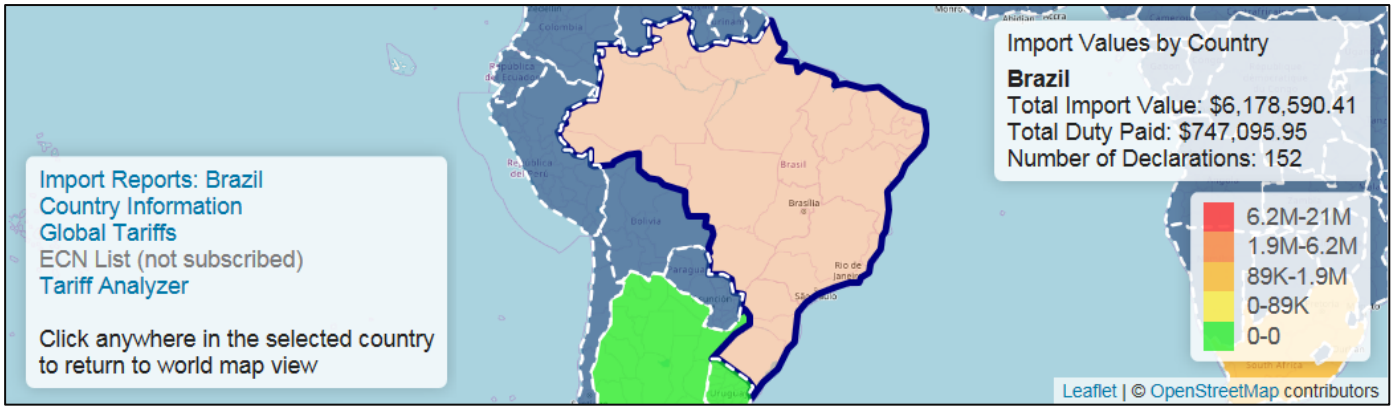
- 国情報
- グローバル関税
- ECN リスト
- 関税分析

このテキストボックスは、国をクリックするとマップの左下に表示されます。一覧表示されている内容オプションにアクセスできな場合、そのリンクは非アクティブになります。リンクを有効にするには、システム管理者に連絡してください。

Global Trade Content 機能に関する詳細については、ONESOURCE Global Trade Content ユーザーガイドを参照してください。

世界地図ビューに戻るには、選択した国の任意の場所をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



選択した国のコンテンツ	説明
輸入レコード（国選択済み）	ダッシュボード設定を定めるときに、マップ対象として選択したレポートを開きます。詳細については、「ダッシュボードの作成/編集」を参照してください。
国情報	ONESOURCE「国情報」の内容ポップアップを開きます。ここでは、国固有の情報のさまざまな要素が、範囲内の内容のレベルに基づいて表示されます。
グローバル関税	選択した国の ONESOURCE「グローバル関税」の内容ポップアップを開きます。完全な実行関税率表が表示されます。
ECN リスト	ONESOURCE「ECN/デュアルユースリスト」の内容ポップアップを開きます。選択した国の完全な ECN 規制リストが表示されます。
関税分析	ONESOURCE「関税分析」コンテンツポップアップを開きます。選択した国が、[仕向国] フィールドに事前に入力されます。

ダッシュボードのレポートナビゲーション

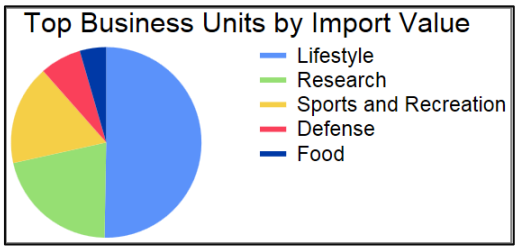
追加のレポートをダッシュボードに追加して、クエリの包括的な場所をさらに作成することができます。左上に対して設定を選択した後、ダッシュボードが再生成され、選択した名前に関連付けられた選択済みのマップとレポートが表示されます。どのグラフ、チャート、グリッドレポートでもダッシュボード設定に関連付けることができます。

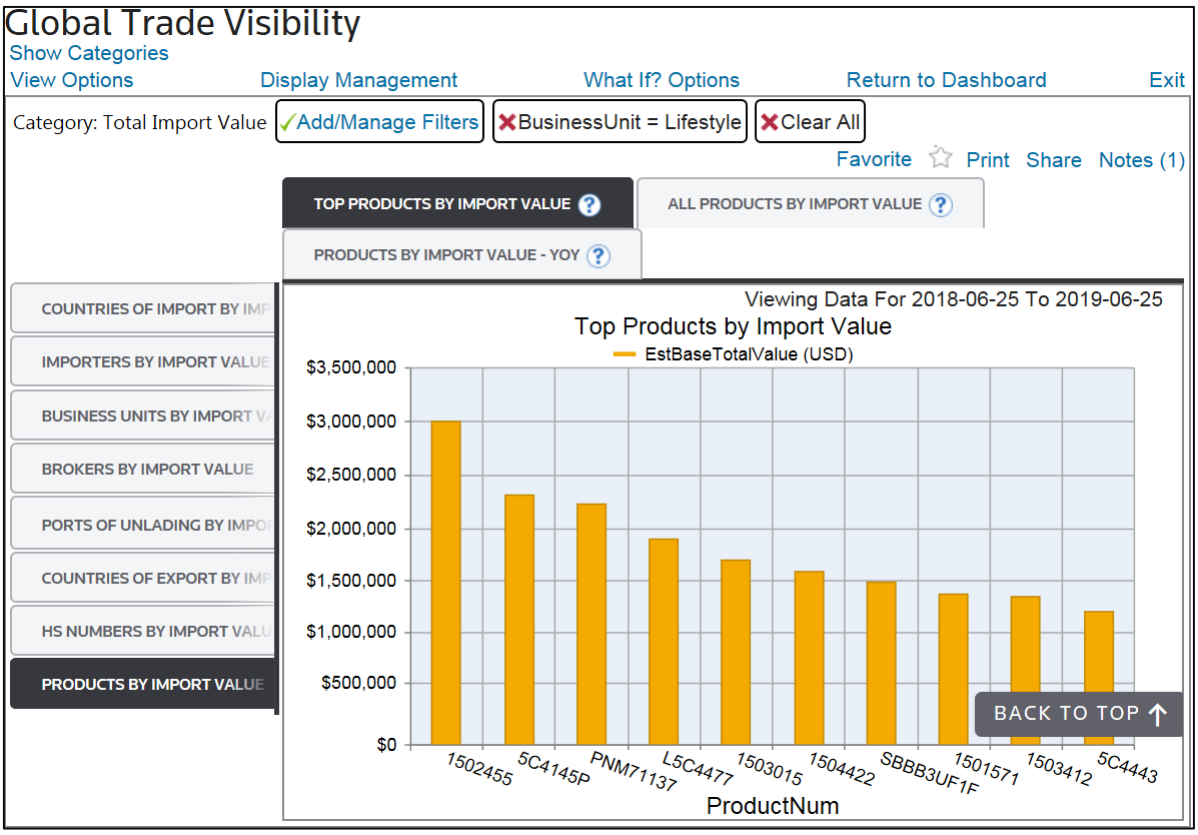
ダッシュボードに表示されるレポートには、関連付けられた対象も含めることができます。新しいダッシュボードを設定するときに、ダッシュボードからのレポートリンクを、システム内の任意のレポートに割り当てることができます。

対象を使用するには、対象リンク機能で使用するように設定された任意のレポート内で変数を選択してクリックします。変数を選択すると、ダッシュボードから、適切なフィルターが適用された事前設定されたレポートにリダイレクトされます。

© 2026 Thomson Reuters

下の例では、ダッシュボードの [輸入価額別のトップブローカー] レポートから「CSM Freight」が選択されました。このレポートには関連付けられた対象があるので、「ブローカー名 = CSM Freight」フィルターで [輸入価額別のトップ製品] レポートに移動しました。





© 2026 Thomson Reuters

ダッシュボードの保守

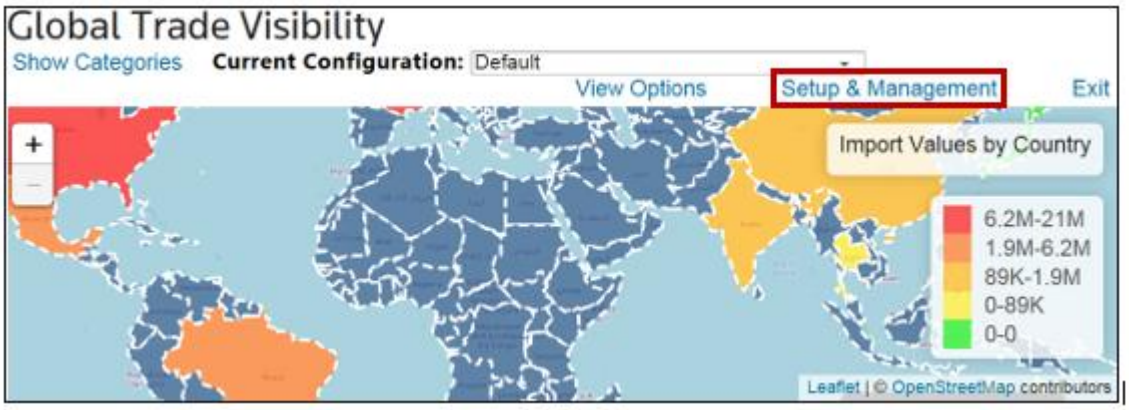
作成したダッシュボードは、個人用または共有です。

個人用ダッシュボード	このダッシュボードは、作成した人だけに表示されます。
共有ダッシュボード	このダッシュボードは、アクセス権限が与えられたセキュリティグループに表示されます。管理者ユーザーだけが共有ダッシュボードを作成できます。

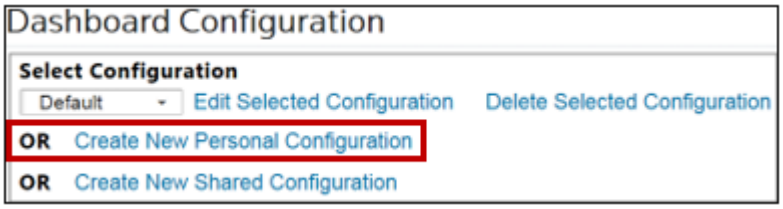
個人用ダッシュボードの保守

個人用ダッシュボードの作成

新しい個人用ダッシュボードを作成するには、[設定と管理] をクリックします。これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。



[ダッシュボード設定] ポップアップで、[新しい個人用設定の作成] をクリックします。



ポップアップは更新し、上部に[名前]、[グリッド]、[マップ]、[レポート]、[権限] の 5 つの進捗ステップが表示されます。現在の設定ステップは青色になります。

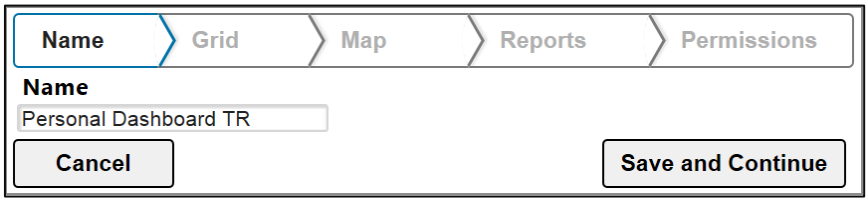
名前	新しく作成した個人用ダッシュボードに名前を付けます（100 文字に制限）。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。

ダッシュボード設定のメイン画面に戻るには、[キャンセル] をクリックします。

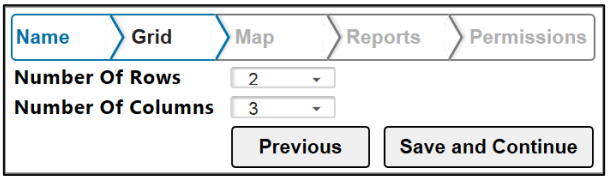
© 2026 Thomson Reuters

ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[キャンセル] または [X] をクリックすると、すべての変更が保存されずに破棄されます。



タブ	説明
グリッド	• **行数:** 個人用ダッシュボードで表示する行数（2 または 3）を変更します。 • **列数:** 個人用ダッシュボードで表示する列数（2 または 3）を変更します。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、[ダッシュボード設定] ポップアップが終了します。

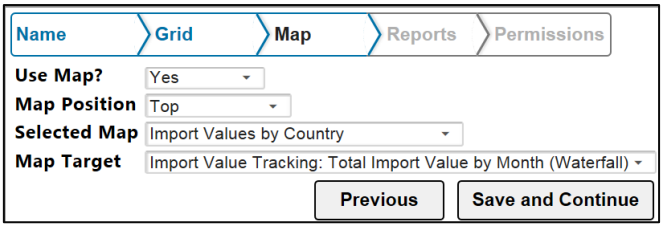


マップ	• **マップを使用しますか？:** 個人用ダッシュボードでマップを表示するには、[はい] をクリックして、その他のフィールドをすべて入力します。マップが表示されない場合は、[いいえ] をクリックし、[保存して続行] をクリックします。 • **マップ位置:** [上部] をクリックすると、個人用ダッシュボードの上部にマップが表示されます。[下部] をクリックすると、個人用ダッシュボードの下部にマップが表示されます。 • **選択したマップ:** 利用可能なオプションからマップタイプを選択します。 • **マップ対象:** このドロップダウンを使用して、マップホバリングテキストボックスで対象となるレポートを選択します。[マップ対象] には、必要なレポートの検索に役立つ先行入力機能があります。対象が必要でない場合は、ドロップダウンを [対象を選択してください...] に戻します。 • **注釈:** 使用する場合、マップは、ダッシュボードの行全体を使用します。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。

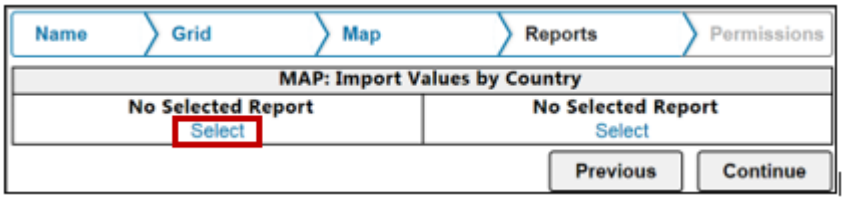
ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、[ダッシュボード設定] ポップアップが終了します。

© 2026 Thomson Reuters



タブ	説明
レポート	このタブは、最終的なダッシュボードレイアウトを模倣するように生成します。たとえば、マップを選択した場合、割り当てられた行全体（上部または下部）がレポートの選択に使用できなくなります。

レポートを割り当てるには、[選択] をクリックします。

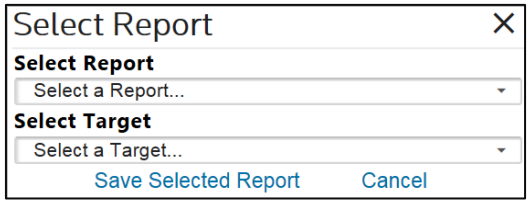


[レポートを選択] ポップアップが開き、次の 2 つのオプションが表示されます。

レポートを選択	新しい個人用ダッシュボードに表示するレポートを選択します。
対象を選択	新しい個人用ダッシュボードでレポートと関連付ける対象を選択します。

ドロップダウンボックスには、必要なレポートの検索に役立つ先行入力機能があります。レポートを対象に関連付ける必要がない場合は、ドロップダウンを [対象を選択してください...] に戻します。続行するには、[選択したレポートを保存] をクリックします。

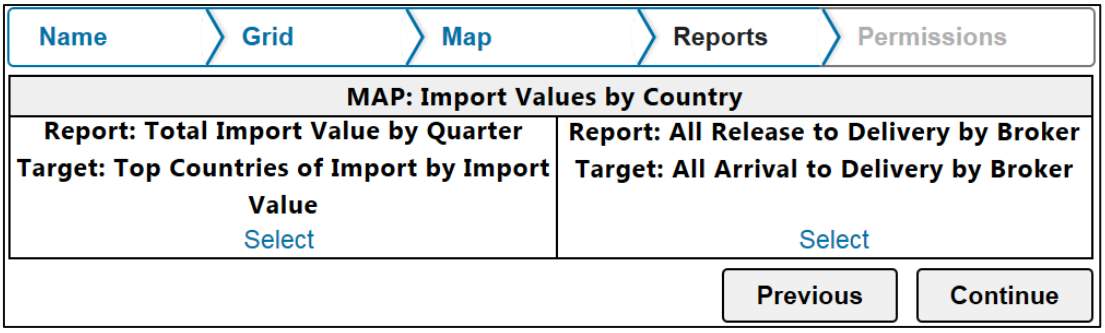
[ダッシュボード設定] ポップアップに戻るには、[キャンセル] または [X] をクリックします。[キャンセル] か [X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、ポップアップが閉じられます。



続行するには、[続行] をクリックします。前の画面に戻るには、[前へ] をクリックします。

ダッシュボードに戻るには、ポップアップの右上にある [X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、ポップアップが閉じられます。

© 2026 Thomson Reuters

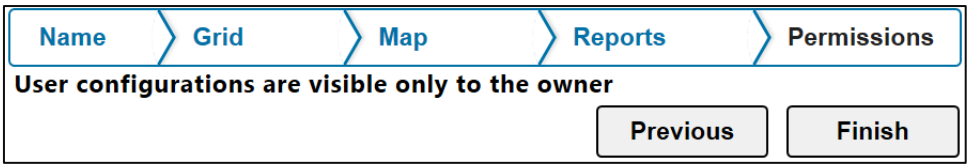


権限	個人用ダッシュボードは所有者だけに表示されます。

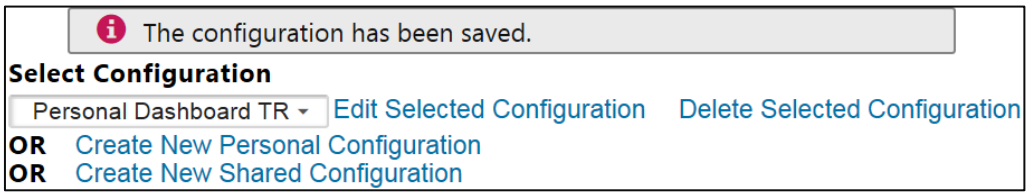
すべての選択を転記するには、[完了] をクリックします。

前の画面に戻るには、[前へ] をクリックします。

[ダッシュボード設定] ポップアップを閉じ、ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、変更内容は保存されません。



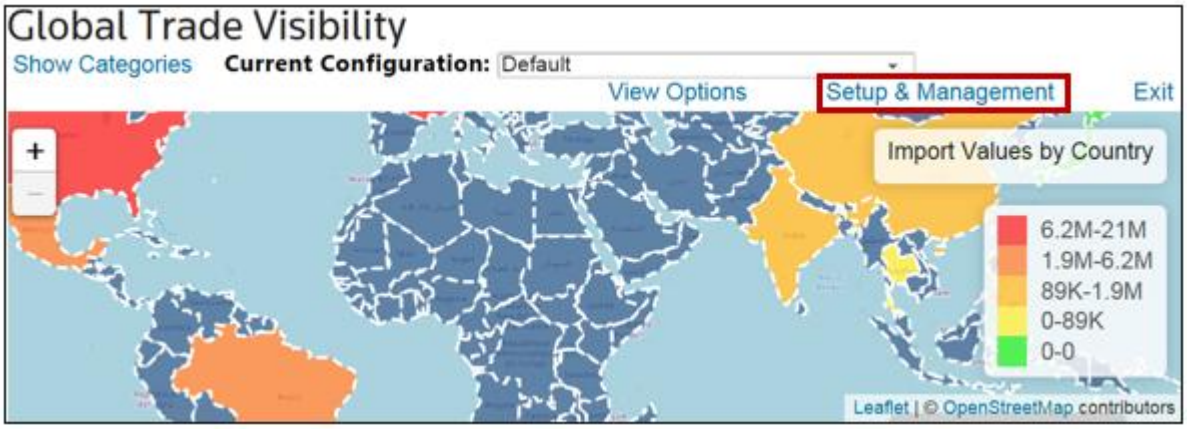
個人用ダッシュボードが転記されると、[ダッシュボード設定] ポップアップにメッセージ（「設定が保存されました」）が表示されます。[X] をクリックすると、ポップアップが閉じ、ダッシュボードに戻ります。



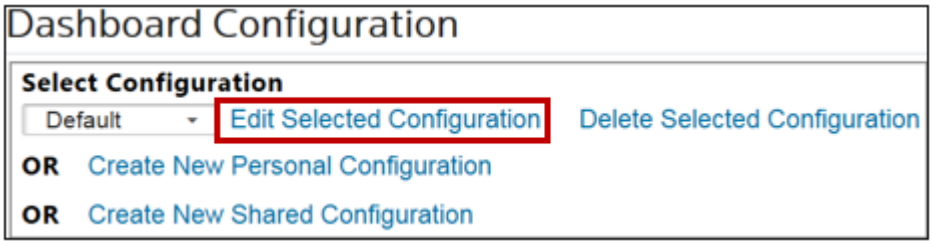
既存の個人用ダッシュボードの修正

既存の個人用ダッシュボードを修正するには、[設定と管理] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。[設定の選択] ドロップダウンを使用して、編集するダッシュボードを探し、[選択した設定を編集] をクリックします。



[選択した設定を編集] をクリックすると、ポップアップが更新され、上部に [名前]、[グリッド]、[マップ]、[レポート]、[権限] の 5 つの進捗ステップが表示されます。

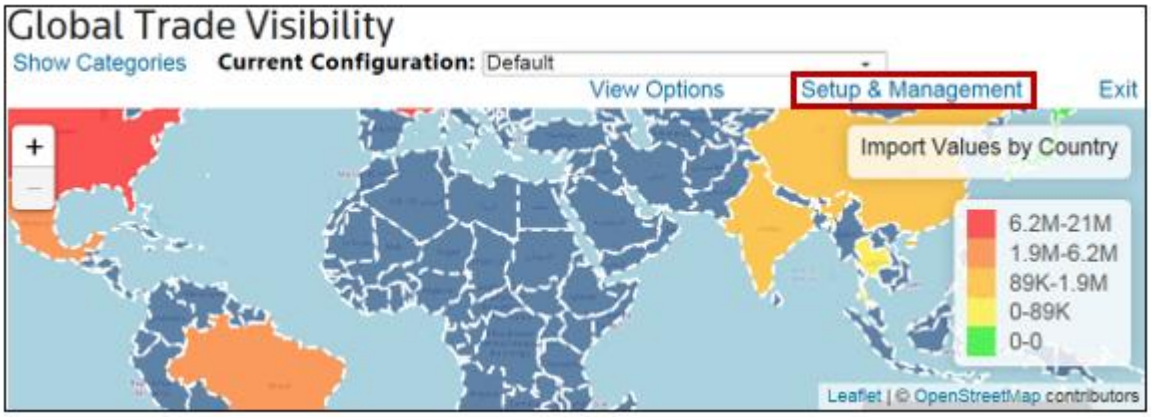
現在の設定ステップは、異なる色で表示されます。個人用ダッシュボードの編集は、新しい個人用ダッシュボードの作成と同じプロセスステップに従います。

詳細については、このユーザーガイドの「個人用ダッシュボードの作成」のセクションを参照してください。

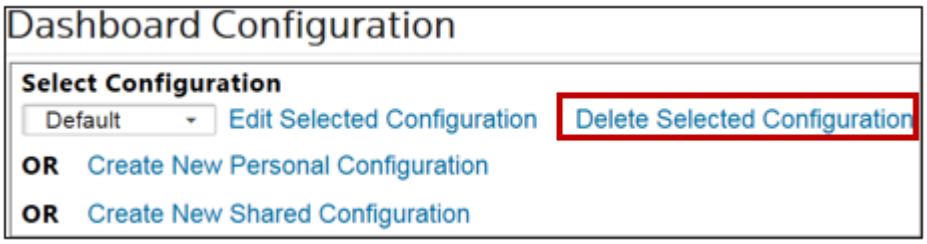
既存の個人用ダッシュボードの削除

個人用ダッシュボードを削除するには、[設定と管理] をクリックします。

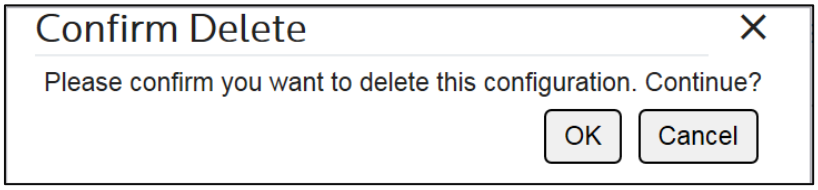
© 2026 Thomson Reuters



これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。[設定の選択] ドロップダウンを使用して、削除するダッシュボードを探して、[選択した設定を削除] をクリックします。

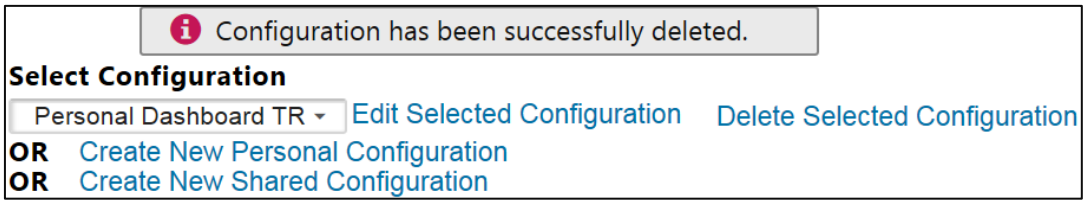


[削除を確認する] ポップアップが開き、ダッシュボードの削除を確認するように求められます。続行するには、[OK] をクリックします。キャンセルするには、[キャンセル] をクリックします。



個人用ダッシュボードを削除すると、[ダッシュボード設定] ポップアップにメッセージ（「設定が正常に削除されました」）が表示されます。

[X] をクリックすると、ポップアップが閉じ、ダッシュボードに戻ります。

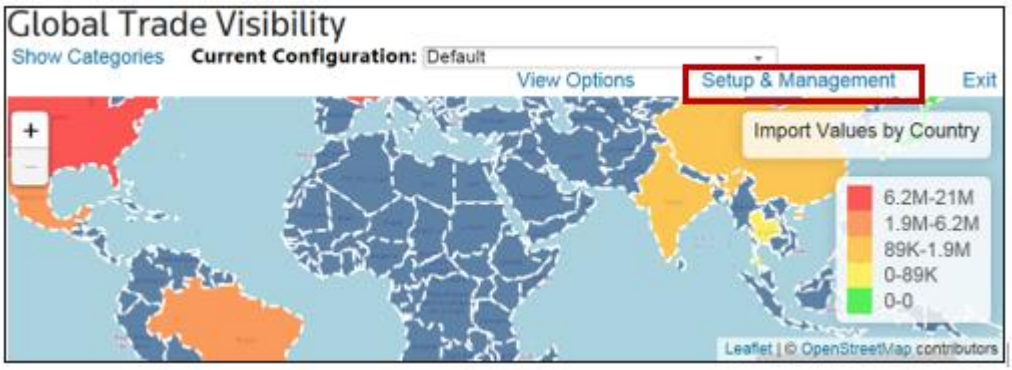


© 2026 Thomson Reuters

共有ダッシュボードの保守

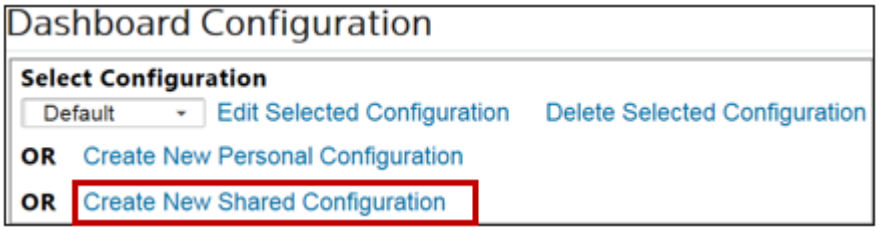
共有ダッシュボードの作成

新しい共有ダッシュボードを作成するには、[設定と管理] をクリックします。これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。



[ダッシュボード設定] ポップアップで、[新しい共有設定を作成] をクリックします。

注釈: 管理者セキュリティグループのユーザーだけが、共有ダッシュボードの作成、編集、削除を行えます。



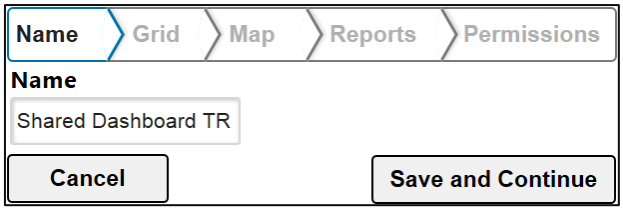
ポップアップは更新し、上部に[名前]、[グリッド]、[マップ]、[レポート]、[権限] の 5 つの進捗ステップが表示されます。現在の設定ステップは、他のステップとは異なる色で表示されます。

名前	新しく作成した共有ダッシュボードに名前を付けます（100 文字に制限）。 **注釈:** 管理者ユーザーだけが共有ダッシュボードに名前を付けられます。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。

ダッシュボードのメイン画面に戻るには、[キャンセル] または [X] をクリックします。[キャンセル] または [X] をクリックすると、すべての変更が保存されずに破棄されます。

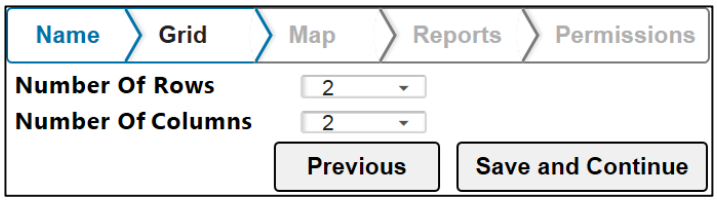
© 2026 Thomson Reuters



タブ	説明
グリッド	• **行数:** 個人用ダッシュボードで表示する行数（2 または 3）を変更します。 • **列数:** 個人用ダッシュボードで表示する列数（2 または 3）を変更します。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。

ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、[ダッシュボード設定] ポップアップが終了します。

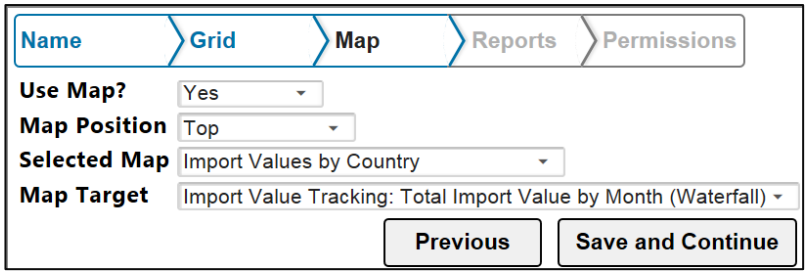


マップ	• **マップを使用しますか？:** 個人用ダッシュボードでマップを表示するには、[はい] をクリックして、その他のフィールドをすべて入力します。マップが表示されない場合は、[いいえ] をクリックし、[保存して続行] をクリックします。 • **マップ位置:** [上部] をクリックすると、個人用ダッシュボードの上部にマップが表示されます。[下部] をクリックすると、個人用ダッシュボードの下部にマップが表示されます。 • **選択したマップ:** 利用可能なオプションからマップタイプを選択します。 • **マップ対象:** このドロップダウンを使用して、マップホバリングテキストボックスで対象となるレポートを選択します。[マップ対象] には、必要なレポートの検索に役立つ先行入力機能があります。対象が必要でない場合は、ドロップダウンを [対象を選択してください...] に戻します。 • **注釈:** 使用する場合、マップは、ダッシュボードの行全体を使用します。

続行するには、[保存して続行] をクリックします。

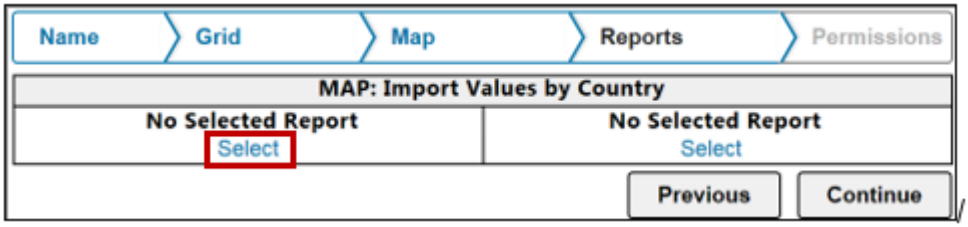
ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、[ダッシュボード設定] ポップアップが終了します。

© 2026 Thomson Reuters



レポート	このタブは、最終的なダッシュボードレイアウトを模倣するように生成します。たとえば、マップを選択した場合、割り当てられた行全体（上部または下部）がレポートの選択に使用できなくなります。

レポートを割り当てるには、[選択] をクリックします。



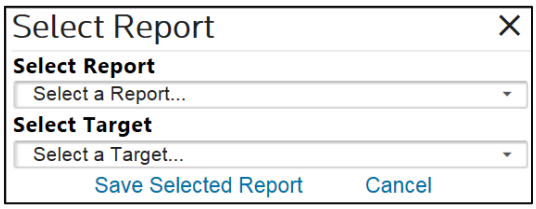
[レポートを選択] ポップアップが開き、次の 2 つのオプションが表示されます。

レポートを選択	新しい共有ダッシュボードに表示するレポートを選択します。
対象を選択	共有ダッシュボードでレポートと関連付ける対象を選択します。

ドロップダウンボックスには、必要なレポートの検索に役立つ先行入力機能があります。レポートを対象に関連付ける必要がない場合は、ドロップダウンを [対象を選択してください...] に戻します。

続行するには、[選択したレポートを保存] をクリックします。

[ダッシュボード設定] ポップアップに戻るには、[キャンセル] または [X] をクリックします。[キャンセル] か [X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、ポップアップが閉じられます。

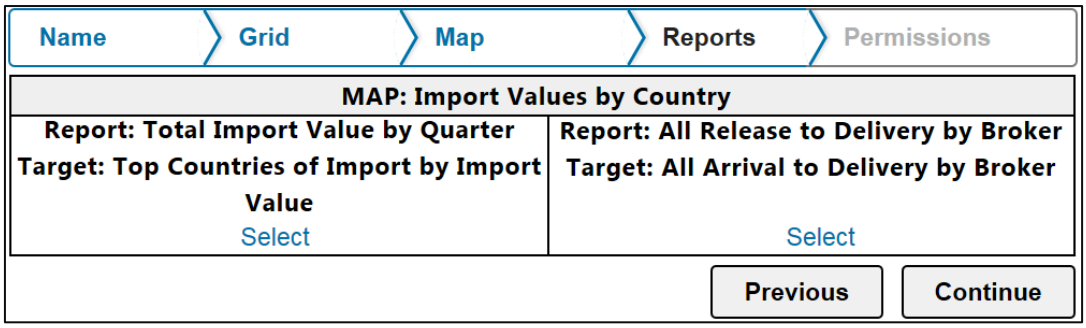


続行するには、[続行] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters

前の画面に戻るには、[前へ] をクリックします。

ダッシュボードに戻るには、ポップアップの右上にある [X] をクリックします。[X] をクリックすると、すべての変更が破棄され、ポップアップが閉じられます。

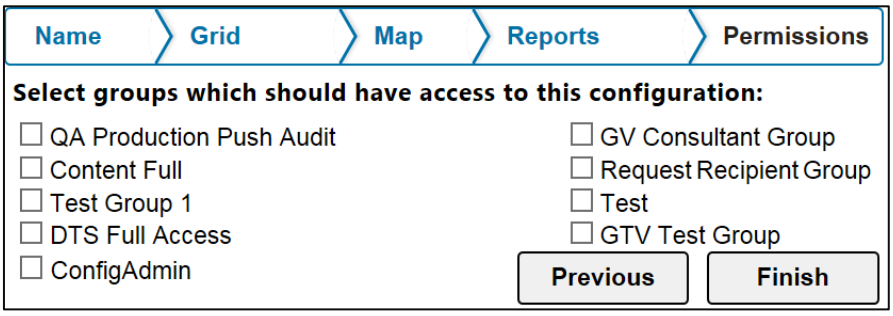


権限	管理者ユーザーが更新する管理権限を持っている利用可能なユーザーグループをすべて表示します。 非管理者ユーザーが共有ダッシュボードを表示するには、そのユーザーの対応するグループの横にあるチェックボックスを、管理者ユーザーがオンにする必要があります。

すべての選択を転記するには、[完了] をクリックします。

前の画面に戻るには、[前へ] をクリックします。

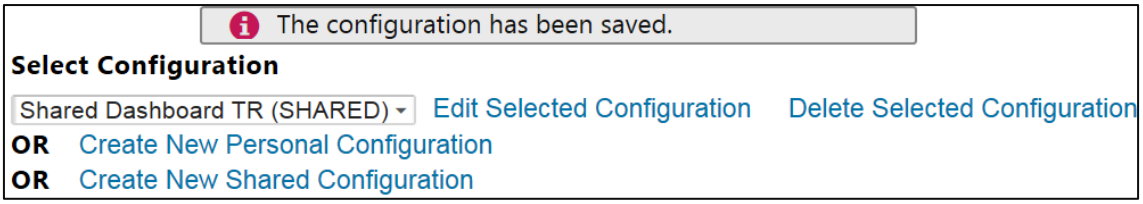
[ダッシュボード設定] ポップアップを閉じ、ダッシュボードに戻るには、[X] をクリックします。[X] をクリックすると、変更内容は保存されません。



共有ダッシュボードが転記されると、[ダッシュボード設定] ポップアップにメッセージ（「設定が保存されました」）が表示されます。[X] をクリックすると、ポップアップが閉じ、ダッシュボードに戻ります。

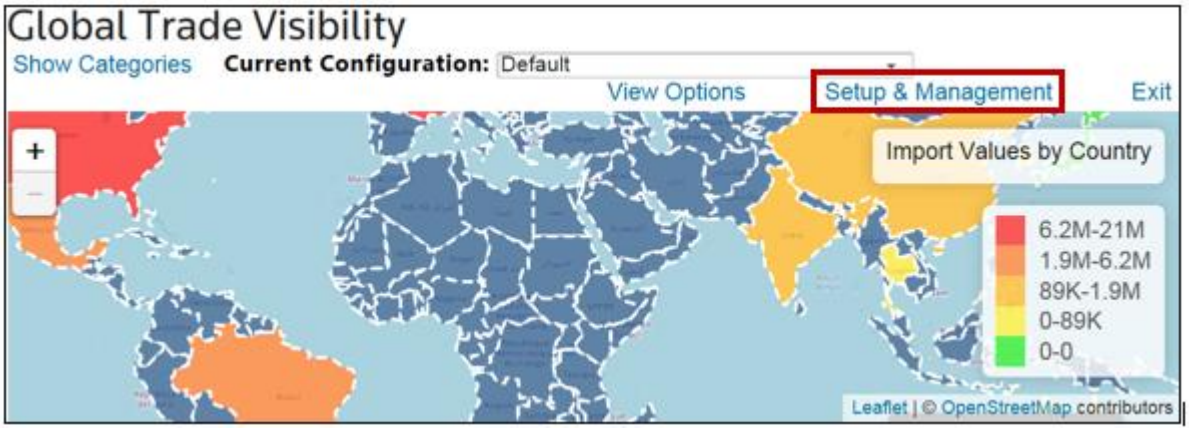
「(SHARED)」が自動的にダッシュボード名の末尾に示されます。このようにして、すべてのユーザーに共有ダッシュボードが表示されます。

© 2026 Thomson Reuters



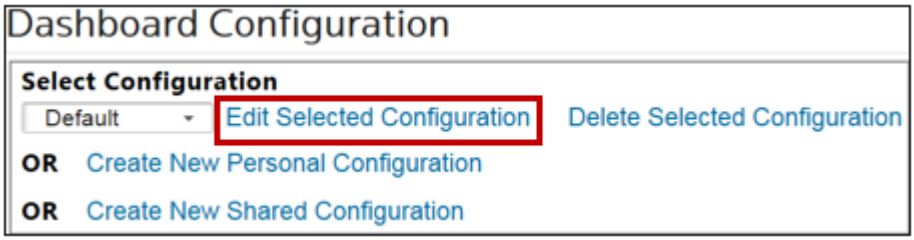
既存の共有ダッシュボードの修正

既存の共有ダッシュボードを修正するには、[設定と管理] をクリックします。



これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。

[設定の選択] ドロップダウンを使用して、編集するダッシュボードを探し、[選択した設定を編集] をクリックします。



[選択した設定を編集] をクリックすると、ポップアップが更新され、上部に [名前]、[グリッド]、[マップ]、[レポート]、[権限] の 5 つの進捗ステップが表示されます。

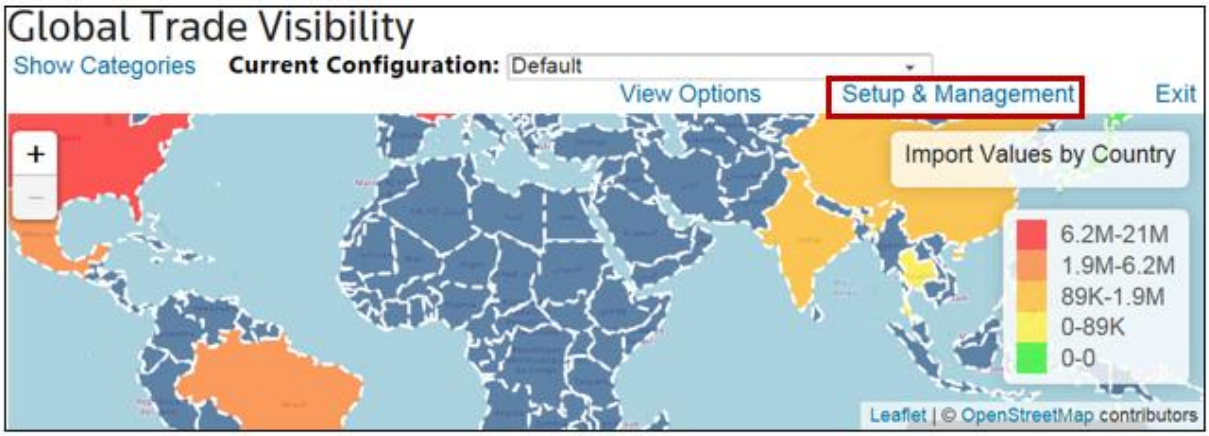
現在の設定ステップは、異なる色で表示されます。共有ダッシュボードの編集は、新しい共有ダッシュボードの作成と同じプロセスステップに従います。

詳細については、このユーザーガイドの「共有ダッシュボードの作成」のセクションを参照してください。

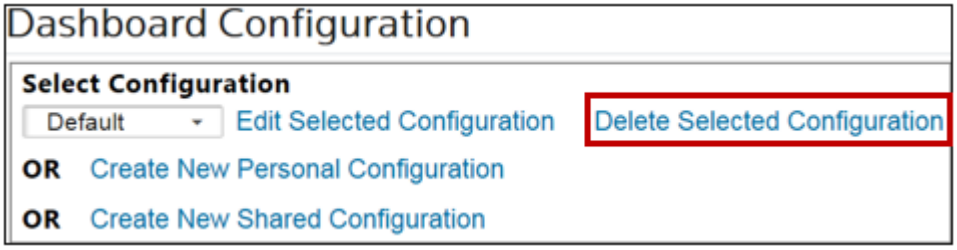
© 2026 Thomson Reuters

既存の共有ダッシュボードの削除

既存の共有ダッシュボードを削除するには、[設定と管理] をクリックします。



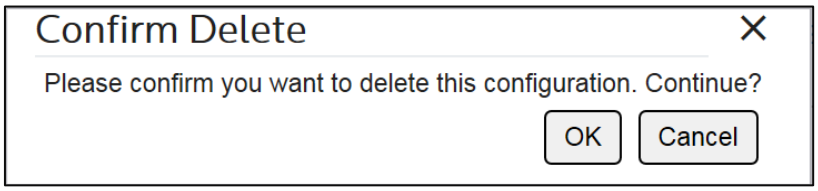
これにより [ダッシュボード設定] ポップアップが開きます。ここにはダッシュボード設定オプションが配置されています。[設定の選択] ドロップダウンを使用して、削除するダッシュボードを探して、[選択した設定を削除] をクリックします。



[削除を確認する] ポップアップが開き、ダッシュボードの削除を確認するように求められます。

続行するには、[OK] をクリックします。

キャンセルするには、[キャンセル] をクリックします。



共有ダッシュボードを削除すると、[ダッシュボード設定] ポップアップにメッセージ（「設定が正常に削除されました」）が表示されます。

[X] をクリックすると、ポップアップが閉じ、ダッシュボードに戻ります。

© 2026 Thomson Reuters

Global Trade Visibility レポート

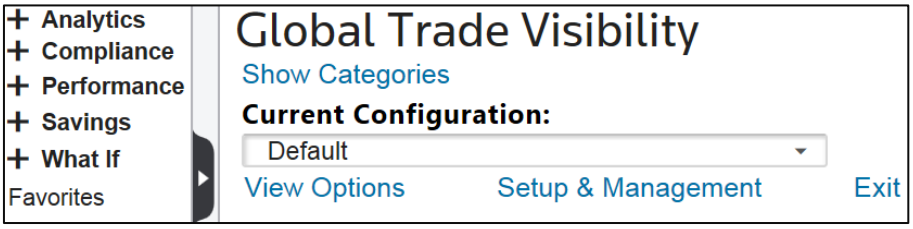
カテゴリナビゲーション

[ダッシュボード] 画面の左上にあるシェブロンは、Global Trade Visibility レポート全体を探索するために使用できます。次の 6 つの標準カテゴリのリストが表示されます。

- 分析
- コンプライアンス
- パフォーマンス
- 貯蓄
- What If
- お気に入り

[分析]、[コンプライアンス]、[パフォーマンス]、[貯蓄] のカテゴリには、履歴申告データから作成されるレポートが含まれます。

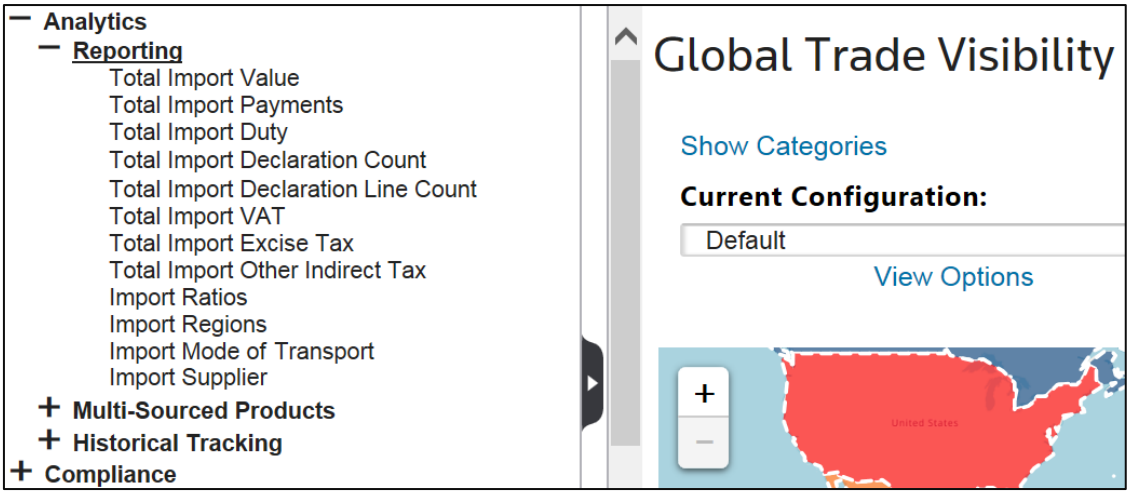
[What If] カテゴリは、関税率の変更や調達決定の変更など、「What If?」仮想シナリオが入力されたデータを使用して事前に作成されたレポートを表示するために使用できます。



カテゴリの [+] 記号をクリックすると、使用可能なすべてのサブカテゴリが開きます。サブカテゴリの数が利用可能な表示領域を超えた場合、すべてのオプションをスクロールできるようにスクロールバーが表示されます。

選択されたカテゴリを非表示にするには、カテゴリの [-] 記号をクリックします。これはサブヘッダーにも有効です。

© 2026 Thomson Reuters



設定した場合、カーソルをサブカテゴリ名の上に置くと、詳細な説明が画面に表示されます。

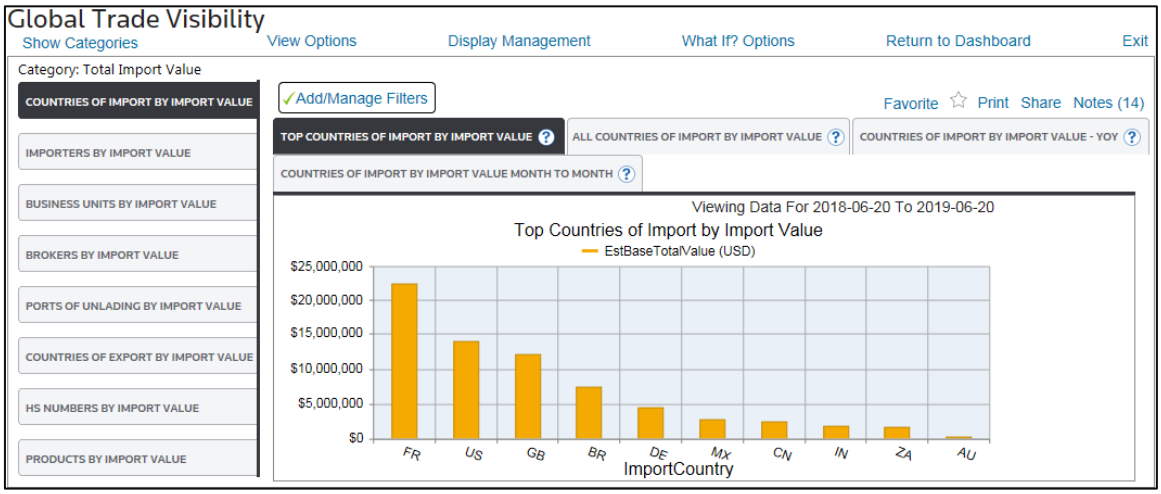
ビューナビゲーション

[Global Trade Visibility] 画面には、画面の左側に沿った垂直リストに、複数のビューを表示する機能があります。各画面は、選択されたサブカテゴリに基づいて、関連付けられたビューを表示するように動的に変化します。

ビューは、データの最も広範な選択から開始し、各サブカテゴリの詳細を掘り下げるように設計されています。サブカテゴリ内で、さまざまなビューを探索する方法は 2 つあります。

独立したビュー

各ビューを個別にクリックすると、そのビューに関連付けられたすべてのレポートが表示され、一般的なレポートフィールドに基づいて表示可能になります。



© 2026 Thomson Reuters

対象のシーケンシャルビュー

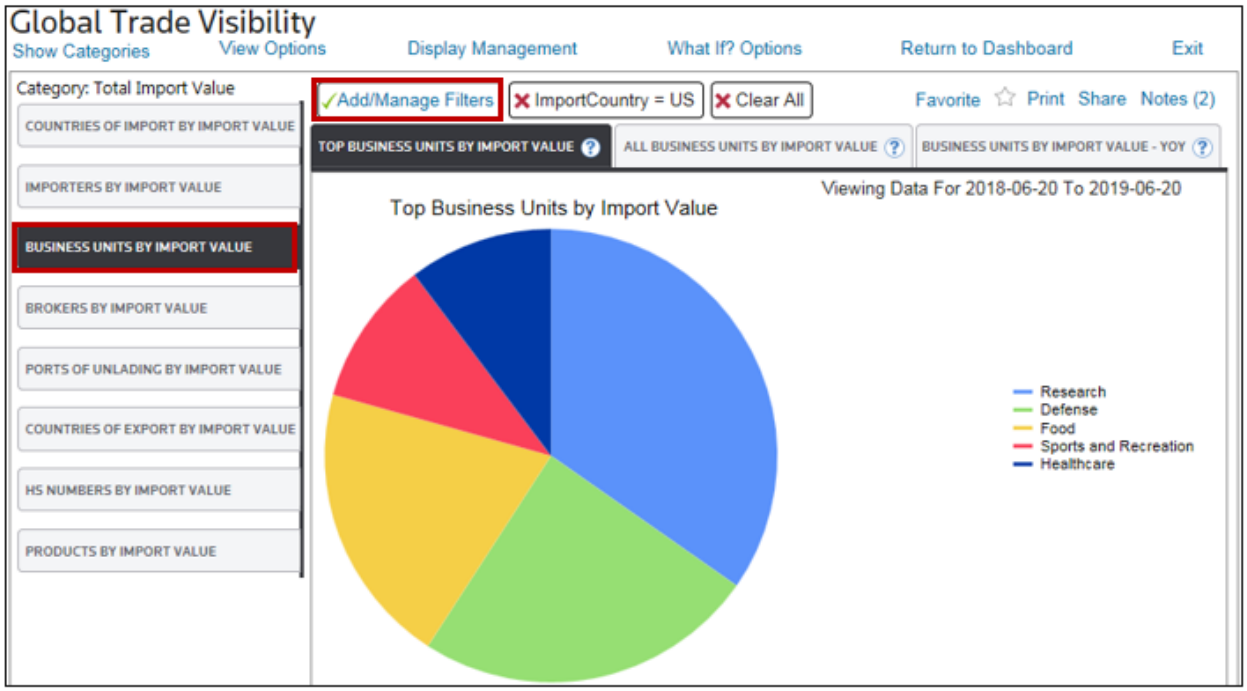
サブカテゴリ内のさまざまなビューを探索する次のオプションは、リスト内の次のシーケンシャルビューを「対象」とするものです。次のビューを対象とするには、レポートに表示されるデータ要素（棒グラフ内の棒や円グラフのスライスなど）を選択してクリックします。

データ要素を選択すると、画面は、フィルターとして追加された選択対象のデータ要素を含んだ次のシーケンシャルビューに移動します。フィルターは、表示されたデータを絞り込みます。ビューが表示される順序は、実装中に決定されます。表示順序の変更が必要な場合は、システム管理者に連絡してください。

注釈: すべてのビューに対象機能が備わっているわけではありません。

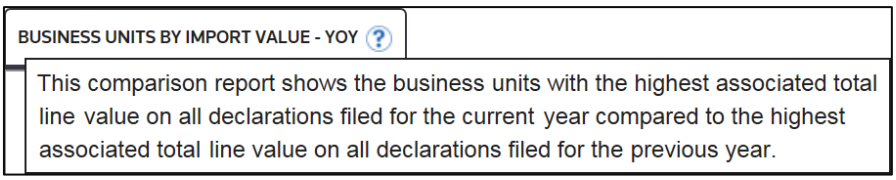
下の例では、ユーザーには「輸入価額別の輸入国」と呼ばれるビューが表示され、英国（Great Britain）を表す「GB」のラベルが付いたバーが選択されています。画面は、次のビュー（「輸入価額別の輸入者 ID」）に移動し、輸入国 = 'GB' というフィルターを追加します。

© 2026 Thomson Reuters



レポートナビゲーション

レポート（複数可）を各ビューに関連付けられます。レポートは、画面の上部に水平に表示され、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、滝グラフまたはグリッドとして表示できます。グラフやチャートのオプションは交換可能であり、Thomson Reuters の管理者がクライアントプリファレンスに基づいて更新できます。レポートの詳細な説明については、タブの右側にあるクエスチョンマークアイコンの上にカーソルを置きます。小さな情報ダイアログが表示されます。

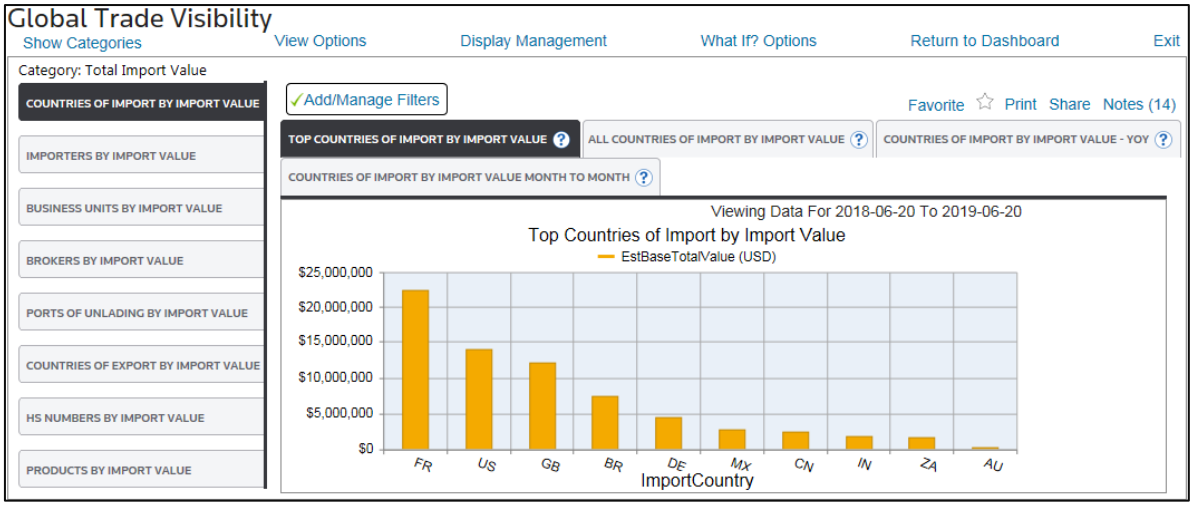


レポートタイトルに表示される共通の用語は「トップ」、「すべて」、「YoY」です。

トップレポート

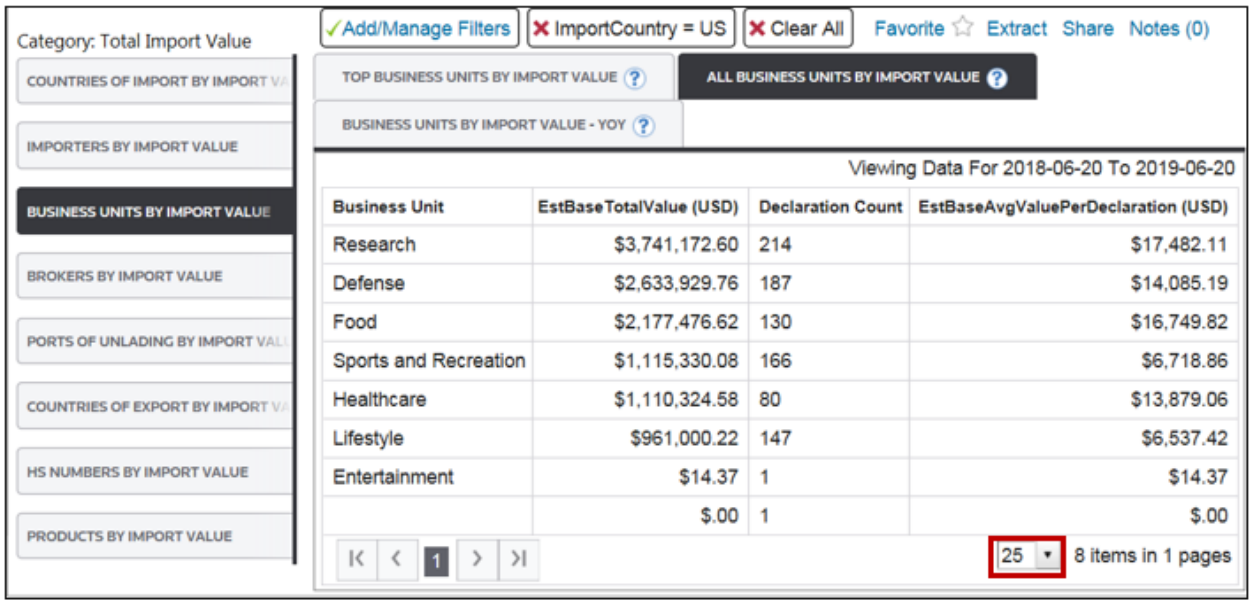
「トップ」レポートは上位 5、10、25 件の結果を示します。

© 2026 Thomson Reuters



すべてレポート

「すべて」レポートはすべての結果を示し、通常グリッド形式で表示されます。グリッド内のページは、さらに多くのレコードを含められるように拡張できます。



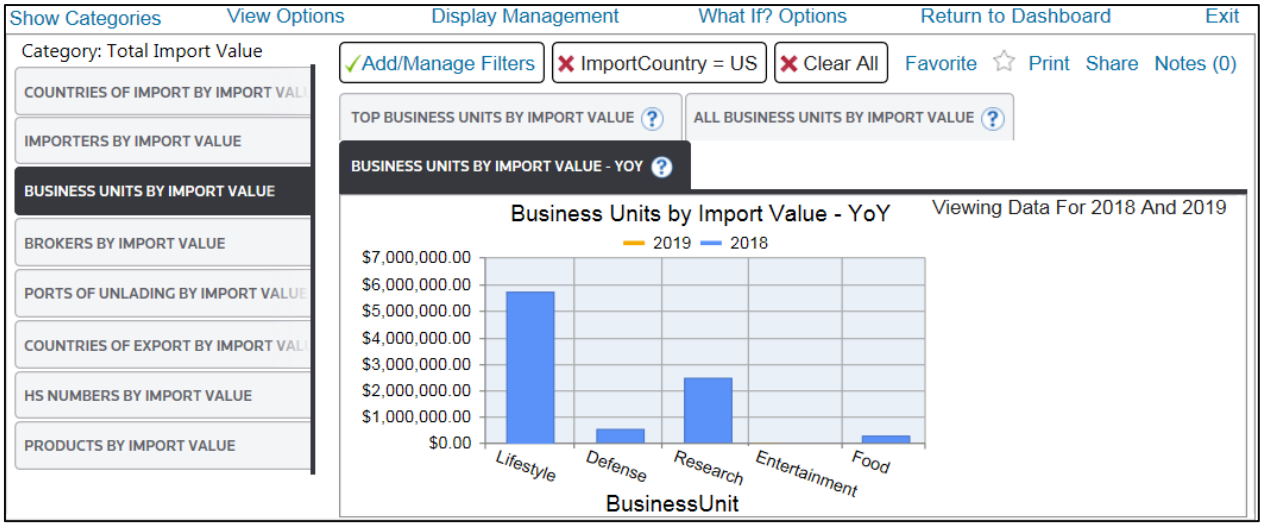
Business Unit	EstBaseTotalValue (USD)	Declaration Count	EstBaseAvgValuePerDeclaration (USD)
Research	$3,741,172.60	214	$17,482.11
Defense	$2,633,929.76	187	$14,085.19
Food	$2,177,476.62	130	$16,749.82
Sports and Recreation	$1,115,330.08	166	$6,718.86
Healthcare	$1,110,324.58	80	$13,879.06
Lifestyle	$961,000.22	147	$6,537.42
Entertainment	$14.37	1	$14.37
	$.00	1	$.00

YoY（前年比）レポート

「YoY」レポートは前年のデータに対する現在のカレンダー年のデータを示します。

注釈: 「YoY」レポートは、GTV ダッシュボードの [表示オプション] ポップアップで設定された日付の範囲ではデータが決定されない場合の唯一のレポートです。

© 2026 Thomson Reuters



データ検証レポート

Global Trade Visibility は、システムに入ってくるすべてのレコードの精度と質を検証するために使用できます。GTV での検証はソフトかハードに分類されます。

ソフト検証	システム「警告」。引き続きレコードを GTV に入力でき、他のレポートで使用できるようにします。
ハード検証	システム「エラー」。保留し、GTV へのレコードの入力をまったく許可しません。

すべての警告とエラーを表示するには、[コンプライアンス] カテゴリシェブロンの [データ検証] セクションに移動します。すべての検証は、3 つの個別のステータスで保持されます。

ステータス	説明
オープン	アクティブとみなされ、未確認です。
確認済み	レビューされ、是正措置が必要であると判断されました。是正措置が行われました。
無視	レビューされ、是正措置が不要だと判断されました。この項目は、オープン検証キューから削除できます。

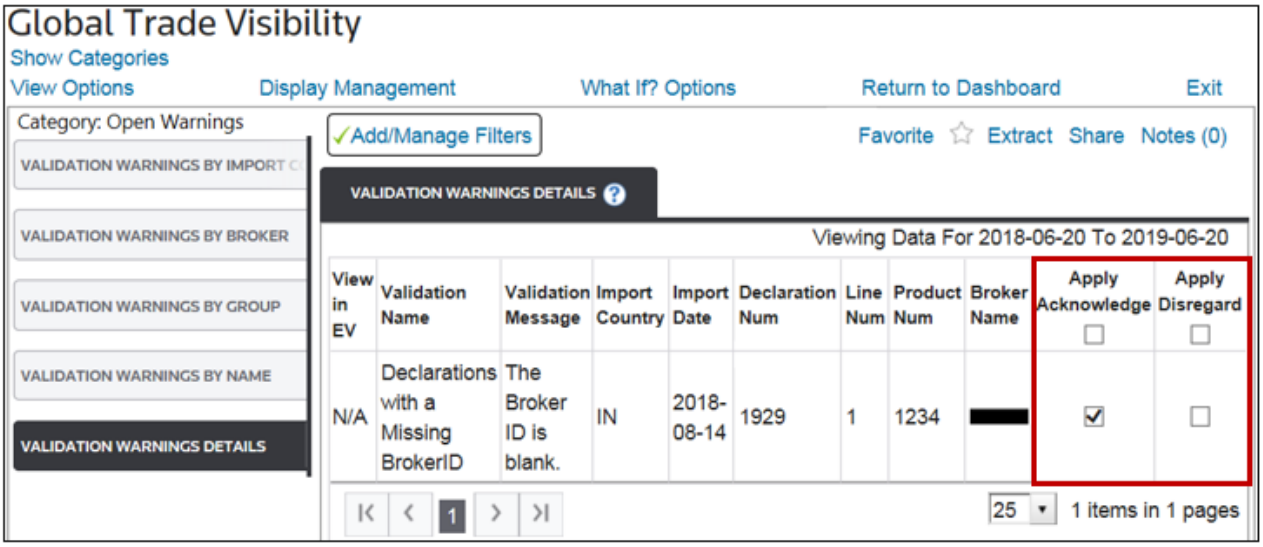
© 2026 Thomson Reuters

- **Compliance**
  - **Exceptions**
    - Classification Fluctuations
    - Unit Value Fluctuations
    - Products with Varying
    - Preference Code Use
    - Potential Duty
    - Underpayment Risk
    - Unit of Measure Changes
    - Other Exceptions
  - **Data Validation**
    - Open Errors
    - Open Warnings
    - Acknowledged Errors
    - Acknowledged Warnings
    - Disregarded Errors
    - Disregarded Warnings

確認済み/無視へのオープン検証の更新

「確認済み」または「無視」ステータスにオープン検証を更新するには、[検証エラーの詳細] レポートを開きます。このレポートは、[コンプライアンス] カテゴリと [検証] サブカテゴリ内で [オープンエラー] か [オープン警告] のいずれかとして見つかります。

グリッドの右側には、[確認を適用] と [無視を適用] とラベルの付いた 2 つの列があり、それぞれには関連するチェックボックスがあります。すべてを選択するには、[確認を適用] か [無視を適用] の下にあるチェックボックスをオンにします。個々のラインを選択するには、確認または無視するレコードを選択します。次に、そのレコードの [確認を適用] か [無視を適用] のチェックボックスをオンにします。



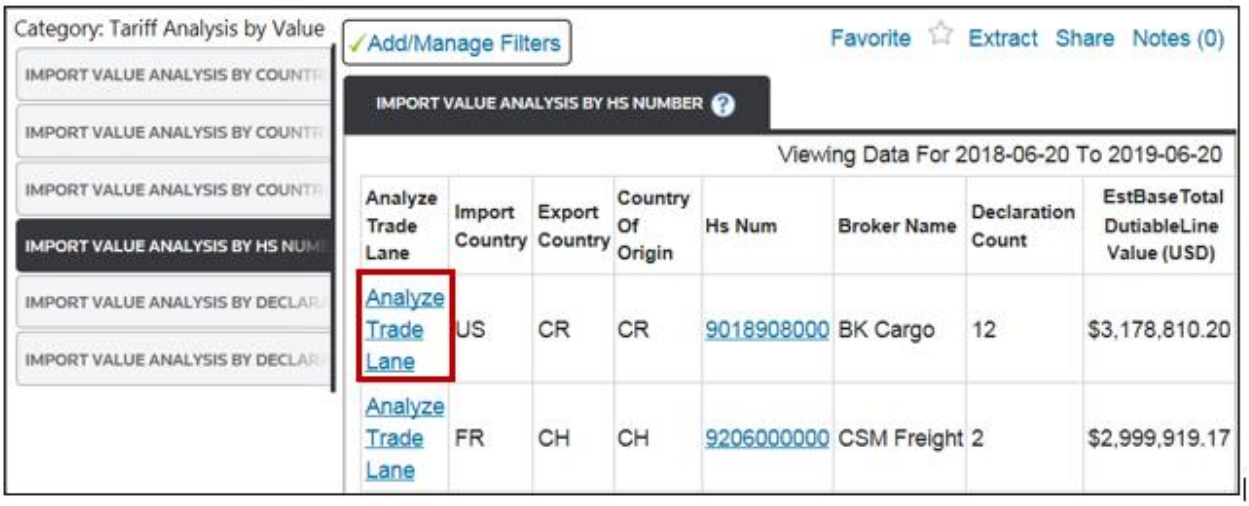
© 2026 Thomson Reuters

レポートリンク

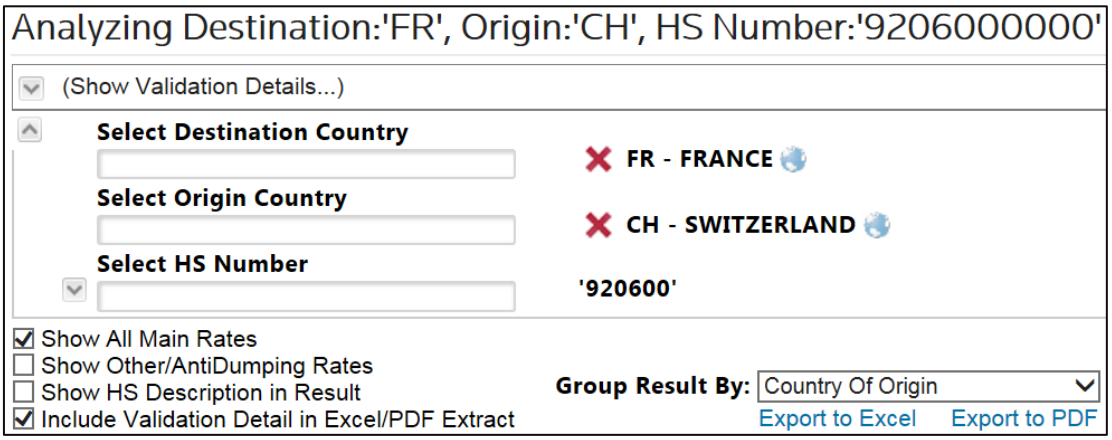
レポート内のリンクから、他の製品に移動できます。これらのリンクの一部では、「関税分析」や「搬入検証」などの追加の ONESOURCE 製品を購入する必要が生じる場合があります。これらの機能に関心があり、現在その機能がない場合は、システム管理者に連絡してください。

関税分析

関税分析製品を購入している場合、[貿易レーンの分析] リンクが、[貯蓄] カテゴリと [関税分析] サブカテゴリ内の特定のレポートの最初の列に表示されます。



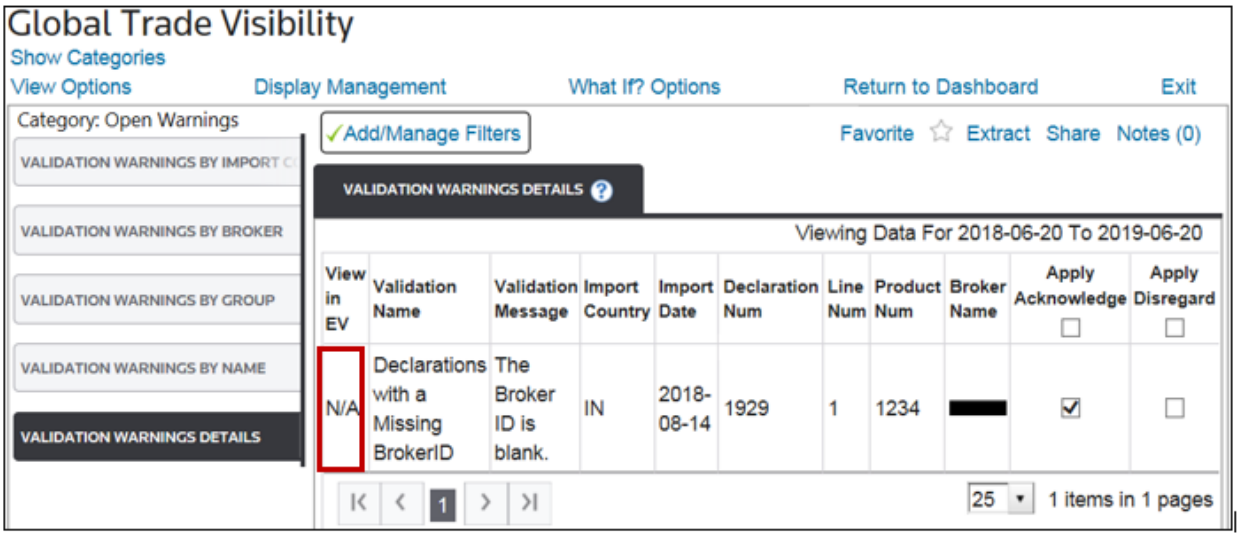
このリンクをクリックすると、関税分析は下に表示されたポップアップを開き、レポートの国および HS 番号に基づいて分析を実行します。これは、特定のソーシングオプションが金融、コンプライアンス、リスクなど、複数の影響を評価するときに役立ちます。



© 2026 Thomson Reuters

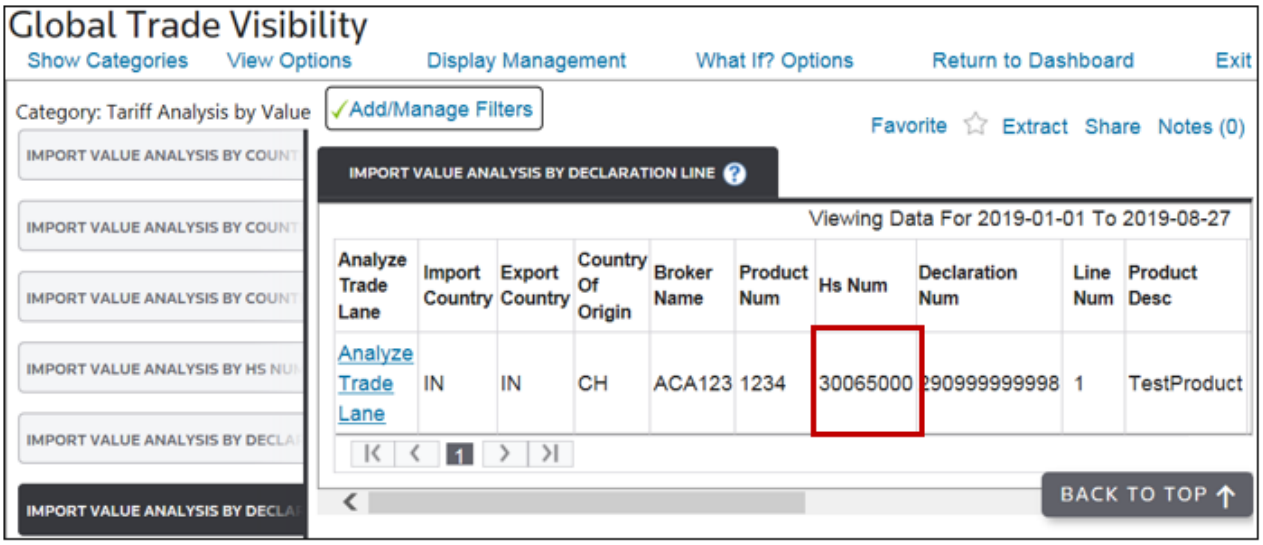
EV（搬入検証）のビュー

搬入検証を購入した場合、特定のサブカテゴリの下にある申告詳細レポートに [EV のビュー] リンクが表示されていることがあります。このリンクをクリックすると、申告に関連したより詳細なデータをレビューできるように、ONESOURCE 搬入検証製品にリダイレクトされます。搬入検証を購入していない場合は、この列には [非該当] と表示されます。

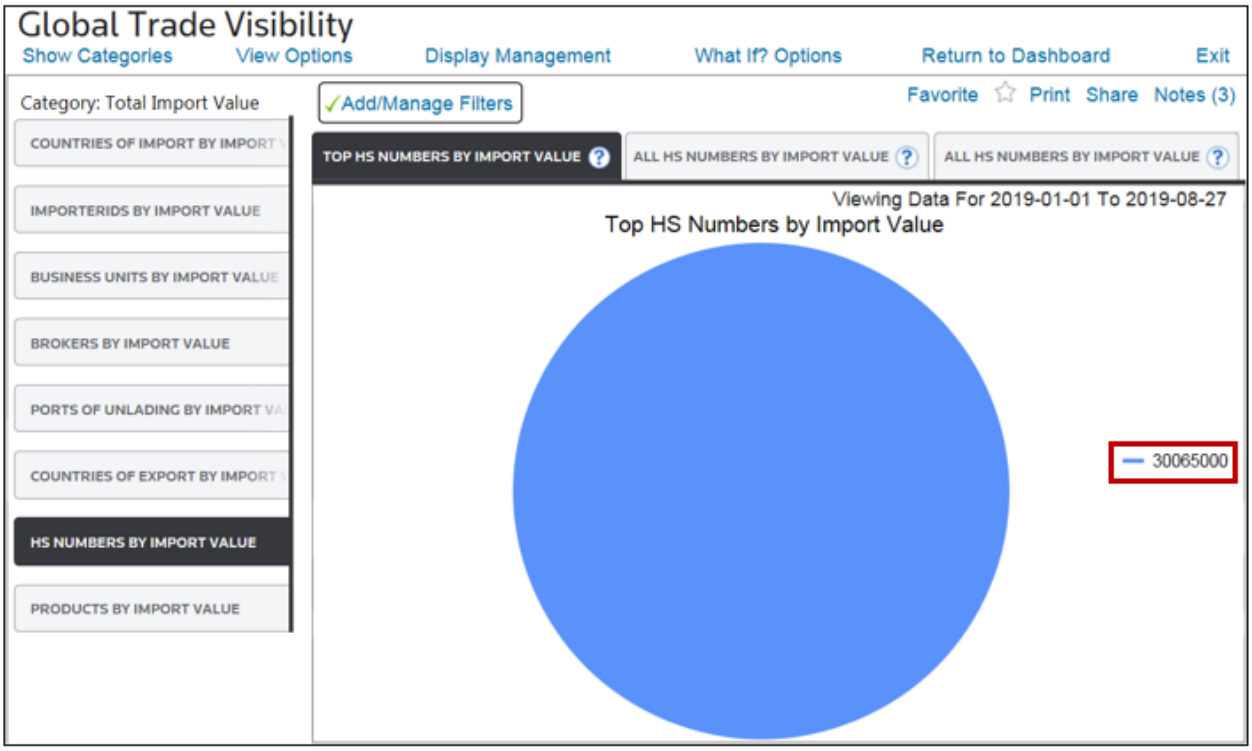


WCO 説明

設定した場合、いずれかのグリッドまたはチャート上の HS 番号の上にカーソルを置くと、HS の 6 桁のグローバル部分に対する WCO 説明が表示されます。



© 2026 Thomson Reuters



レポートオプション

表示オプション

[表示オプション] リンクは、すべてのシステム（ダッシュボードを含む）レポートに表示される日付の範囲を修正するために使用されます。[表示オプション] をクリックすると、[表示オプション] ポップアップが開き、複数の日付範囲のオプションが表示されます。

ポップアップの上部には、データを読み込んだ最も古い日付と最も新しい日付の日付パラメーターがあります。

ポップアップの中央には、複数の日付範囲オプションがあります。

ポップアップの下部には、すべての範囲内の国と、データが国ごとに読み込まれた最後の日付を含むドロップダウンがあります。

すべてのロード日付は、情報が ONESOURCE に読み込まれた時間に基づきます。

[日付の範囲の表示] セクションには、選択するさまざまなオプションがあります。

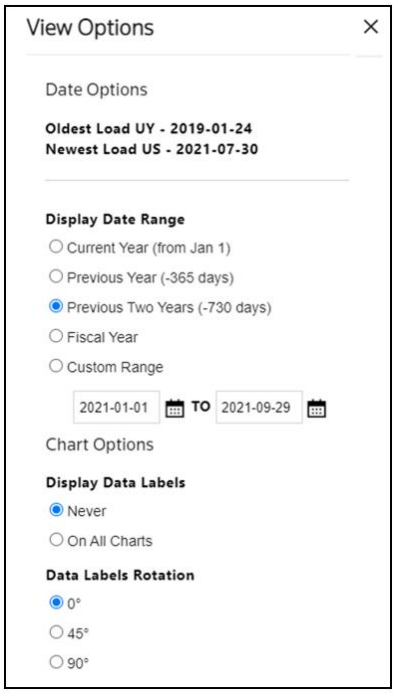
© 2026 Thomson Reuters

オプション	説明
本年	年から日（本年の 1 月 1 日から）
昨年	現在の日付 - 365 日
前 2 年	現在の日付 - 730 日
会計年度	企業の会計年度
カスタム範囲	カスタム範囲(ユーザーが選択した日付パラメータ）

日付範囲を選択した後、右上隅にある [X] をクリックして、[表示オプション] ポップアップを閉じます。これにより、ダッシュボードと、GTV 内のすべてのレポートの両方が、更新した日付範囲で再レンダリングされます。

更新した日付範囲は、選択が行われたパートナー ID にのみ使用されます。

[チャートオプション] セクションでは、値を表示させるかどうかを指定し、値の向きを変更できます。

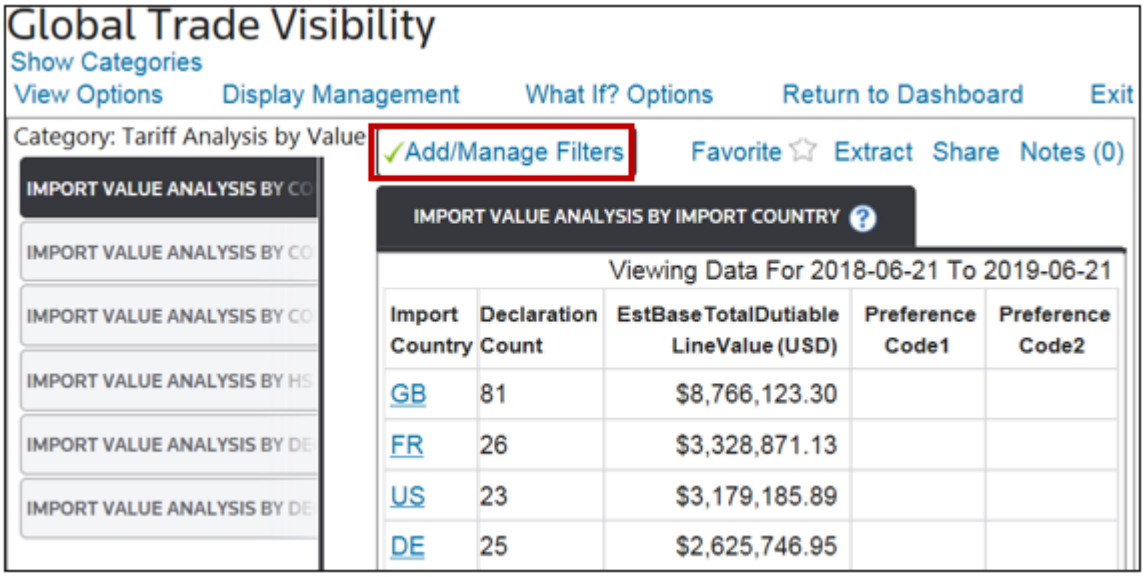


フィルターの追加/管理

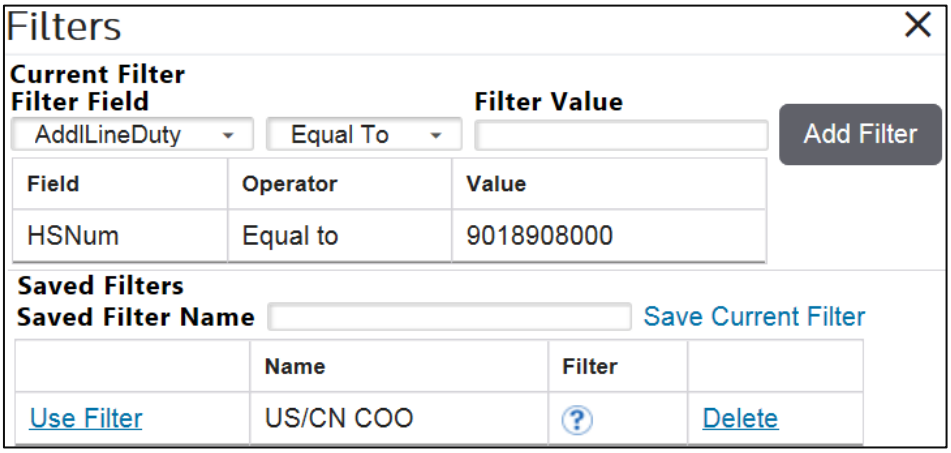
フィルターの追加

レポートするその他のフィルターを追加するには、[フィルターの追加/管理] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



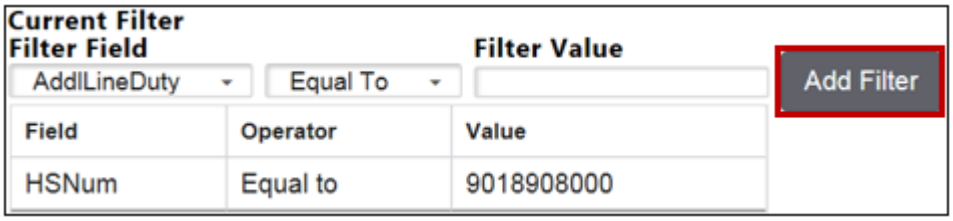
このアクションにより、[フィルター] ポップアップが開きます。[現在のフィルター] セクションがポップアップの上半分を占めています。このセクションでは、フィルターに必要なパラメータを指定します。必要に応じてパラメータを追加し削除します。



パラメータとして追加できるすべての項目は、[フィルター項目] ドロップダウンにあります。フィルターを追加するには:

1. 項目名を選択します。表示されたレポートに含まれていない項目も追加できます。
2. [等しい]、[等しくない]、[含む] として演算子を設定します。
3. フィルター値を入力します。[フィルター値] テキストボックスには、先行入力機能があり、選択した項目に現在の値が表示されます。
4. [フィルターを追加] をクリックします。

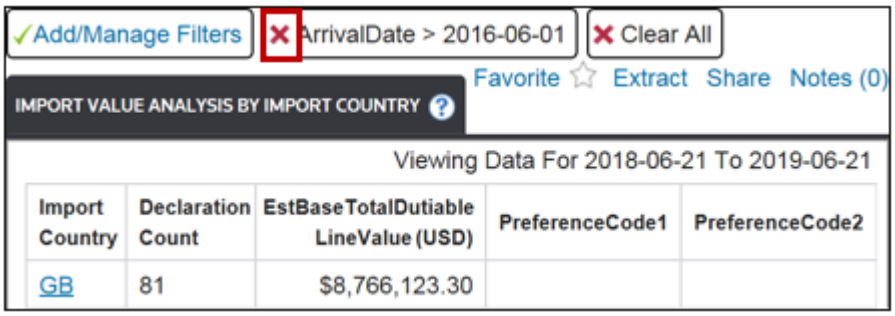
© 2026 Thomson Reuters



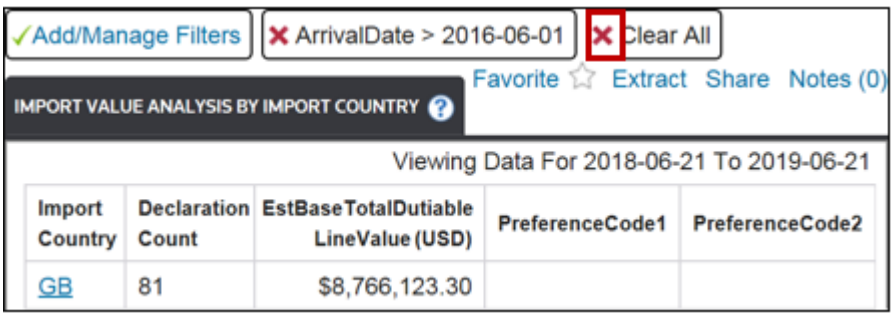
追加した検索条件が画面に表示されます。その他のフィルターをレポートに追加する必要がある場合、上記の手順に従います。

目的のフィルターをすべて追加したら、右上隅の [X] をクリックしてポップアップウィンドウを閉じます。レポートがリフレッシュされ、フィルターはアクティブなレポートグリッド上に表示されます。複数のフィルターを即座に追加できます。

単一のフィルターをクリアするには、パラメータの横の [**X**] をクリックします。

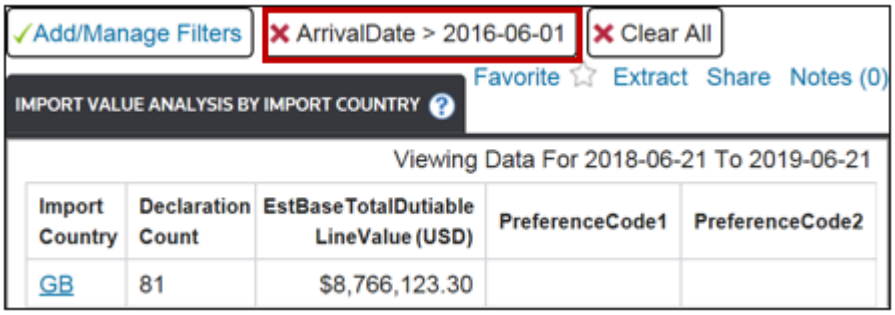


すべてのフィルターをクリアするには、[すべてクリア] をクリックします。



デフォルトのフィルターを削除することはできません。これらのフィルターは、パラメータの横に [X] はありません。

© 2026 Thomson Reuters



フィルターの管理

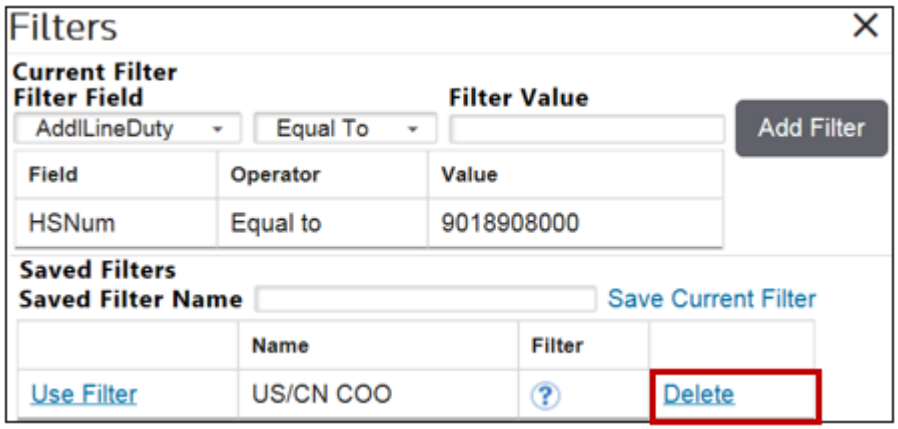
[保存したフィルター] セクションがポップアップの下半分を占めています。このセクションは、すばやくアクセスできるようにお気に入りのパラメータを保存する場合に役立ちます。

フィルターを保存するには、[フィルターの追加/管理] をクリックし、上記の「フィルターの追加」のセクションで説明したようにパラメータを追加します。

[保存したフィルターの名前] フィールドで、新しいフィルターグループ名を入力し、[現在のフィルターの保存] をクリックします。追加したフィルターグループが下に表示されます。

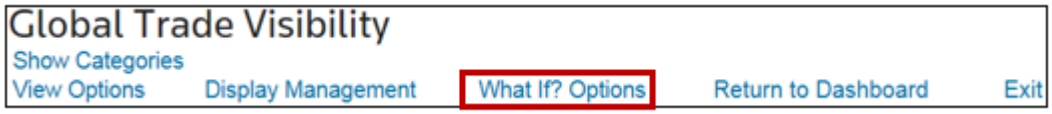
保存したフィルターを適用するには、[フィルターの追加/管理] をクリックして、[フィルターの使用] をクリックします。クエスチョンマークアイコンの上にカーソルを置くと、詳細な説明が開きます。

保存したフィルターを削除するには、[削除] をクリックします。



What Ifオプション

ユーザーが将来さまざまな理由で支払う必要のある関税に対する可能性のある変更の影響の定量化に、GTV 輸入における「What If?」機能を使用できます。[What If? オプション]リンクが、レポートが読み込まれたどの画面にも表示されています。

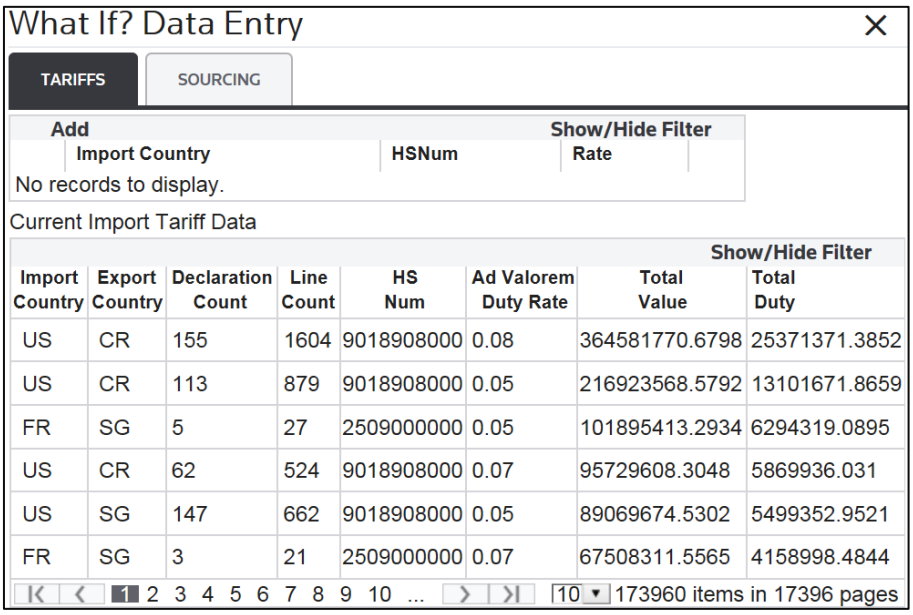


© 2026 Thomson Reuters

このリンクをクリックすると、[What If? データ入力]ポップアップの [ソーシング] タブに入力されたシナリオの組み合わせに基づいて作成されたデータを反映しています。このポップアップには、[関税] と [ソーシング] の 2 つのタブが含まれています。それぞれのタブには 2 つのグリッドが含まれます。

1. 上部のグリッドは、What If? シナリオの入力に使用されます。
2. 下部のグリッドには、企業のGTV 輸入詳細レコードが含まれており、これらは過去の輸入と数量を調べるために使用できます。

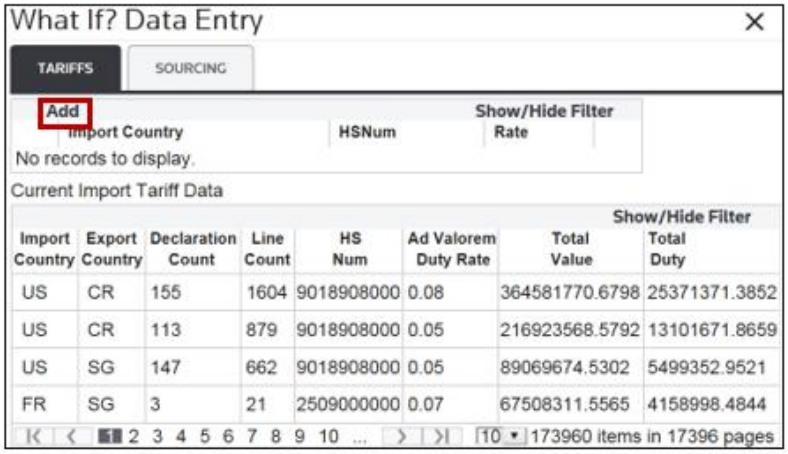
タブ間の違いに関する詳細は、以降のセクションで説明します。



関税

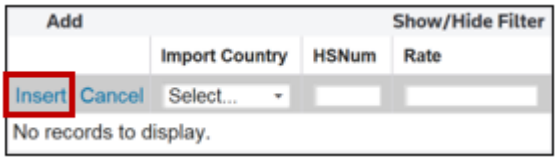
[関税] タブは、所与の HS 番号に関する所与の輸入国に適用される仮想的な関税率の入力に使用できます。HS 番号は、2、4、6、または完全修飾レベルで入力できます。これは特に、多数の製品が 1 つの類、項、または号に分類される場合に役立ちます。

レートを追加するには、[追加] をクリックします。



© 2026 Thomson Reuters

[追加] をクリックすると、上部のグリッド内に新しいラインが作成されます。輸入国を選択し、HS 番号（2、4、6、または全桁レベル）を入力して、関税率を割り当てます。[挿入] をクリックして続行します。

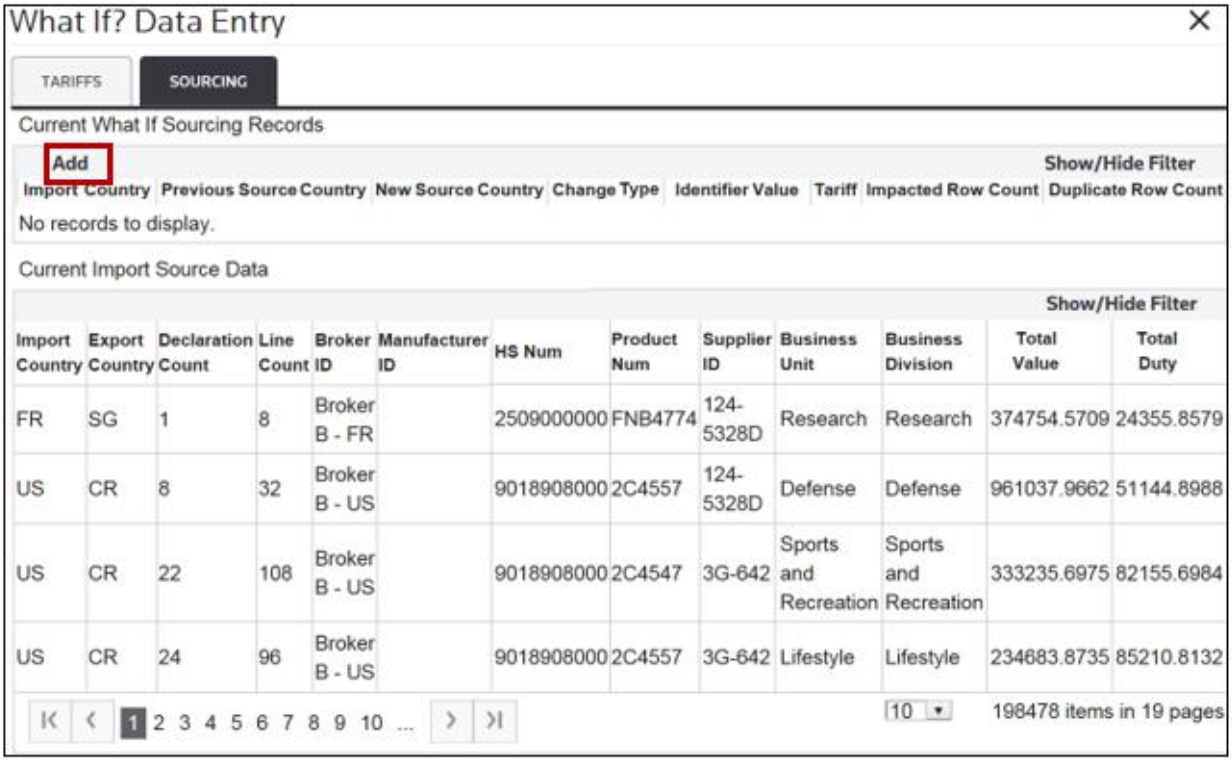


生産関連

[ソーシング] タブは、より複雑なシナリオを作成し、ある国から別の国にソーシングを移したときの考えられる影響を報告する場合に使用できます。[ソーシング] シナリオは、レコードのサブセット（孤立した事業単位またはブローカー ID に対するレコードなど）について作成することもできます。次の操作のためのオプションが用意されています。

- 関税率を入力する
- ONESOURCE Global Trade Content メイン従価率を使用する
- 入力されたパラメータの組み合わせについて履歴データでのすべての輸入にわたる平均レートを使用する

新しいソーシング変更シナリオを追加するには、[追加] をクリックします。



© 2026 Thomson Reuters

[追加] をクリックすると、上部のグリッド内に新しいラインが作成されます。最初に、[輸入国] を選択します。

[古い仕出国] に、選択した輸入国の輸出国として、データベース内にあるすべての国が入力されます。[新しい仕出国] フィールドで、ソーシングアクティビティの移行先として検討する国を選択します。

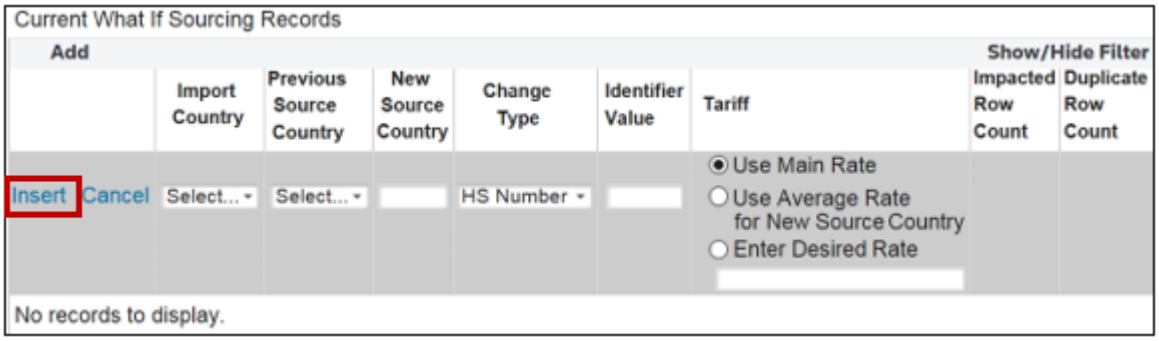
必要に応じて、[新しい仕出国] は、[古い仕出国] と同じにすることもできます。この場合ユーザーは、ONESOURCE Global Trade Content メインレートを引き出したり、同じ仕出国内で [識別子] フィールドを使用してシナリオでより具体的な変更を作成するなど、[What If? ソースの追加]ポップアップの追加された機能を使用してレコードを入力できます。

ドロップダウンリストから [識別子タイプ] を選択した後、[識別子値] フィールドに、任意の値を入力し、What If レポートにおいて変更されるレコードをさらに絞り込むことができます。

最後に、変更されたレコードに適用される関税率を3つ選択することができます。

メインレートの使用	ONESOURCE Global Trade Content 内で指定されたメイン従価率。
平均レートの使用	[ソーシング] レコードに入力されたパラメータごとの履歴から、輸入されたすべての商品にわたるクライアント自身のデータの平均関税率。
目的のレートの入力	What If シナリオの目的で手動で入力するすべてのレート。

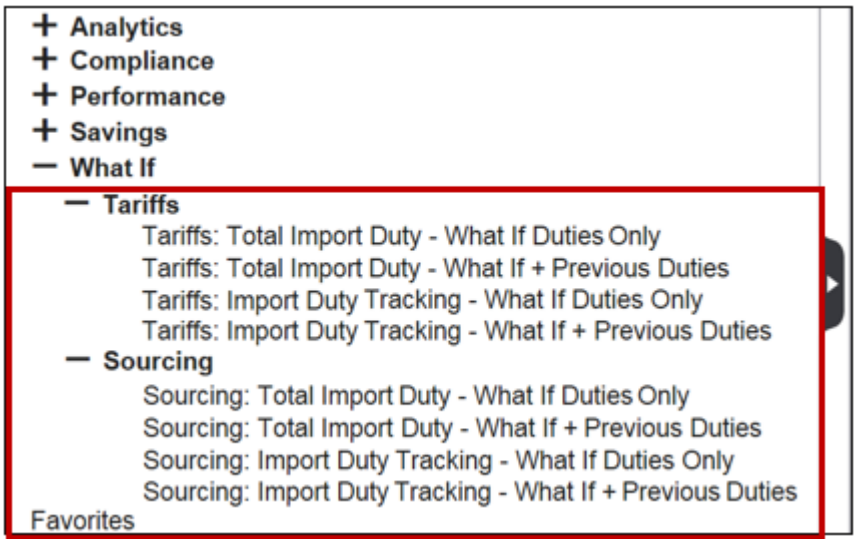
[挿入] をクリックして続行します。



What If? シナリオを入力したら、Global Trade Visibility レポートの「What If?」セクションで、シナリオに基づくレポートを生成できます。

関税レポート	これらのレポートは、以前の実際のコンソリデーションデータと、[What If? データ入力]ポップアップの [ソーシング] タブに入力されたシナリオの組み合わせに基づいて作成されたデータを反映しています。
ソーシングレポート	これらのレポートは、以前の実際の出荷データと、[What If? データ入力]ポップアップの [ソーシング] タブに入力されたシナリオの組み合わせに基づいて作成されたデータを反映しています。

© 2026 Thomson Reuters

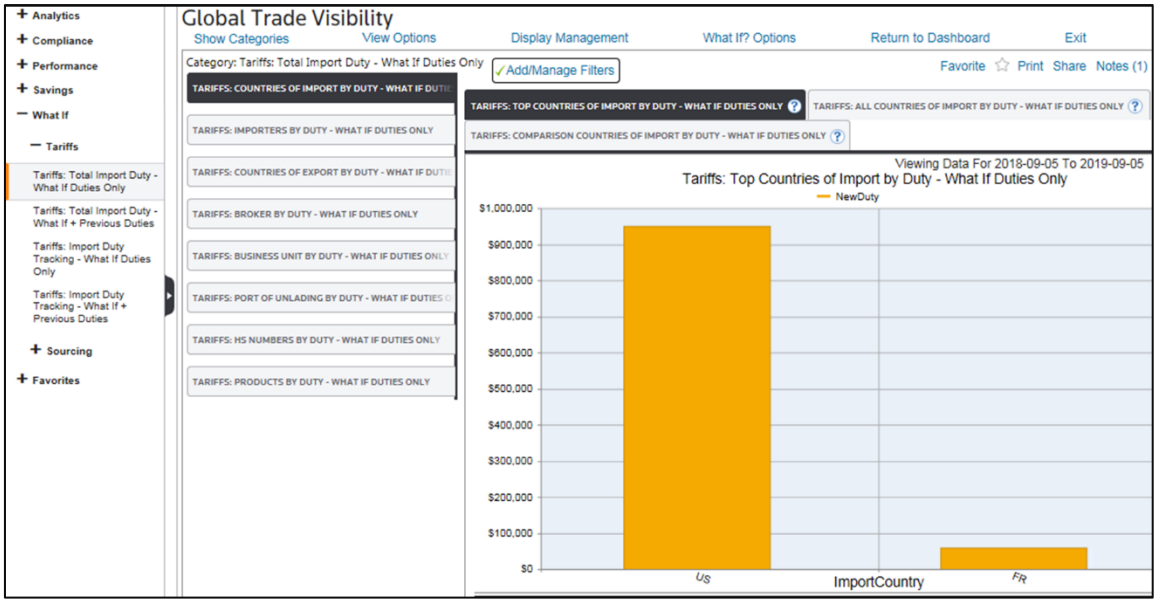


What Ifベストプラクティスと提案

「What If?」レポートは、変更の結果として将来企業のコストがどのようになるかについて適切に表示します。ツールを最適に利用する方法に関するいくつかの提案を以下に示します。

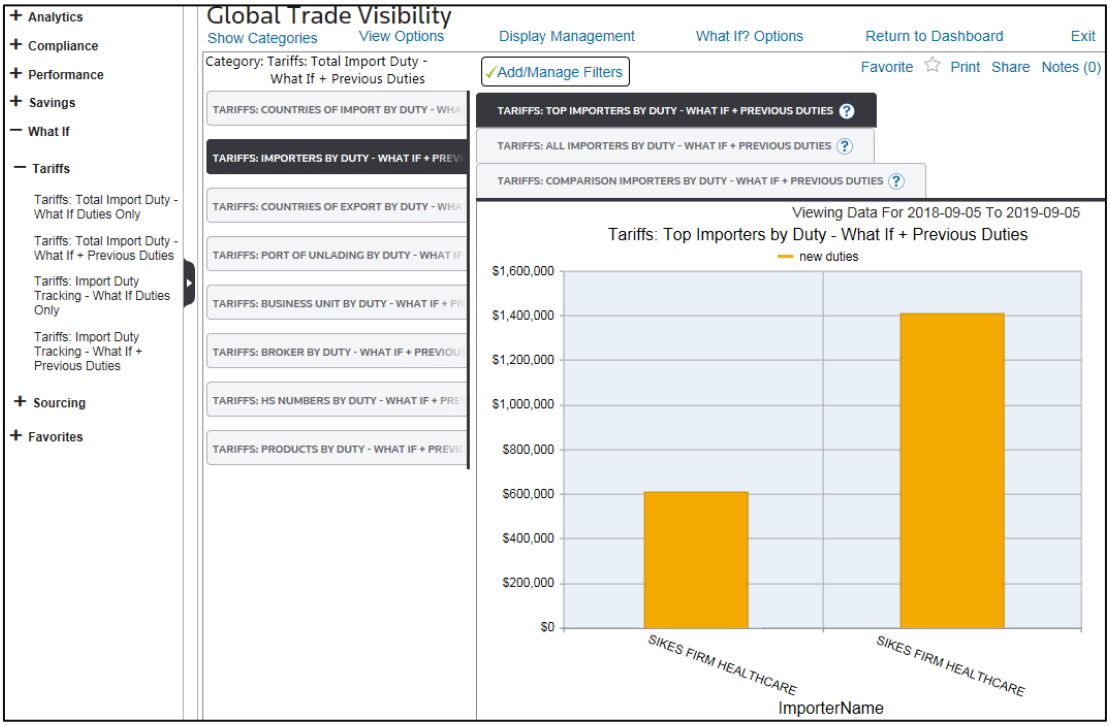
追加した「What If?」レコードがレポート結果に与えている影響を把握するには、生成されているレポートのタイプを理解することが重要です。すべての「What If?」レポートでは、追加した「What If?」レコードに基づいて生成された関税を、以前の期間の関税と置き換えたり、追加します。

たとえば、[関税] カテゴリで [関税別上位輸入国 - What If 関税のみ] 下のレポートでは、[What If? オプション] ポップアップの [関税]タブに入力されたレートを以前の関税率に加えた合計と算定された場合に、輸入者の関税額がどのようになるかを示します。



© 2026 Thomson Reuters

[関税別上位輸入国 - What If + 以前の関税] 下のレポートでは、[What If? オプション] ポップアップの [関税]タブに入力されたレートを以前の関税率に加えた合計と算定された場合に、輸入者の関税額がどのようになるかを示します。



[関税: 関税による輸入国の比較 – What If + 以前の関税]などのレポートでは、計算された関税は、この合計を、ユーザーの企業が以前の期間中に支払った実際の金額と比較して示します。

関税率が古い従価率から新しい従価率に変更されると予想している場合は、[...What If 関税のみ] レポートのいずれかを読み込みます。

支払っている通常のレートに加えて新しい関税が最近課せられた/課せられることになると予想している場合は、[...What If + 以前の関税] レポートのいずれかを読み込ます。

[ソーシング] カテゴリも同じように機能します。

[...What If 関税のみ] レポートは、[ソーシング] タブに追加された「What If?」レコードに基づいて調整され、比較のために以前の期間の関税に置き換わったデータを示します。

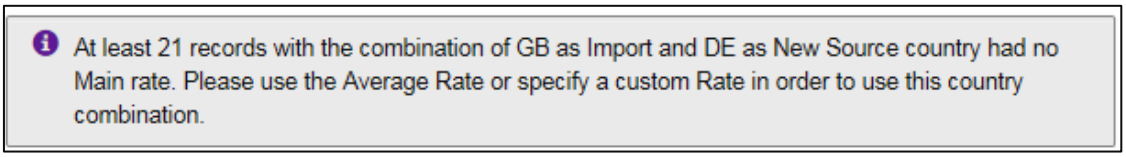
[...What If + 以前の関税] レポートでは、新しい関税を取得し、それを実際に支払われた関税に追加して合計を算出し、過去の実際の金額と比べます。

What If? レポートを利用するためのその他のヒントを以下に示します。

- [What If?] グリッドに入力したすべての関税率は、目的のレートの 100 分の 1 で入力する必要があります。たとえば、15% の関税率を計算するには、[レート] フィールドに「.15」と入力します。
- 対応するカテゴリからレポートを読み込む前に、[関税] または [ソーシング] ポップアップにどのレコードが現在挿入されているかをレビューします。ポップアップ内のすべてのレコードが、レコードの入力時点に関係なくレポートに影響するので、このことは重要です。

© 2026 Thomson Reuters

  - たとえば、MX に輸入された類 62 下の商品に対する 10% の関税を反映したあるレコードと、MX に輸入された類 62 下の商品に対する 5% の関税の別のレコードが、[関税] タブにある場合、すべての [関税] レポートは、MX に輸入された類 62 の商品に対して 15% の関税率の「What If」レートで計算されます。
  - 入力グリッド内の [重複行] 列には、レポート内でこのような影響を受ける詳細行の行数が示されます。
- レポートを印刷/保存する前に、[注釈] 機能を使用して、変更された対象や、この特定の What If シナリオが実行された理由に関する情報を追加します。
- [What If] レポートで利用されるメインレート関税率は従価率にすぎません。 レポートの計算に特定のレート、または特定のレートと従価率の組み合わせを必要とするメインレートを返すようなシナリオを入力した場合、レポートはこのタイプのエラーメッセージを生成します。



注釈: ある国で複数のメインレートを使用している場合、[What If] レポートでは従価率にすぎない最も一般的に使用されるレートを利用します。

お気に入りの星

すべてのレポートには、簡単にアクセスできるように、頻繁に使用するレポートを保存するときに使用できる「お気に入り」の星があります。お気に入りのレポートは、最初に保存されたときから既存のフィルターをすべて保持します。

お気に入りとしてレポートを保存するには、[お気に入り] をクリックします。

[お気に入りの命名] ポップアップが開きます。必要に応じて、レポートの名前を一意で特定の名前に変更します。レポートの名前を変更したら、[保存] をクリックします。レポートをお気に入りとして保存せずにポップアップを終了するには、[キャンセル] または [X] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters

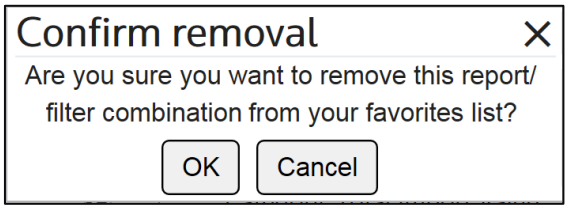
[保存] のクリック後、星のアイコンが金色に変わり、レポートがお気に入りとして保存されたことが示されます。

お気に入りレポートは、GTV シェブロン（画面の左上）の[お気に入り] カテゴリで見つかります。このレポートは、生成元のカテゴリの下に表示され、[お気に入りの命名] ポップアップでレポートを保存したときに指定した名前が付けられます。

お気に入りレポートの削除

お気に入りレポートを削除するには、[お気に入り] カテゴリを介してレポートに移動し、右上にある [お気に入り] をクリックします。

ポップアップが開き、レポートを [お気に入り] カテゴリから削除するかを確認するように求められます。続行するには、[OK] をクリックします。戻るには、[キャンセル] をクリックします。レポートがお気に入りリストから削除されると、星が白色に戻り、レポートが保存されていないことを示します。



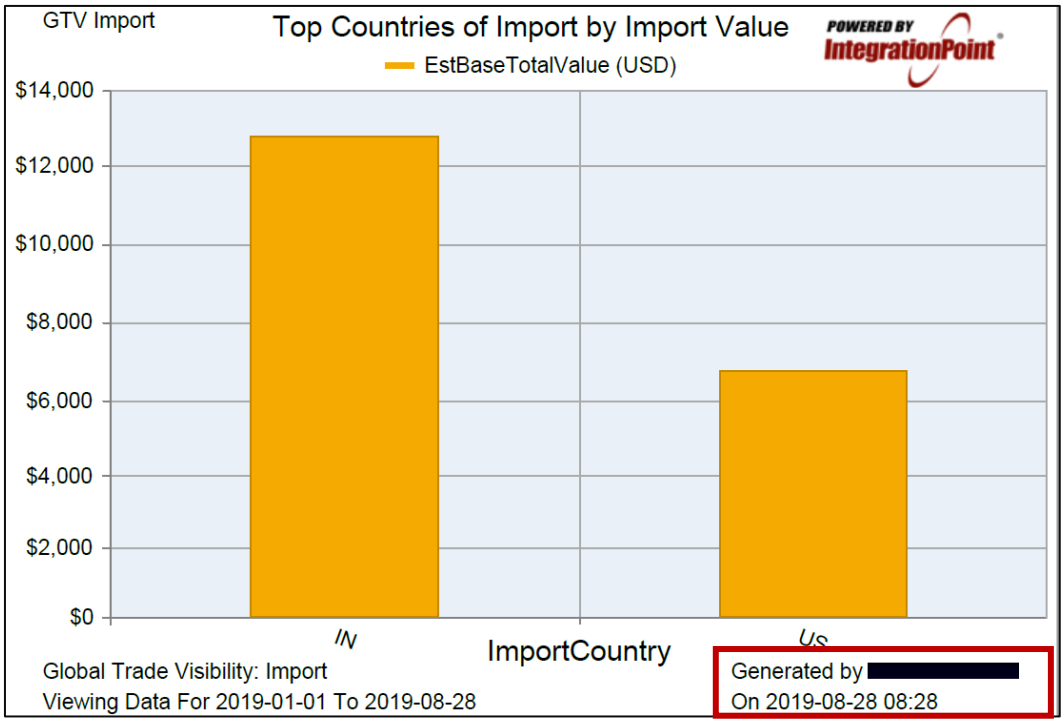
© 2026 Thomson Reuters

レポートの印刷機能（グラフ）

すべてのグラフレポートには印刷機能があります。

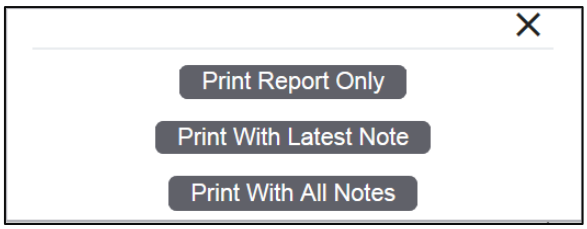
レポートを印刷するには、[印刷]（画面の右上）をクリックします。新しいタブは、レポートの .pdf 版で開きます。

GTV のタイプ（GTV 輸入と GTV 輸出）は、レポートの日付範囲と .pdf が生成された時点に適用されたフィルターとともに、.pdf の左上と左下に表示されます。レポートを生成したユーザーのユーザー名が、時間とともに .pdf の右下隅に表示されます。必要に応じて .pdf を印刷または保存します。



注釈が特定のレポートに存在する場合、その注釈を印刷したレポートに含めることができます。次のオプションは、[印刷] オプションを選択したときに表示されます。

© 2026 Thomson Reuters



レポートに注釈が添付されていない場合、[印刷] ボタンをクリックしたときに 2 番目のプロンプトが表示されずにレポートが開きます。

レポートに注釈が 1 つだけ添付されている場合は、[すべての注釈付きで印刷] はオプションとして表示されません。

レポートに複数の注釈が添付されており、[最新の注釈付きで印刷] か [すべての注釈付きで印刷] のどちらかを選択した場合、注釈は、.pdf レポートの 2 番目のページに印刷され、レポートのタイプと適用されたフィルターが左上隅に表示されます。

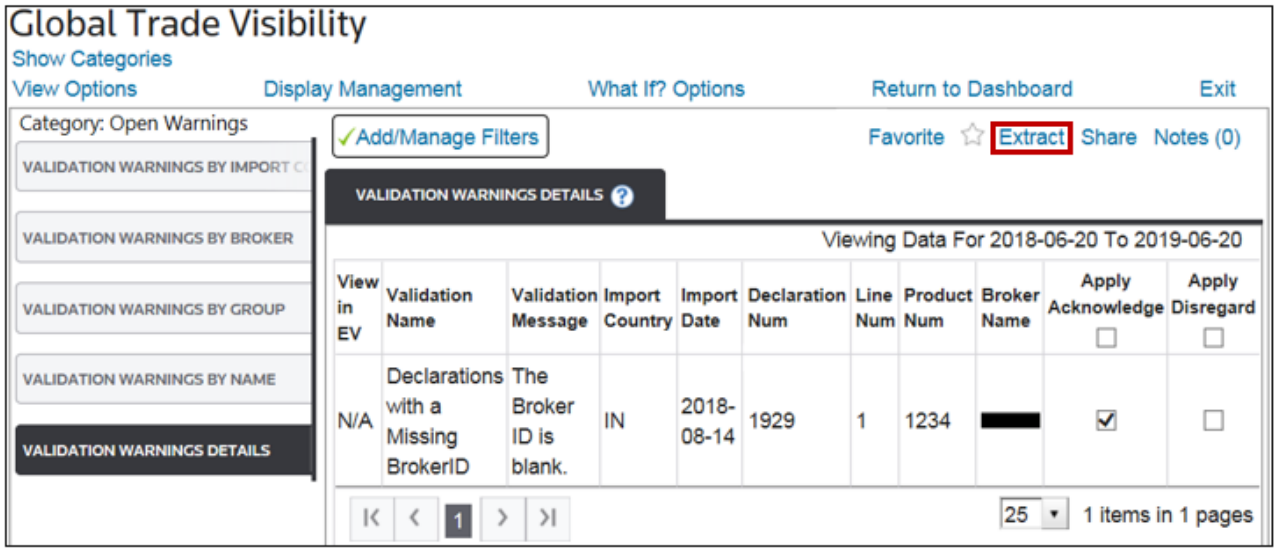
レポートを生成したユーザーのユーザー名と、生成した日時が、右上隅に表示されます。レポートの各注釈には、その注釈が追加された日付、追加したユーザー、注釈のタイプ、注釈の内容を含めることができます。

Top Countries of Import by Import Value Notes Generated by [redacted]
On 2019-08-28 08:28

Date Added	User	Type	Note
2019-03-19 07:13	[redacted]	Discrepancy	Pass the note

レポートの抽出機能（グリッド）

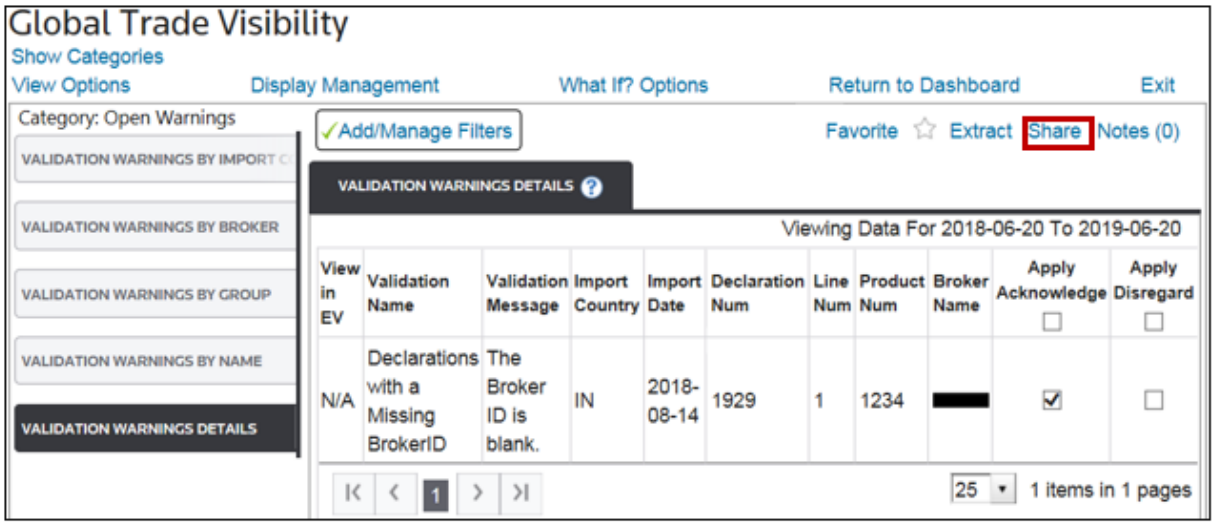
すべてのグリッドレポートは、Excel スプレッドシートとして抽出できます。レポートを抽出するには、[抽出] をクリックします。抽出したデータを開くか保存します。



© 2026 Thomson Reuters

レポートの共有機能

レポートは、共有機能を利用して、外部の当事者に E メールで送信できます。レポートを共有するには、[共有] をクリックします。

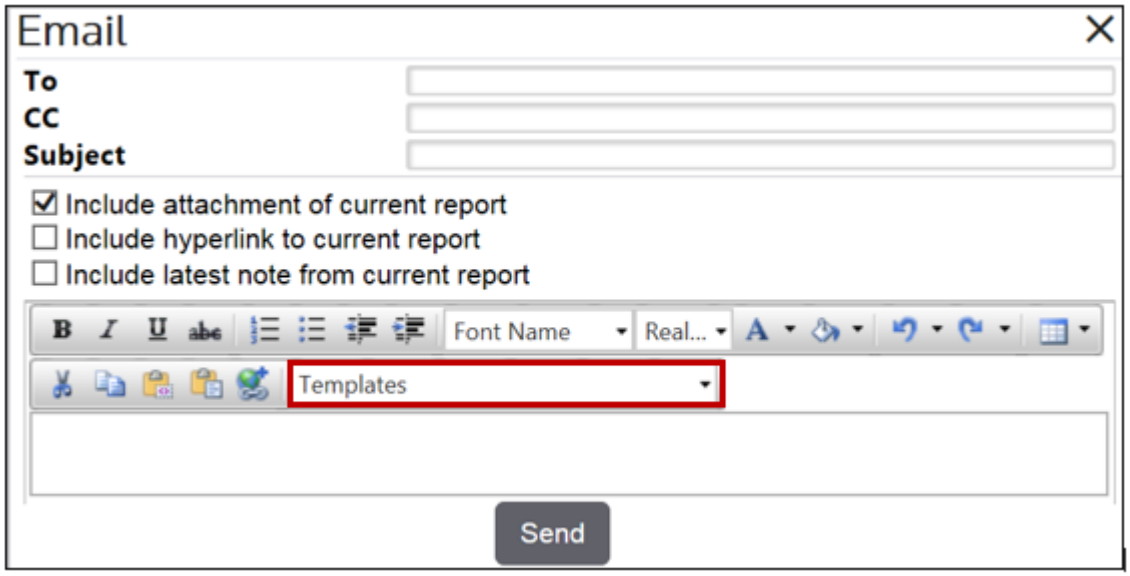


E メールのポップアップが開き、標準の E メールメッセージ機能が上部に表示されます。レポートを正しく共有するために、有効な E メールアドレスを指定する必要があります。

[E メール] ポップアップのチェックボックス	説明
現在のレポートの添付ファイルを含める	選択したレポートの .pdf バージョンを E メールに添付します。
現在のレポートへのハイパーリンクを含める	選択したレポートの現在のバージョンに受取人を移動させるURL リンクを添付します。E メールが送信されてからさらにデータが追加された場合、GTV レポートには最新バージョンが反映されます。 **注釈**: 受取人は、レポートを読むために、ONESOURCE Global Trade Visibility ユーザーアカウントが必要です。
現在のレポートからの最新の注釈を含める	選択したレポートからの関連付けられた最新の注釈を添付します。

E メールポップアップには、E メールの本文のフォントと形式を変更するオプションも含まれています。テンプレートドロップダウンには、以前に保存したすべての GTV テンプレートが入力されます。テンプレートは、Global Trade Visibility メニューオプションに置かれている GTV メールテンプレートオプションを介して管理できます。

© 2026 Thomson Reuters



注釈

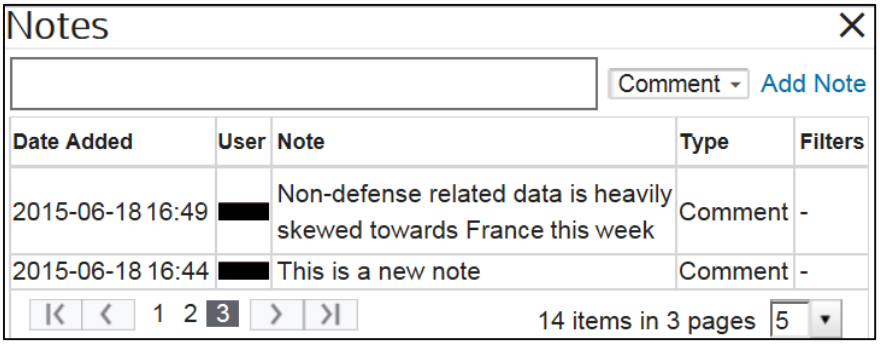
注釈はどのレポートにも追加できます。注釈を追加するには、[注釈] をクリックします。

[注釈] ポップアップが画面の中央に生成されます。テキストボックスを使用して、注釈の内容を書き込みます。

右側のドロップダウンを使用して、注釈タイプ（コメント、不一致、情報必要、レポート）を選択します。[注釈を追加] をクリックします。

すべての注釈は、注釈が保存されたときに適用されたフィルターとともに保存されます。

注釈: 追加の注釈のタイプが必要な場合は、システム管理者に連絡してください。



© 2026 Thomson Reuters

注釈は、追加後、[注釈] ポップアップの下部にあるグリッドでレビューできます。グリッドには次の情報が表示されます。

注釈の列	説明
追加された日付	注釈がシステムに追加された日付。
ユーザー	注釈を追加したユーザー。
注釈	注釈の一部として保存したメッセージ。
タイプ	注釈に関連付けられた注釈のタイプ。
フィルター	注釈が保存されたときに適用されたフィルター。
フィルターを適用	同じフィルターを適用したレポートへ移動するためのリンク。

[注釈] ポップアップを閉じるには、[X] をクリックします。

GTV メモのレポート

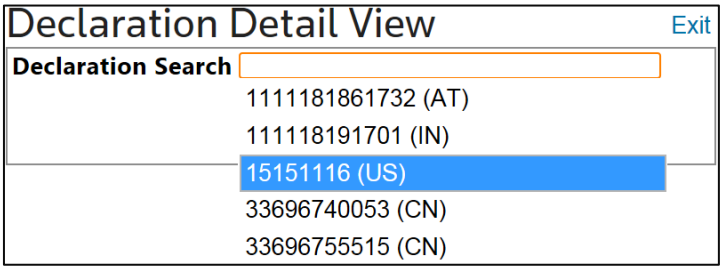
異なるレポートからのメモは、[GTV メモ] 新しいカテゴリにグループ化されました。[分析] -> [レポート] -> [GTV メモ] の順にクリックすると、タイプに応じたメモのビューが表示されます。また、[フィルターの適用] リンクをクリックすると、特定のメモがリスク分析を続けようとしているレポートが表示されます。

申告詳細ビュー

[申告詳細ビュー] 画面は、特定の申告の検索や、ブローカー、政府データソース、ERP システムにより提供されたすべての情報を表示するために使用されます。この画面にアクセスするには、[Global Trade Visibility] メニューから [GTV 申告ビュー] を使用します。

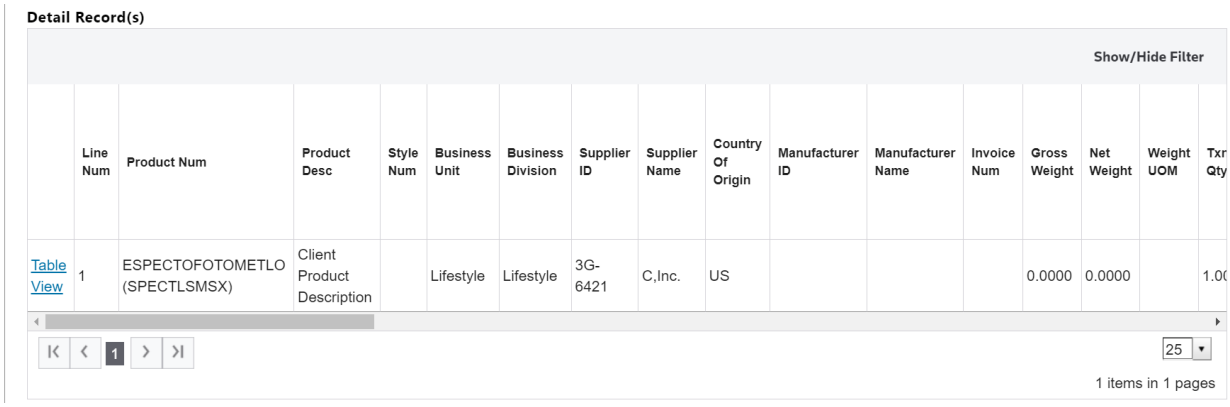
申告の検索

申告を検索するには、[申告の検索] テキストボックスに申告番号の入力を開始します。このテキストボックスには先行入力機能があり、必要な申告をすばやく見つける場合に役立ちます。先行入力機能は、GTV 輸入と GTV 輸出それぞれに対して、搬入または出荷が受領または発送された国も示します。



© 2026 Thomson Reuters

申告が選択されると、すべてのヘッダーと詳細レコードが表示されます。グリッドが長すぎる場合、水平スクロールバーを使用して、離れた列を表示します。



別のスクロールバーが、ヘッダーと詳細データグリッド用に用意されています。[ヘッダーの詳細] セクションと [詳細レコード] セクションは読み取り専用です（したがって更新することはできません）。申告に関連付けられた詳細行の数が利用可能な領域を超えている場合、追加の垂直スクロールバーが表示されます。追加のページに移動するオプションも表示される場合があります。

詳細行の次のページに移動するには、をクリックします。

詳細行の最後のページに移動するには、をクリックします。

詳細行の前のページに移動するには、をクリックします。

詳細行の最初のページに移動するには、をクリックします。

詳細グリッド内に表示される詳細行の数を更新するには、[ページサイズ:] オプションをより大きな数字に更新します。これらのボタンはすべて、画面の下部に表示されます。

新しい申告番号を検索するには、[申告の検索:] テキストボックス（画面の左上）に戻ります。

新しい番号を入力するには、テキストボックスから現在の番号を削除するか、テキストボックスの末尾にある [X] をクリックします。新しい番号の入力を開始します。先行入力機能から番号を選択すると、[申告詳細ビュー] 画面が新しい情報で再生成されます。

レポートから申告を削除するには、画面の右上にある [期限切れ] をクリックします。検証メッセージが表示されます。続行する場合は [確認]、中止する場合は [キャンセル] をクリックします。確認後、「申告詳細ビュー」のランディングページに移動します。

© 2026 Thomson Reuters

Excel に申告のデータを抽出するには、画面右上にある [抽出] をクリックします。Excel のスプレッドシートがダウンロードされます。

[申告詳細ビュー] 画面を終了するには、画面右上にある [終了] をクリックします。

グリッドの並べ替えとフィルタリング

詳細のすべての列は、列名をクリックすることでアルファベット順に並べ替えることができます。フィルタリング機能の詳細については、「ユーザセットアップ」ユーザガイドの「グリッドの並べ替えとフィルタリング」セクションを参照してください。

テーブルビュー

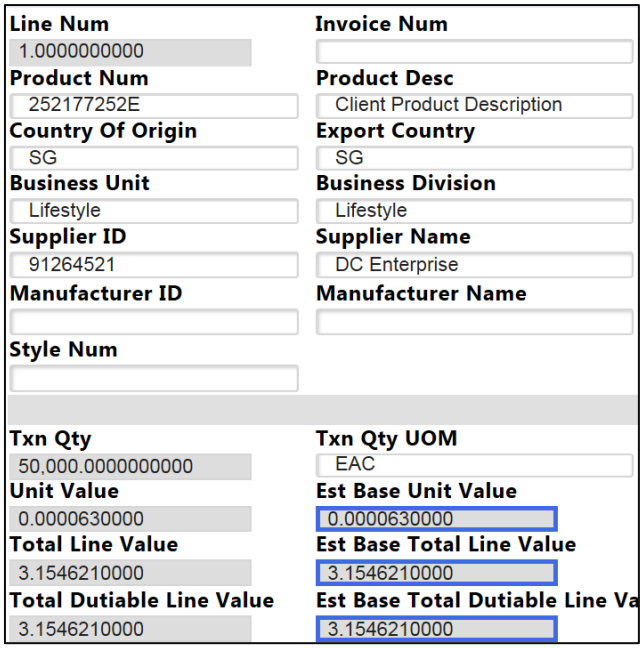
水平スクロールバーに加え、申告ヘッダーと詳細レコードは、[テーブルビュー] リンクを介して表示できます。[テーブルビュー] では、ポップアップですべてのデータ要素を表示します。[ヘッダービュー] ポップアップと [詳細ビュー] ポップアップは読み取り専用です。

Header Record

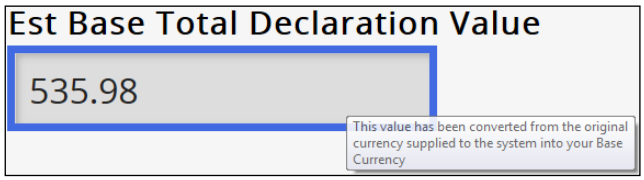
	Declaration Num	Broker ID	Broker Name	Declaration Type	Customer ID	Customer Name	Importer ID	Importer Name	Importer Reference Num	Consignee ID	Consignee Name	Import Country	Arrival Date	I D
Table View	016830N	TR745260438000	DHL GLOBAL FORWARDING (MANCHESTER)	Import	GB301428505000	SCHEIDER ELECTRIC LTD	GB301428505000	SCHEIDER ELECTRIC LTD				GB	2019-08-24	2 0 1

ONESOURCE インターフェイスを処理する時点の計算結果を持つフィールドは、異なる色で強調表示されます。これらのフィールドには、ユーザーが実装中に設定した基準通貨コードに基づいて為替レートが適用されたすべての [見積済みベース] フィールドが含まれます。

© 2026 Thomson Reuters



青色で強調表示されたすべてのテキストボックスには、カーソルを置くと表示される、さらに詳細な説明が含まれます。



© 2026 Thomson Reuters

GTV レポートルックアップ

ONESOURCE ルックアップ画面は、各 ONESOURCE 製品に保存されたすべてのレコードの簡単な概要を提供するクロスプラットフォーム機能です。ルックアップ機能の一般的な概要情報については、ルックアップおよび動的フォーム ユーザーガイドを参照してください。

[GTV レポートルックアップ] 画面には、8 つの標準的なルックアップレポートがあり、高度なレポートステータス情報、検証ステータス情報、利用可能な輸入国、ブローカークロスリファレンス情報を示します。

この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[GTV レポートルックアップ] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

ドック（レポート）

ルックアップ画面の左側にあるタブは「ドック」と呼ばれます。ドックは、指定した基準に基づいてデータベースをさらに絞り込むために使用します。各ドックに表示されるデータセットは、現在のデータベースを正確に表します。各ドックのタイトルの横には、数字かアイコンが表示されます。

GTV レポートルックアップのドック	説明
GTV レポート - アクティブ	アクティブに設定されているレポートのカテゴリ、ビュー、およびレポート固有の情報を表示します。[表示] 列はレポートにリンクします
GTV レポート – 非アクティブ	現在非アクティブに設定されているレポートのカテゴリ、ビュー、およびレポート固有の情報を表示します。
すべてのレポート - 利用可能	システム内のすべてのレポートのカテゴリ、ビュー、およびレポート固有の情報を表示します。[アクティブ] 列内の値はレポートがアクティブか非アクティブかを示します。
GTV レポート - 前回リリース以降に追加	最新のリリースで追加された新しいレポートの基本情報を表示します。
GTV 検証 - アクティブ	アクティブな検証を表示します。検証グループ情報、検証名、検証メッセージ、検証タイプがすべて表示されます。
GTV 検証 - 利用可能	システム内の利用可能な検証を表示します。検証グループ情報、検証名、検証メッセージ、検証タイプがすべて表示されます。[アクティブ] 列内の値は検証がアクティブか非アクティブかを示します。
GTV 利用可能なデータ（輸入国別）	システム内に保存された利用可能なデータの国と国に関連した日付範囲を表示します。
GTV 設定 - 統一されていな	相互参照設定で翻訳がなされていないブローカーと運送業者を表示し

© 2026 Thomson Reuters

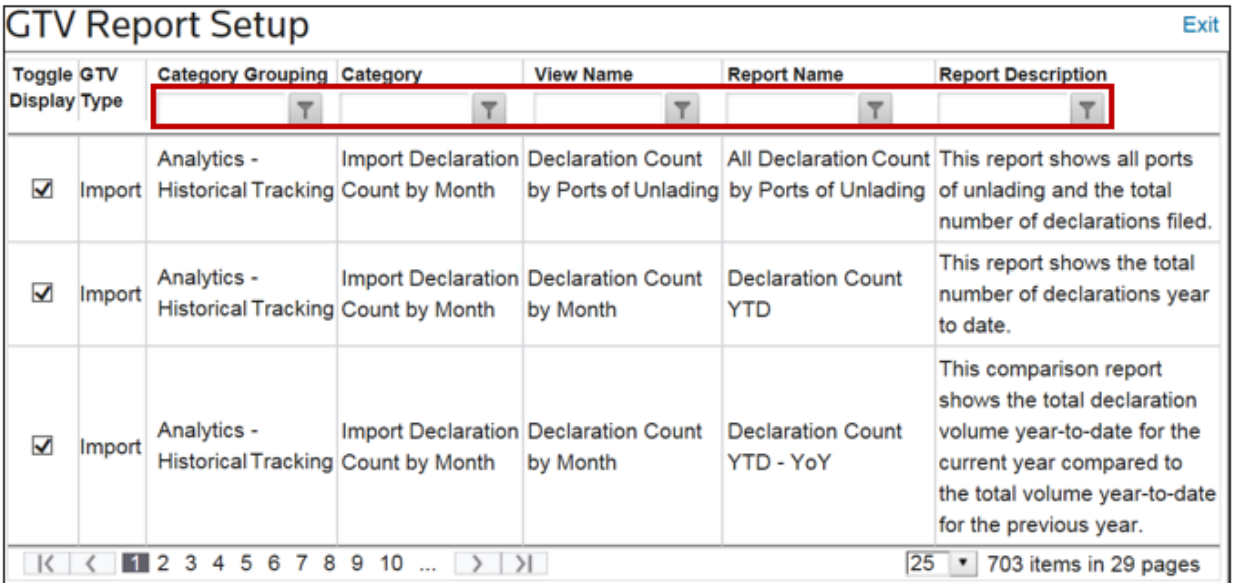
GTV レポートルックアップのドック	説明
いデータ	ます。[追加] リンク（左端）で [GTV 相互参照設定] 画面が開き、ブローカー/運送業者データのレビューと管理を行います。

一括レポート設定

[一括レポート設定] 画面は、「GTV ダッシュボード」のナビゲーションバーから表示できるレポートのすべてを管理するために使用されます。この画面にアクセスするには、[Global Trade Visibility] メインメニューから [一括レポート設定] を選択します。[一括レポート設定] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

[一括レポート設定] には、本来の並び順の使用可能なすべてのレポートを含むメイングリッドが表示されます。検索バーがデフォルトで有効になっており、ユーザーがオン/オフにしたいすべてのレポートを簡単に探索し検索できます。レポートは、次の項目でフィルタリングおよび並べ替えできます。

- カテゴリグルーピング
- カテゴリ
- 表示名
- レポート名
- レポートの詳細



[表示の切り替え] 列のチェックボックスは、[GTV ダッシュボード] メイン画面に表示するためにレポートを利用できるかどうかを判断する場合に使用されます。

オン	[GTV ダッシュボード] で使用するためにレポートを利用できます。
オフ	[GTV ダッシュボード] で使用するためにレポートを利用できません。

© 2026 Thomson Reuters

GTV Report Setup Exit

Toggle Display	GTV Type	Category Grouping	Category	View Name	Report Name	Report Description
☑	Import	Analytics - Historical Tracking	Import Declaration Count by Month	Declaration Count by Ports of Unlading	All Declaration Count by Ports of Unlading	This report shows all ports of unlading and the total number of declarations filed.
☑	Import	Analytics - Historical Tracking	Import Declaration Count by Month	Declaration Count by Month	Declaration Count YTD	This report shows the total number of declarations year to date.
☑	Import	Analytics - Historical Tracking	Import Declaration Count by Month	Declaration Count by Month	Declaration Count YTD - YoY	This comparison report shows the total declaration volume year-to-date for the current year compared to the total volume year-to-date for the previous year.

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 25 703 items in 29 pages

相互参照データ設定

[GTV 相互参照設定] 画面は、データが Global Trade Visibility にインポートされたときに行われるすべての更新と検証を表示するために使用されます。この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[相互参照データ設定] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

[GTV 相互参照設定] には 4 つのタブが含まれ、ユーザーはさまざまな更新と検証の間を簡単に移動できます。これらのタブには次のものがあります。

- ステージングデータの更新
- クライアント主導のデータ検証
- 標準データ検証
- 必須データ検証

[相互参照設定] 画面のすべてのタブは読み取り専用です（したがってユーザーは更新できません）。更新を行うには、システム管理者に連絡してください。

注釈: [ステージングデータの更新]、[クライアント主導のデータ検証]、[標準データ検証] に対するすべての変更は、今後のすべてのレコードに有効になります。更新と検証は、さかのぼって適用されることはありません。

GTV Cross Reference Setup Manage Validation Groups Exit

GTV Type: Import

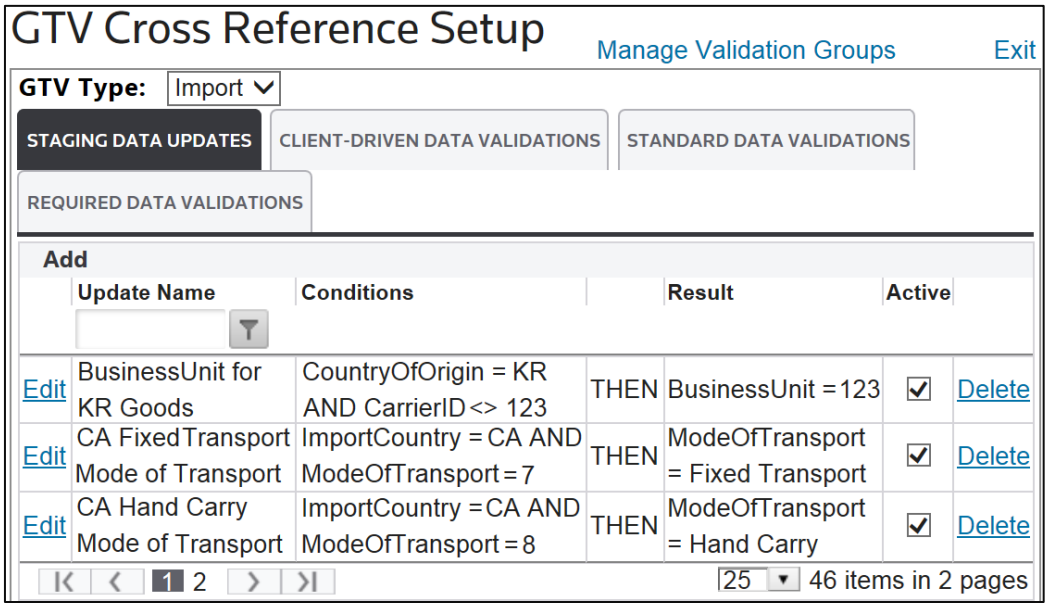
STAGING DATA UPDATES | CLIENT-DRIVEN DATA VALIDATIONS | STANDARD DATA VALIDATIONS | REQUIRED DATA VALIDATIONS

© 2026 Thomson Reuters

ステージングデータの更新

[ステージングデータの更新] タブは、複数のブローカーおよび/または ERP システム間でクライアントデータを統一するために使用されます。これらの更新は、データが Global Trade Visibility にインポートされているときに行われます。タブには、クライアントが更新を探索するための次の列が含まれます。

ステージングデータの更新 - 列	説明
更新名	更新の簡易説明。
条件	データ更新をトリガーするために満たす必要のある基準。
結果	[条件] 列の基準が満たされた場合に行われる更新。
アクティブ	更新がアクティブに実行しているかどうかを示します。チェックボックスがオンになっていると、更新がアクティブであることを示します。チェックボックスがオフになっていると、更新が非アクティブであることを示します。



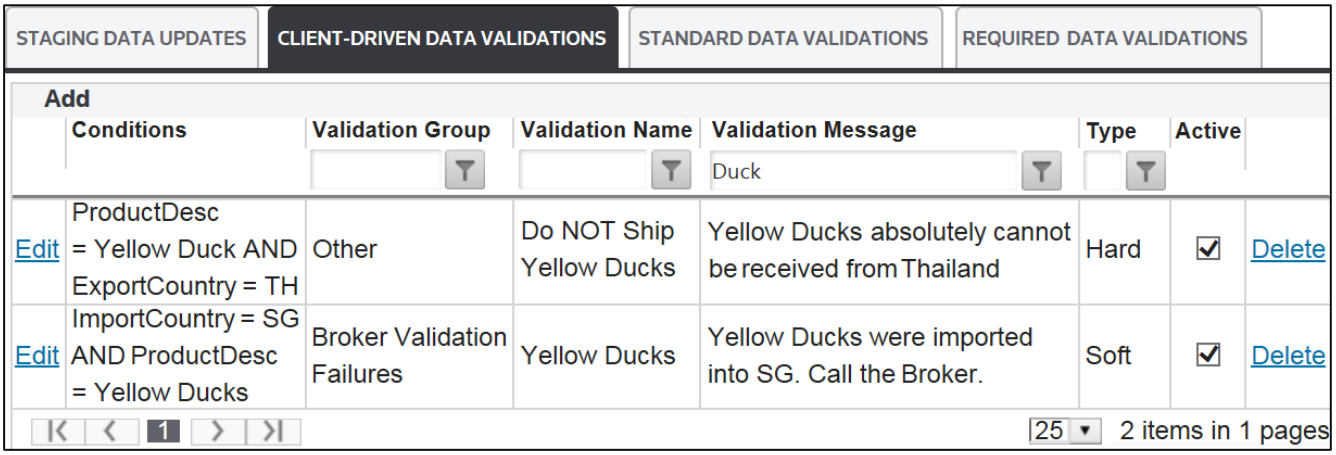
クライアント主導のデータ検証

[クライアント主導のデータ検証] タブには、クライアントの一意のビジネスロジックに基づいて作成された検証が表示されます。これらの検証は、データが Global Trade Visibility にインポートされるときに行われます。

タブには、クライアントが更新を探索するための次の列が含まれます。

© 2026 Thomson Reuters

クライアント主導のデータ更新 - 列	説明
条件	データ検証をトリガーするために満たす必要のある基準。
検証グループ	表示されている検証のタイプをレポートするために使用されます。検証グループは実装中に作成されます。
検証名	検証の簡易説明。検証名は、表示されている検証のタイプについてレポートするために使用されます。
検証メッセージ	検証の詳細な説明。検証メッセージは、詳細な検証レポートに表示され、検証の調査に役立ちます。
タイプ	検証は、ソフト検証かハード検証になります。 **ソフト**: システム「警告」。引き続き GTV へのレコードをレポートで使用できるようにします。 **ハード**: システム「エラー」。保留し、GTV へのレコードの入力を許可しません。
アクティブ	更新がアクティブに実行しているかどうかを示します。チェックボックスがオンになっていると、更新がアクティブであることを示します。チェックボックスがオフになっていると、更新が非アクティブであることを示します。

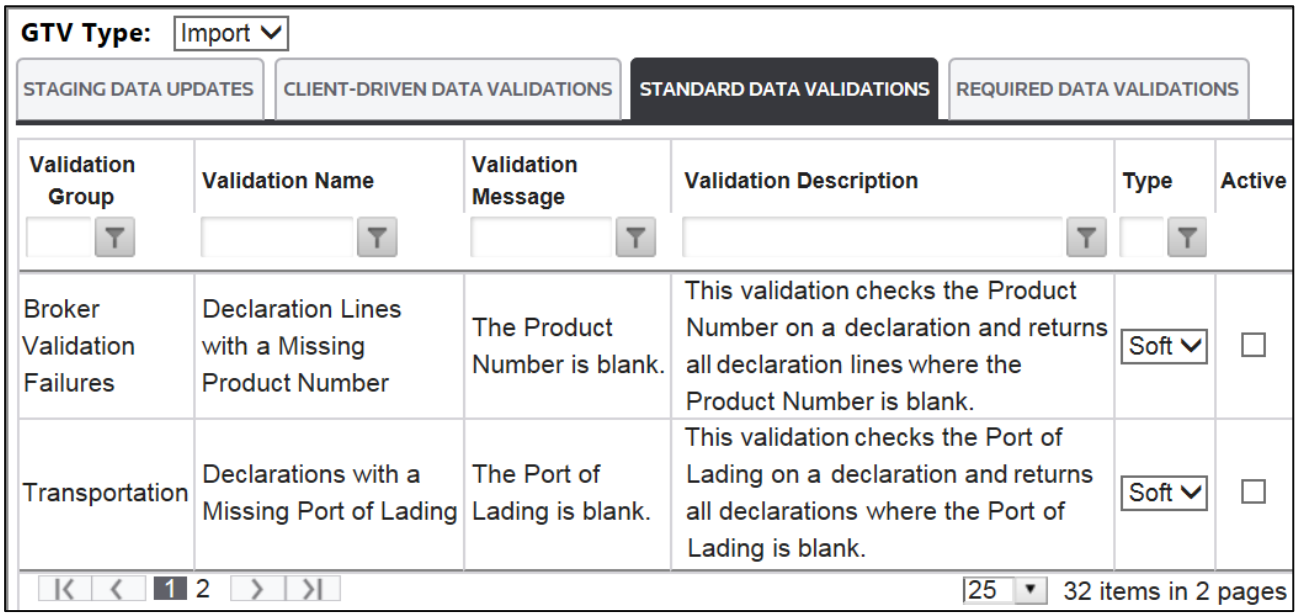


標準データ検証

[標準データ検証] タブには、「すぐに使用できる」検証オプションとして ONESOURCE で作成された検証が表示されます。これらの検証は、データが Global Trade Visibility にインポートされるときに行われます。タブには、クライアントが更新を探索するための次の列が含まれます。

© 2026 Thomson Reuters

標準データ検証 - 列	説明
条件	データ検証をトリガーするために満たす必要のある基準。
検証グループ	表示されている検証のタイプをレポートするために使用されます。検証グループは実装中に作成されます。
検証名	検証の簡易説明。検証名は、表示されている検証のタイプについてレポートするために使用されます。
検証メッセージ	検証の簡詳細な説明。検証メッセージは、詳細な検証レポートに表示され、検証の調査に役立ちます。
検証の説明	ユーザーが標準的な検証の目的を評価できるように、ONESOURCE によって提供される説明。
タイプ	検証は、ソフト検証かハード検証になります。 **ソフト**: システム「警告」。引き続き GTV へのレコードをレポートで使用できるようにします。 **ハード**: システム「エラー」。保留し、GTV へのレコードの入力を許可しません。
アクティブ	更新がアクティブに実行しているかどうかを示します。チェックボックスがオンになっていると、更新がアクティブであることを示します。チェックボックスがオフになっていると、更新が非アクティブであることを示します。



© 2026 Thomson Reuters

必須データ検証

[必須データ検証] タブには、ONESOURCE で作成され、すべてのクライアントに必要とされる検証が表示されます。必須検証は、オフにすることはできません。これらの検証は、データが Global Trade Visibility にインポートされるときに行われます。これらの検証をパスしないレコードは、「ハード」検証タイプとして扱われ、GTV への入力は許可されません。

タブには、クライアントが更新を探索するための次の列が含まれます。

標準データ検証 - 列	説明
検証グループ	表示されている検証のタイプをレポートするために使用されます。検証グループは実装中に作成されます。
検証名	検証の簡易説明。検証名は、表示されている検証のタイプについてレポートするために使用されます。
検証メッセージ	検証の詳細な説明。検証メッセージは、詳細な検証レポートに表示され、検証の調査に役立ちます。
検証の説明	ユーザーが標準的な検証の目的を評価できるように、ONESOURCE によって提供される説明。

STAGING DATA UPDATES | CLIENT-DRIVEN DATA VALIDATIONS | STANDARD DATA VALIDATIONS | REQUIRED DATA VALIDATIONS

Validation Group	Validation Name	Validation Message	Validation Description
Broker Validation Failures	Declarations with a Missing Import Country	The Import Country is blank.	This validation checks the Import Country on a declaration and returns all entries where the Import Country is blank.
Broker Validation Failures	Declaration Lines with a Missing HS Number	The HS Number is blank.	This validation checks the HS Number on a declaration and returns all declaration lines where the HS Number is blank.
Broker Validation Failures	Declarations with a Missing Entry Number	The Declaration Number is blank.	This validation checks the Declaration Number on a declaration and returns all declaration lines where the Declaration Number is blank.
Broker Validation Failures	Declarations with a Missing Import Date	The Import Date is blank.	This validation checks the Import Date on a declaration and returns all declarations where the Import Date is blank.

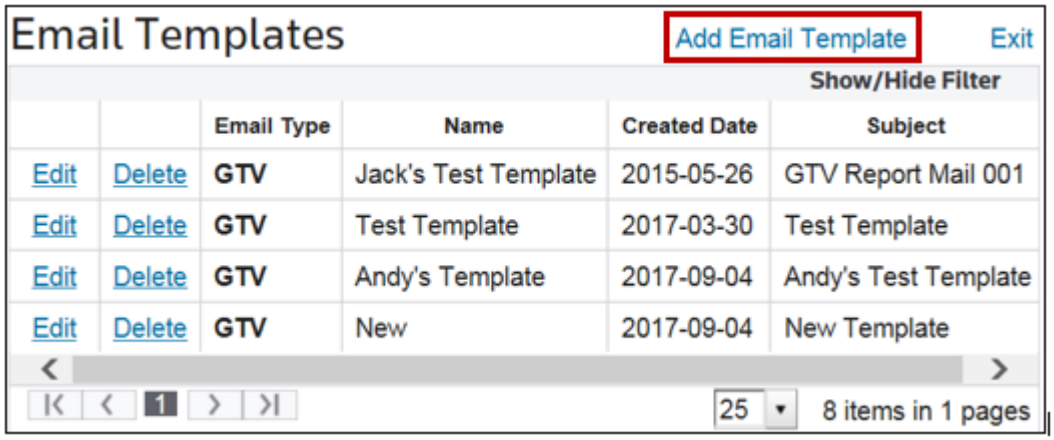
1 25 9 items in 1 pages

© 2026 Thomson Reuters

GTV メールテンプレート

[メールテンプレート] 画面では、ユーザーは、システムで利用できるメールテンプレートを作成、編集、削除できます。作成したすべてのメールテンプレートは、ここに示されます。この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[GTV メールテンプレート] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

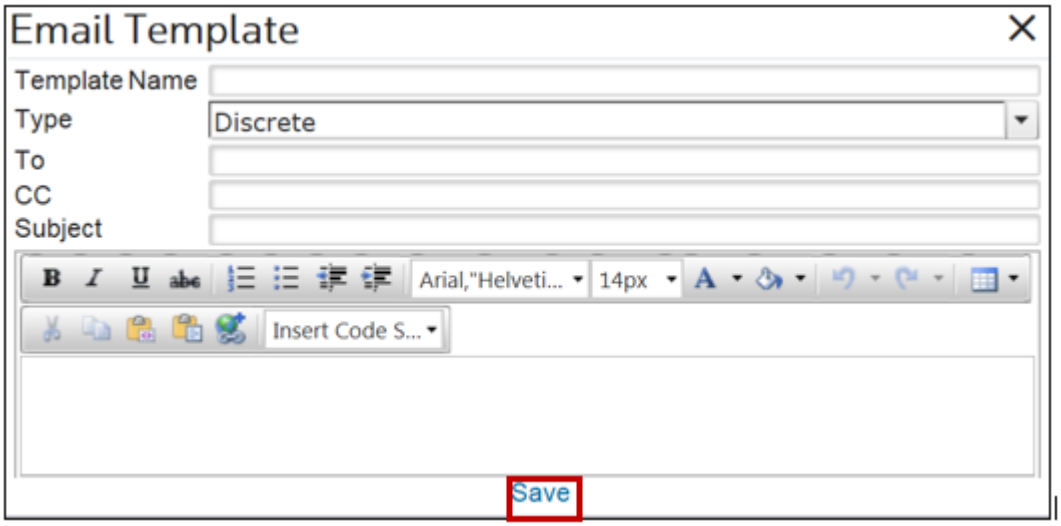
新しいメールテンプレートを作成するには、[メールテンプレートの追加]（画面の右上）をクリックします。



[メールテンプレート] ポップアップに、メールテンプレートの必須情報を入力します。

[タイプ] ドロップダウンには、現在のパートナー（「GTV」など）のすべての製品が含まれます。

さまざまなフィールドに関するすべての情報を入力した後、[保存] をクリックします。



これでテンプレートが、以前に作成したメールテンプレートと並んで表示されます。

© 2026 Thomson Reuters

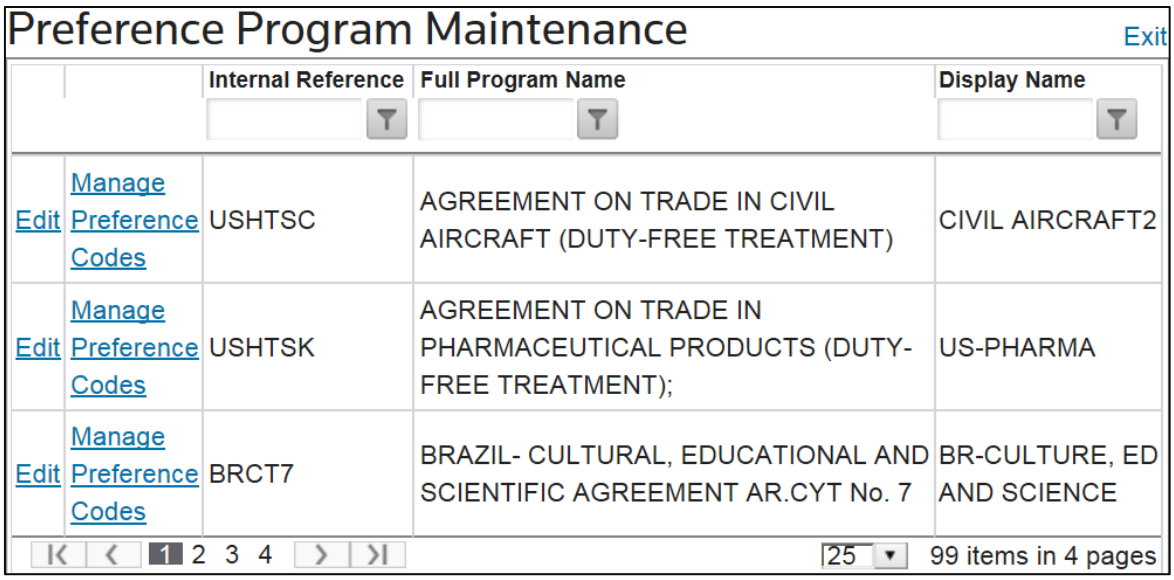
優遇プログラム

Global Trade Visibility は、ONESOURCE Content とクライアント特有のデータの両方にわたって優遇プログラムを統一できます。この統一は、[優遇プログラム] 画面で行われます。

この画面には、[Global Trade Visibility] メニューの [保守データ管理] サブメニューから [優遇プログラム] を選択してアクセスできます。

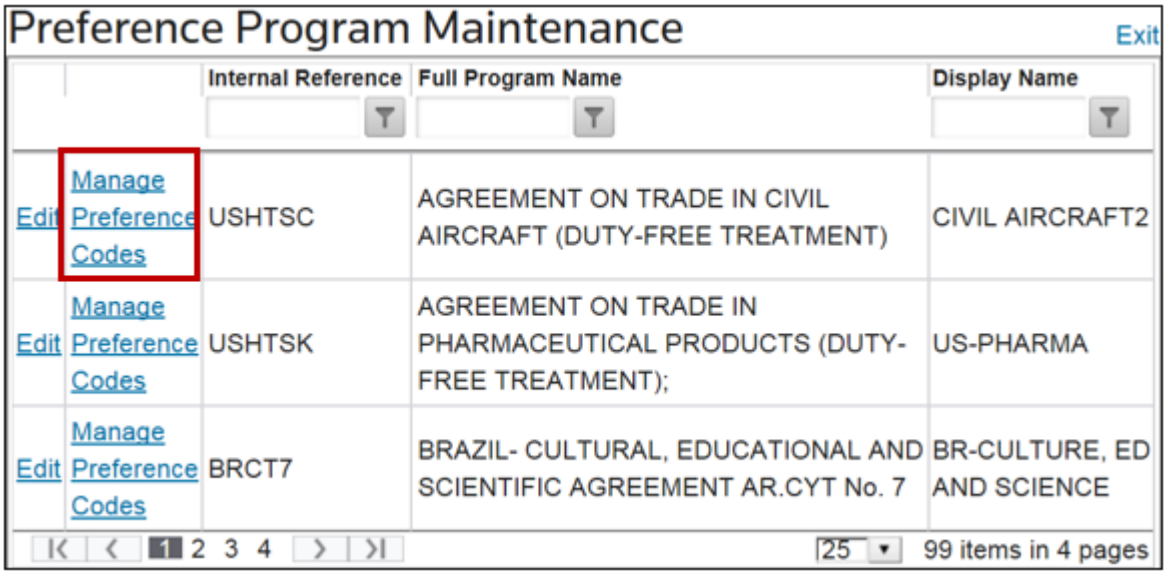
[優遇プログラムの保守] 画面には、下の表で定義されているとおりに、検索可能な 3 つの列を持つグリッドで、利用可能な優遇プログラムが表示されます。

優遇プログラムの保守 - 列	説明
内部参照	ONESOURCE Content が特定の優遇プログラムを示すために使用するコード。
プログラムのフルネーム	ONESOURCE Content が個々の優遇プログラムコードそれぞれに関連付けるフルテキストネーム。
表示名	優遇プログラムを表示するすべてのレポートに表示される名前。表示名が存在しない場合、プログラムのフルネームが表示されます。



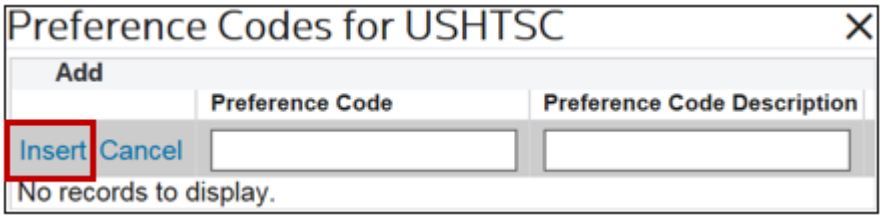
クライアント特有の優遇プログラムを ONESOURCE Content 優遇プログラムに関連付けるには、プログラムを選択し、[優遇コードの管理] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



[優遇コード] ポップアップが開きます。新しいレコードを追加するには、[追加] をクリックします。

優遇コードと説明を入力します。[挿入] をクリックしてレコードを挿入するか、[キャンセル] をクリックしてすべての変更を破棄して [優遇プログラムの保守] 画面に戻ります。



国地域

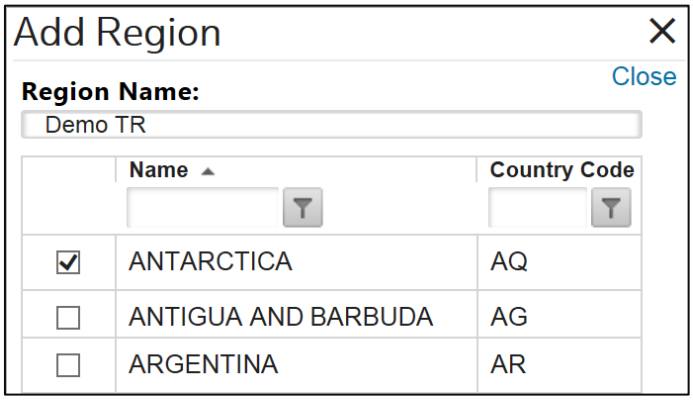
Global Trade Visibility では国地域ごとのレポートを提供します。ユーザーは、[国地域] 画面で、新しい国地域を作成し、既存の国地域を管理できます。この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[国地域] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

© 2026 Thomson Reuters

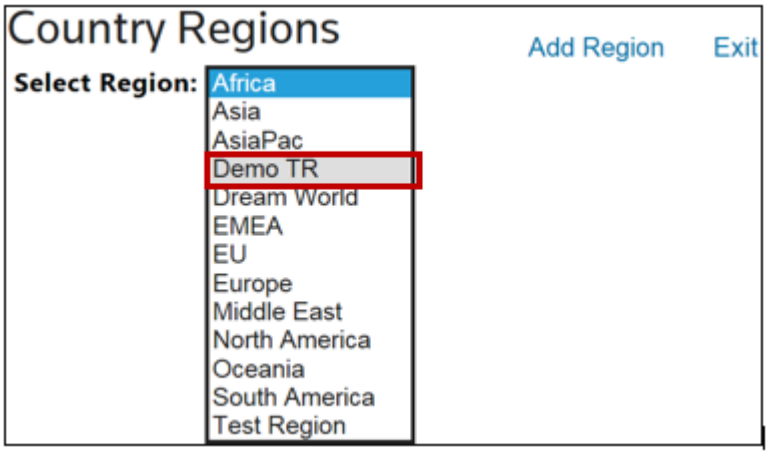
地域の新規作成

新しい地域を作成するには、[地域を追加] をクリックします。このアクションにより、すべての利用可能な国を含む [地域を追加] ポップアップが開きます。ユーザーは、[地域名] ボックスにカスタムの地域名を入力できます。

[地域を追加] ポップアップで、地域に追加する国を選択します。国が追加されると、[地域を追加] ポップアップの上部に、その国が地域に追加されたことを示すメッセージが表示されます。ユーザーは任意の利用可能な国を地域に追加できます。新しい地域が作成されると、[閉じる] をクリックして、[地域を追加] ポップアップを閉じて、[国地域] 画面に戻ります。

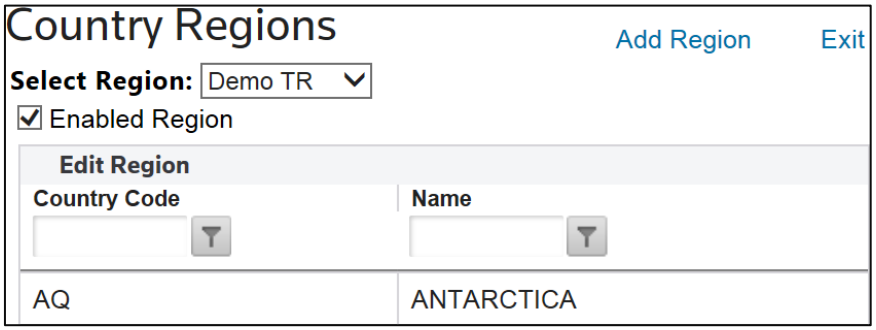


[地域を選択] ドロップダウンに、ONESOURCE Global Trade Visibility システム内のすべての既存の地域が表示されます。開いて管理する地域を選択します。



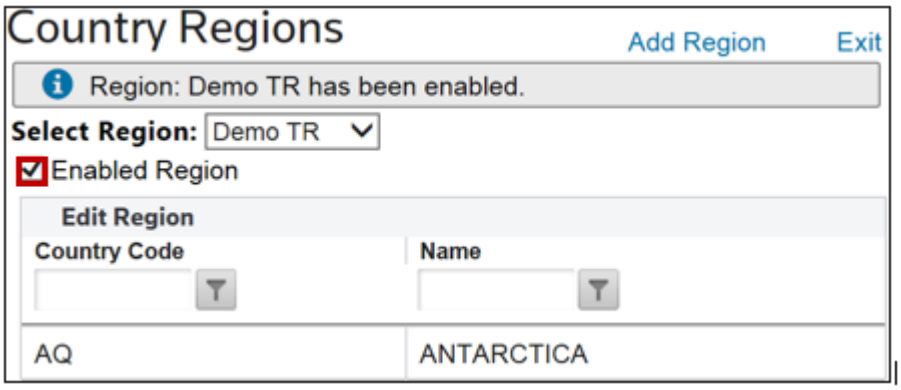
© 2026 Thomson Reuters

地域を選択すると、[国地域] 画面に、すでに地域に追加されているすべての国が表示されます。現在一覧表示されている地域に対して国の追加または削除を行うには、[地域を編集] をクリックします。



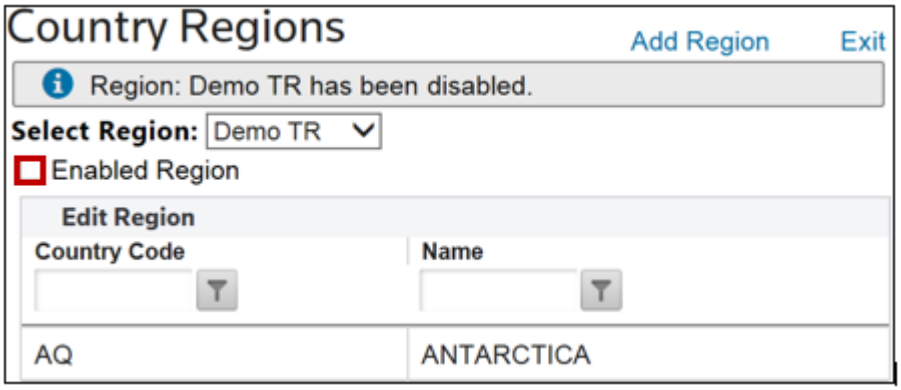
地域の有効化

地域を有効にするには、[地域有効] チェックボックスをオンにします。検証メッセージが、画面の上部に表示され、地域が有効化されていることをユーザーに知らせます。



地域の無効化

地域を無効にするには、[地域有効] チェックボックスをオフにします。検証メッセージが、画面の上部に表示され、地域が無効化されていることをユーザーに知らせます。

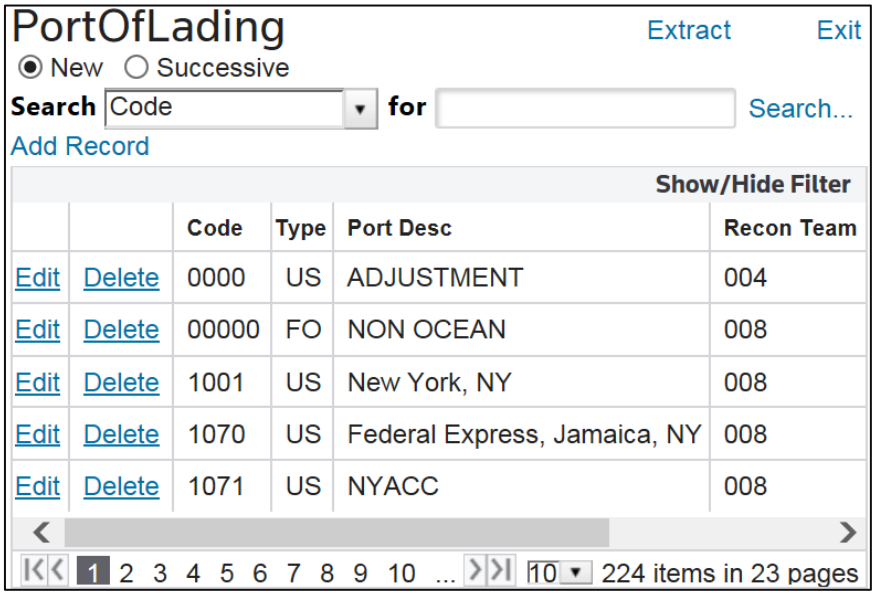


© 2026 Thomson Reuters

港コード

有効な積地港をシステム内で保守する必要があります。この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[港コード] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。

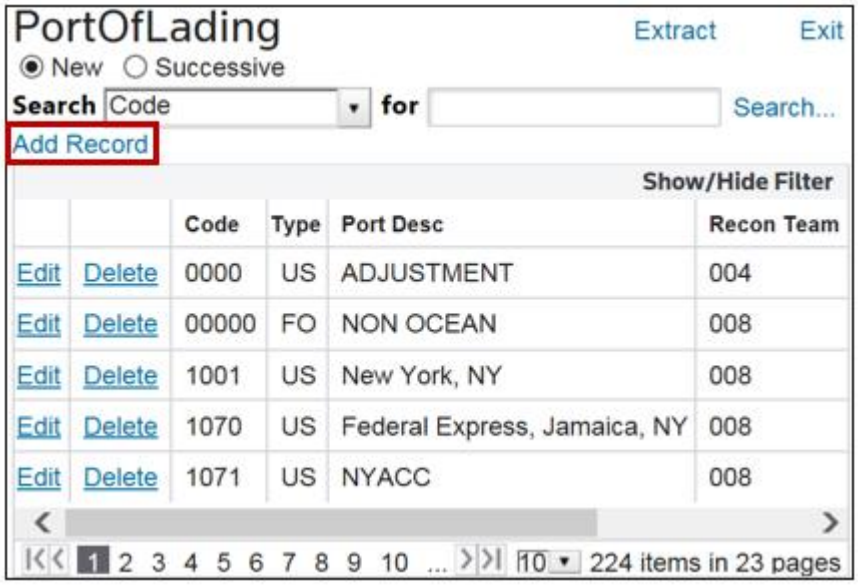
[タイプ] 列には、海外の港には「FO」の港タイプが、米国の港には「US」の港タイプが付けられている必要があります。



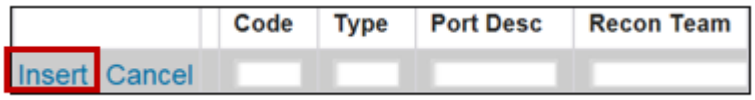
積地港の追加

システムに港を追加するには、[レコードを追加] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters

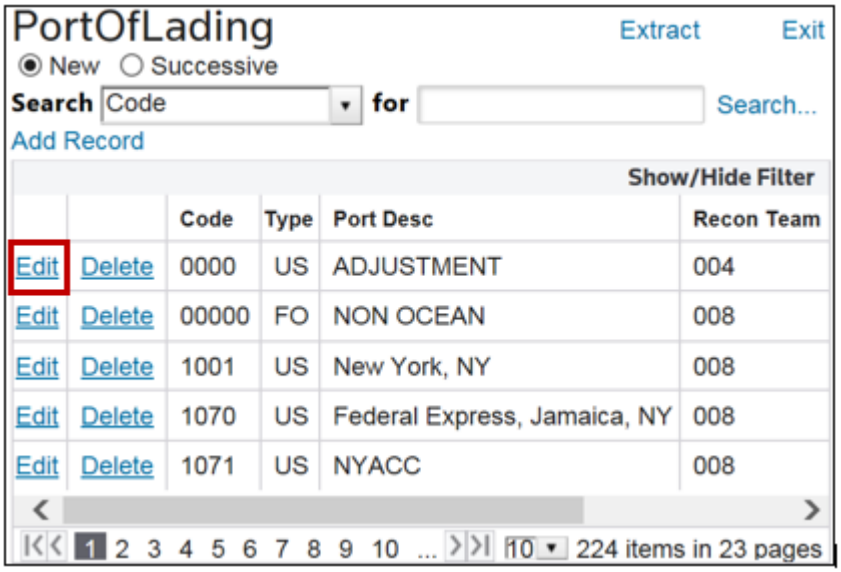


港のすべての情報を入力してから、[挿入] をクリックします。新しい港を追加するときには、すべての列を入力している必要があります。



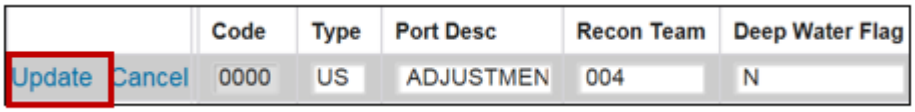
既存の積地港の変更

既存の港情報を変更するには、[編集] をクリックします。



© 2026 Thomson Reuters

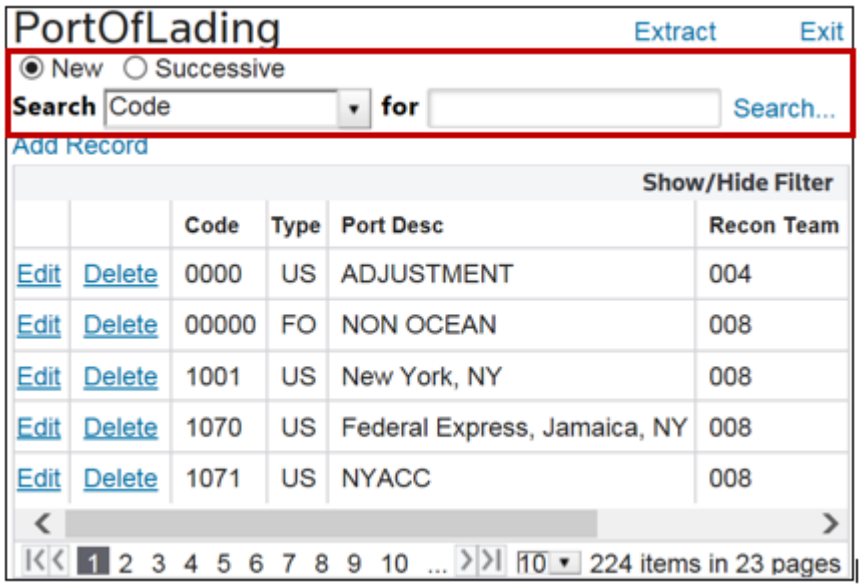
必要な変更を行い、[更新] をクリックします。



既存の積地港の検索

港を検索するには、[検索] ドロップダウンから検索オプションを選択します。[対象] フィールドにデータを入力し、[検索] をクリックします。

新規	新しい検索を入力します。
連続	複数の異なる検索条件に基づいて、既存の検索を絞り込みます。



為替レート

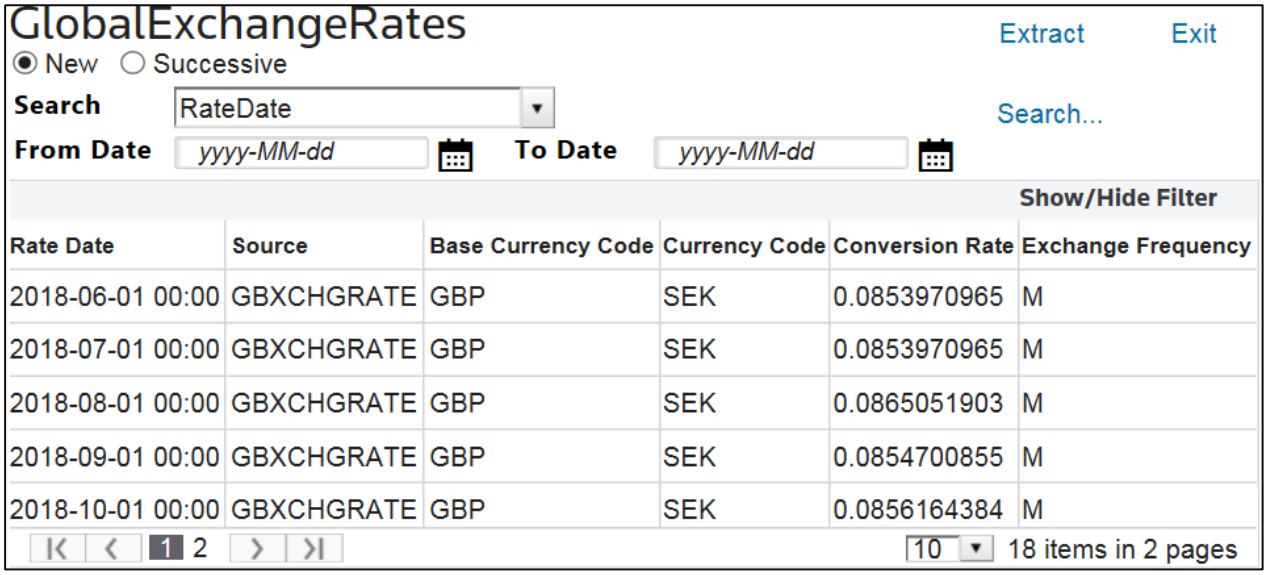
Global Trade Visibility は、システム内の履歴的な為替レートをレビューするために使用できます。この機能により、ユーザーは、発送地の通貨から基準通貨に変換するために使用される為替レートを調べられます。この画面には、[Global Trade Visibility] メニューの [保守データ管理] サブメニューから [為替レート] を選択してアクセスできます。

次の表には、この画面の列に関する情報が記されています。

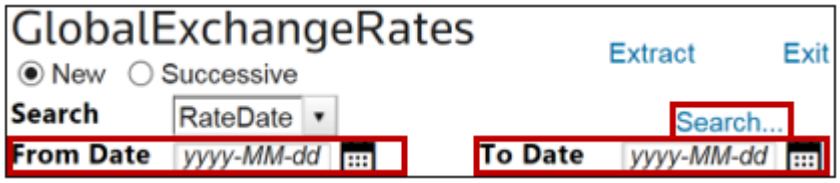
レートの日付	為替レートが有効になる日付を表示します。
ソース	為替レートを取得した箇所を表示します（GB 為替レートなど）。

© 2026 Thomson Reuters

レートの日付	為替レートが有効になる日付を表示します。
基準通貨コード	システムで基準通貨として設定された通貨を表示します。受け入れインボイス/申告の全合計金額が基準通貨に変換されます。
通貨コード	発送地の通貨の通貨コードを表示します。
換算率	基準通貨から発送地の通貨への換算率を表示します。
為替交換頻度	為替レートを更新する頻度を表示します。

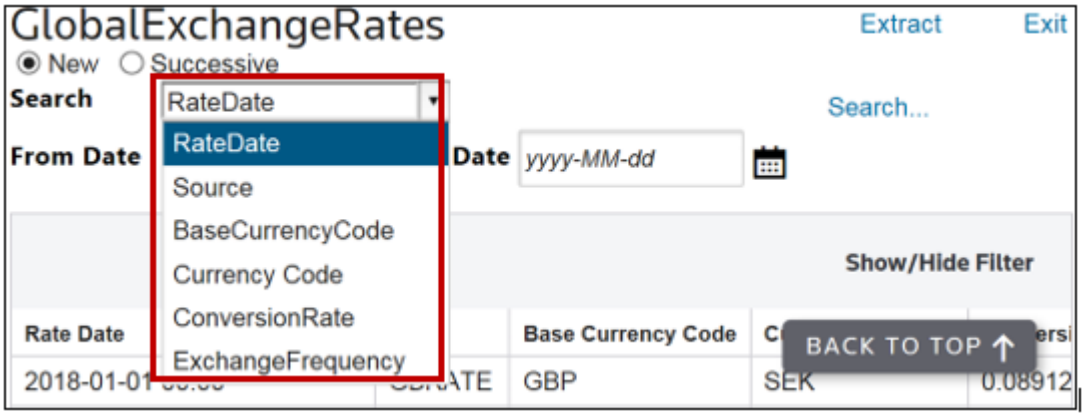


特定の日付範囲の為替レートをレビューするには、[開始日] パラメータと [終了日] パラメータを使用して目的の範囲を選択し、[検索] をクリックします。



異なる検索条件で検索するオプションがあります。

© 2026 Thomson Reuters

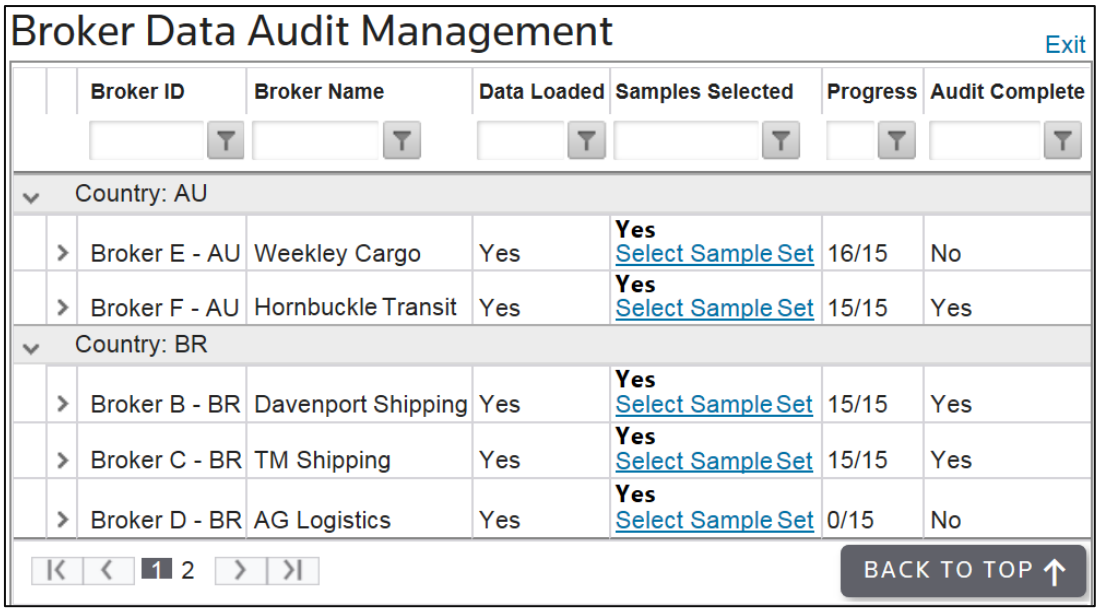


ブローカーデータ監査管理

Global Trade Visibility では、ONESOURCE が行ったデータマッピングの精度について、すべてのブローカーデータと政府提供データを外部ソースがレビューすることが必要になります。

外部ソースは、提供されるデータに精通した個人または個人のチームとしてクライアントによって指定され、ブローカーまたは政府ソースから提供されたデータを正確に確認できます。この監査は、Thomson Reuters の従業員が行うことはできません。

この画面にアクセスするには、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択します。[ブローカー申告監査] が、[保守データ管理] サブメニューの下に表示されます。



© 2026 Thomson Reuters

ブローカーデータ監査画面のナビゲーション

[ブローカーデータ監査管理] 画面には、一意の国とブローカー ID のすべての組み合わせを示したグリッドが表示されます。

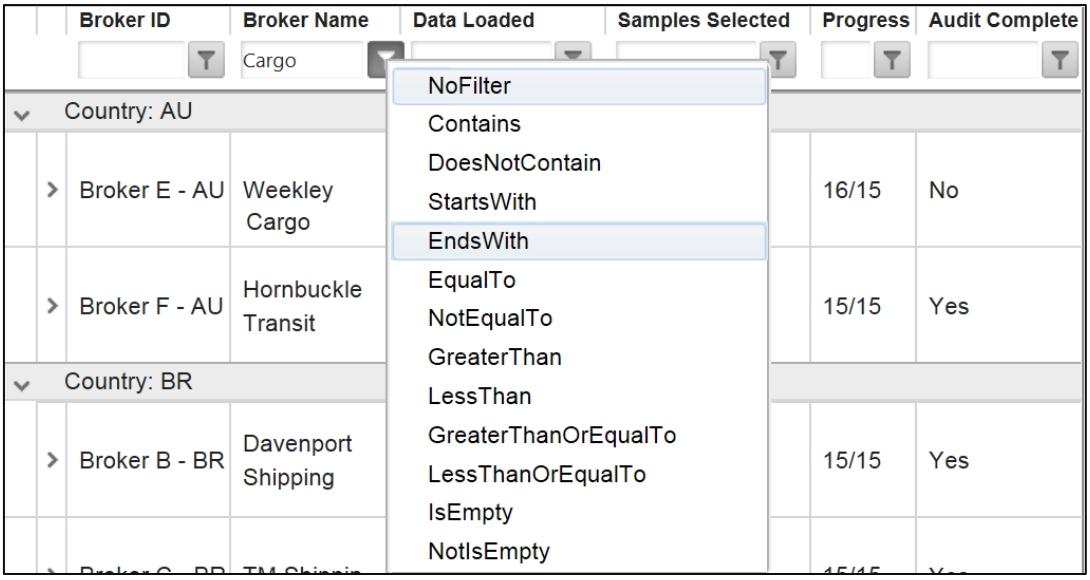
表示グリッドには、6 つの別個の列があり、すべての利用可能なオプションを簡単に探索できます。これらの列は以下のとおりです。

ブローカーデータ監査管理 - 列	説明
ブローカー ID	ブローカー ID と ISO 国コード。政府提供のデータの場合、ブローカー ID は「GOVT」と表示されます。
ブローカー名	ブローカーの名前。政府提供のデータの場合、ブローカー名は、米国における「ACE」など、ソースシステムの名前として表示されます。
ロードされたデータ	国/ブローカー ID の組み合わせに関するデータが読み込まれているかどうか示す[はい]/[いいえ] のフィールド。
選択されたサンプル	国/ブローカー ID の組み合わせに関するサンプルが選択されているかどうか示す[はい]/[いいえ] のフィールド。
進捗	国/ブローカー ID の組み合わせに関して（必要な 15 のうち）合格した申告の割合を表す「x/15」の進捗パーセンテージ。
監査完了	国/ブローカー ID の組み合わせに関して監査が完了しているかどうか示す[はい]/[いいえ] のフィールド。

[ブローカーデータ監査管理] 画面のすべての列にはフィルタリング機能があり、探索が簡単です。すべての列の上部には、テキストボックスとフィルターアイコンが表示されます。

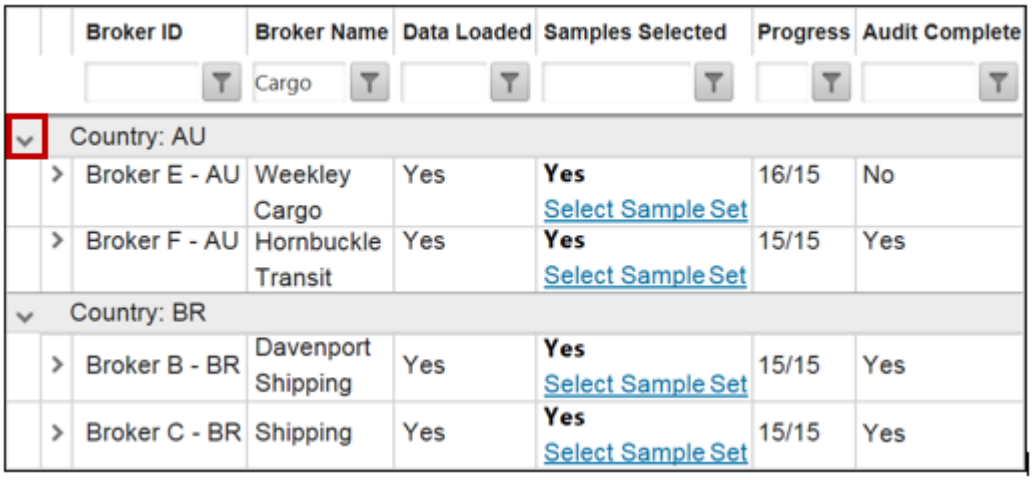
この機能を使用するには、フィルターする列を選択し、青色のバナーにある列のテキストフィールドをクリックします。フィルターのアイコンをクリックしてフィルターオプションを選択します。

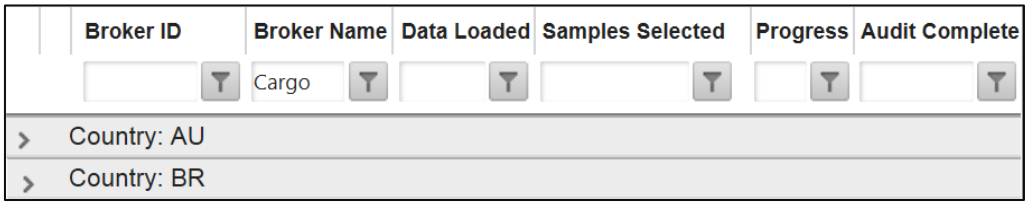
© 2026 Thomson Reuters



[ブローカーデータ監査管理] 画面で、利用可能なすべての国が、関連したすべてのブローカー/政府ソースとともに表示されます。

表示グリッドを折りたたんで、関連したブローカー/政府ソースを非表示にするには、国ヘッダーの左側にある展開矢印をクリックします。





© 2026 Thomson Reuters

表示グリッドを展開して、関連したブローカー/政府ソースを表示するには、サイド矢印（国ヘッダーの左側）をクリックします。

Broker ID	Broker Name	Data Loaded	Samples Selected	Progress	Audit Complete
	Cargo				
Country: AU					
Broker E - AU	Weekley Cargo	Yes	**Yes** Select Sample Set	16/15	No
Broker F - AU	Hornbuckle Transit	Yes	**Yes** Select Sample Set	15/15	Yes

各ブローカー行を折りたたむことも展開することもできます。各ブローカー行の左側にある矢印をクリックして、サンプルセットを表示します。

Broker ID	Broker Name	Data Loaded	Samples Selected	Progress	Audit Complete
	Cargo				
Country: AU					
Broker E - AU	Weekley Cargo	Yes	**Yes** Select Sample Set	16/15	No

Declaration Number	Status	
3CF9K3GTK	New	Audit Declaration
32532YF9K	New	Audit Declaration
98FYYHEHS	New	Audit Declaration
98FRL32NKR	New	Audit Declaration
98GFM3EJG	New	Audit Declaration

サンプルセットが選択されていない場合、次のメッセージが表示されます。

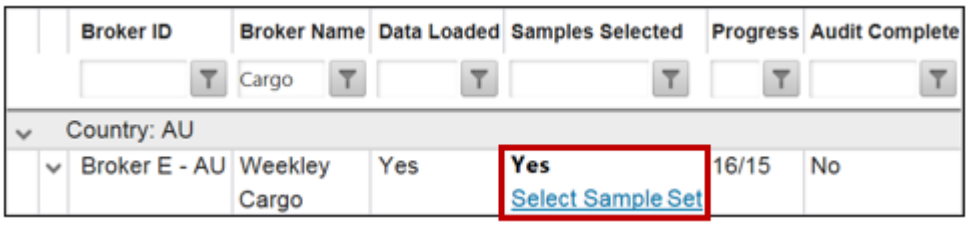
Declaration Number	Status
Sample declarations for this Broker-Country have not been selected or no data has been loaded	

© 2026 Thomson Reuters

ブローカーデータ監査プロセス

申告サンプルへのアクセス

ブローカーデータ監査を実施する準備ができたら、[国/ブローカー] の詳細行を選択します。[ロードされたデータ] 列のフィールドが [はい] であることを確認します。この列が [はい] になっていない場合、監査は行えません。



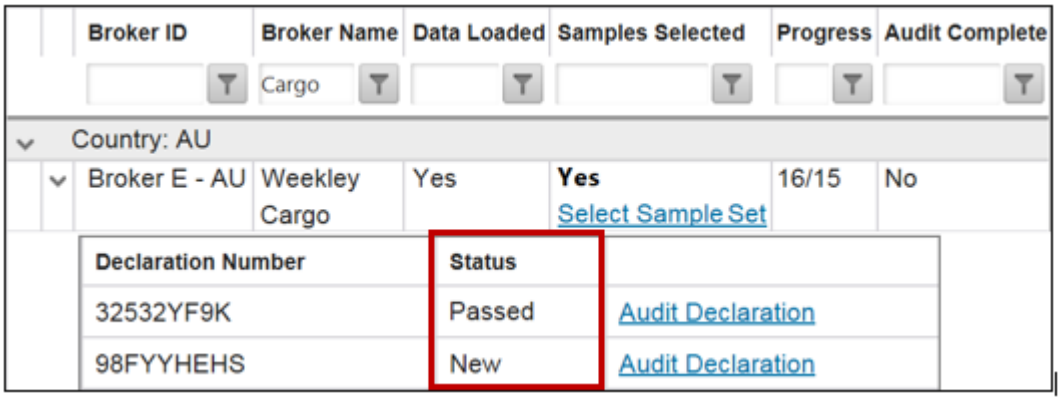
次に、サンプルセットが選択されているか調べます。[選択されたサンプル] 列に [サンプルセットを選択] リンクだけが含まれている場合、サンプルは取得されていません。

申告のサンプルを選択するには、[サンプルセットを選択] をクリックします。サンプルを選択すると、列には [はい] と [サンプルセットを選択] リンクが含まれます。[進捗] 列は、必要な 15 件の申告のうち 0 件が監査に合格したことを示します。

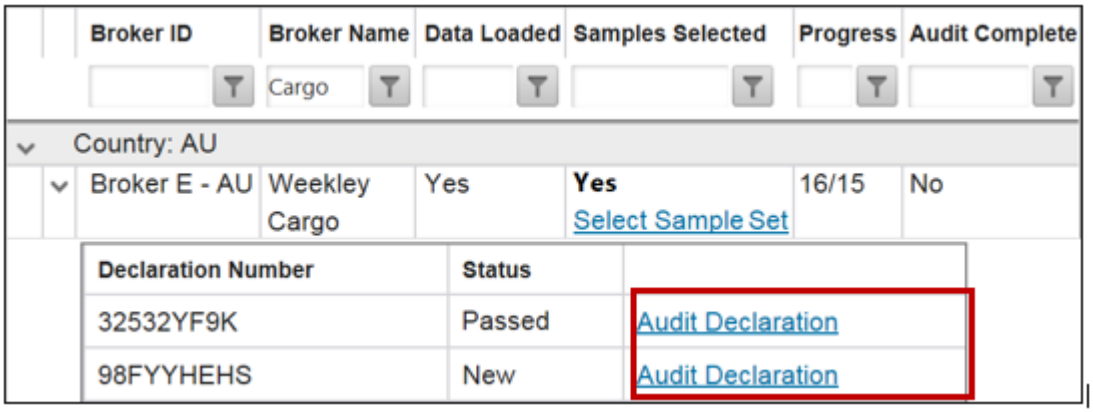
ブローカー詳細行を展開すると、監査に選択された 15 件の申告が個々の申告の [ステータス] とともに表示されます。これは、ブローカー詳細行の左にある [>] をクリックして行えます。

申告監査ステータスのリスト	説明
新規	申告はまだレビューされていません。
進行中	申告は以前にレビューされましたが、まだ完了していません。
失敗	申告は監査プロセスに失敗しました。
合格	申告は監査プロセスに合格しました。
以前に失敗	申告は監査プロセスに以前に失敗しました。ソースによって再提出されました。
以前に合格	申告は監査プロセスに以前に合格しました。ソースによって再提出されました。

© 2026 Thomson Reuters



提供されたデータを評価するために申告を入力するには、[申告の監査] をクリックします。これにより、[ブローカーデータ監査詳細] 画面が新しいブラウザタブで開きます。

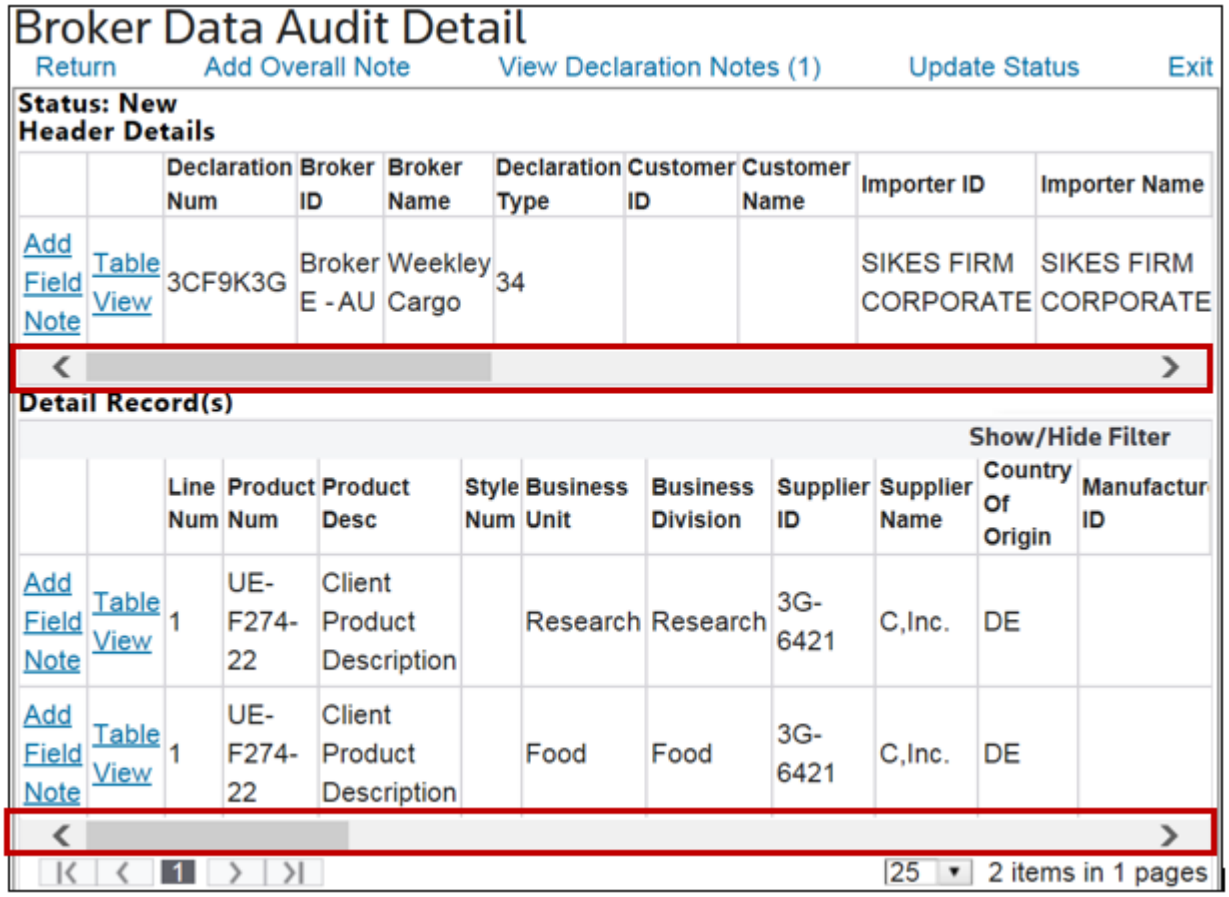


[ブローカーデータ監査詳細] 画面には、選択した申告のすべてのヘッダーと詳細レコードが表示されます。申告データは 2 つの形式で表示されます。

ブローカーデータ監査詳細（グリッドビュー）

データは、水平スクロールバー（ヘッダーと詳細のセクションの下部）を使用してレビューできます。別のスクロールバーが、ヘッダーと詳細データグリッド用に用意されています。

© 2026 Thomson Reuters



申告に関連付けられた詳細行の数が利用可能な領域を超えている場合、追加の垂直スクロールバーが表示されます。追加画面に移動するオプションも表示される場合があります。

詳細行の次のページに移動するには、をクリックします。

詳細行の最後のページに移動するには、をクリックします。

詳細行の前のページに移動するには、をクリックします。

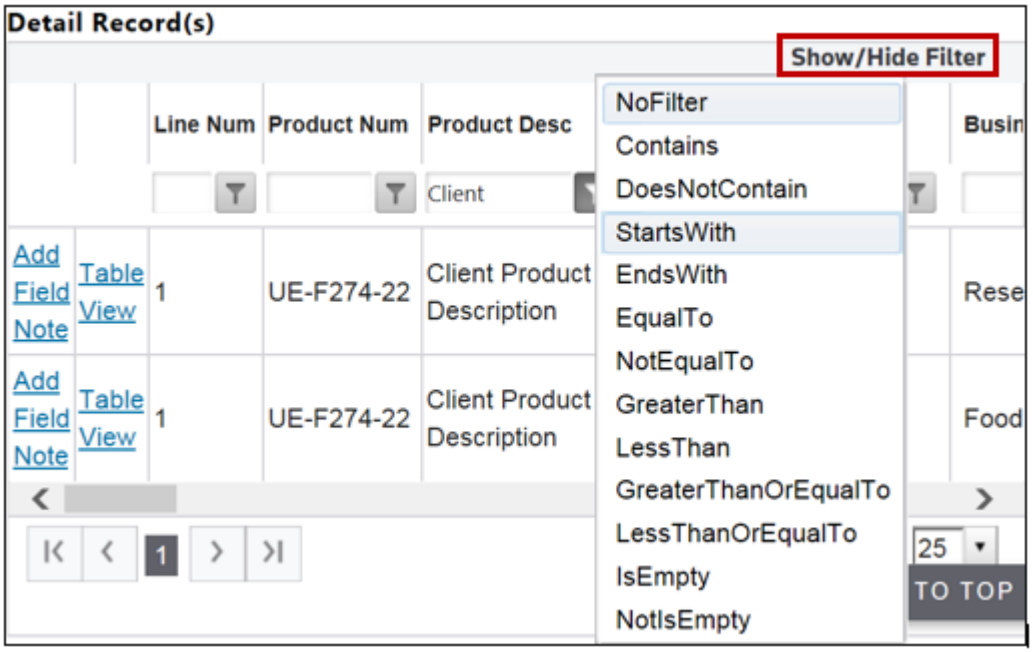
詳細行の最初のページに移動するには、をクリックします。

詳細グリッド内に表示される詳細行の数を更新するには、[ページサイズ:] オプションをより小さな数字か大きな数字に更新します。

詳細グリッド内のすべての列は、アルファベット順に並べ替えられます。任意の列名をクリックして、この機能を適用します。さらにフィルタリングを行うには、[フィルターの表示/非表示] をクリックし、追加のフィルターを任意の列に適用します。

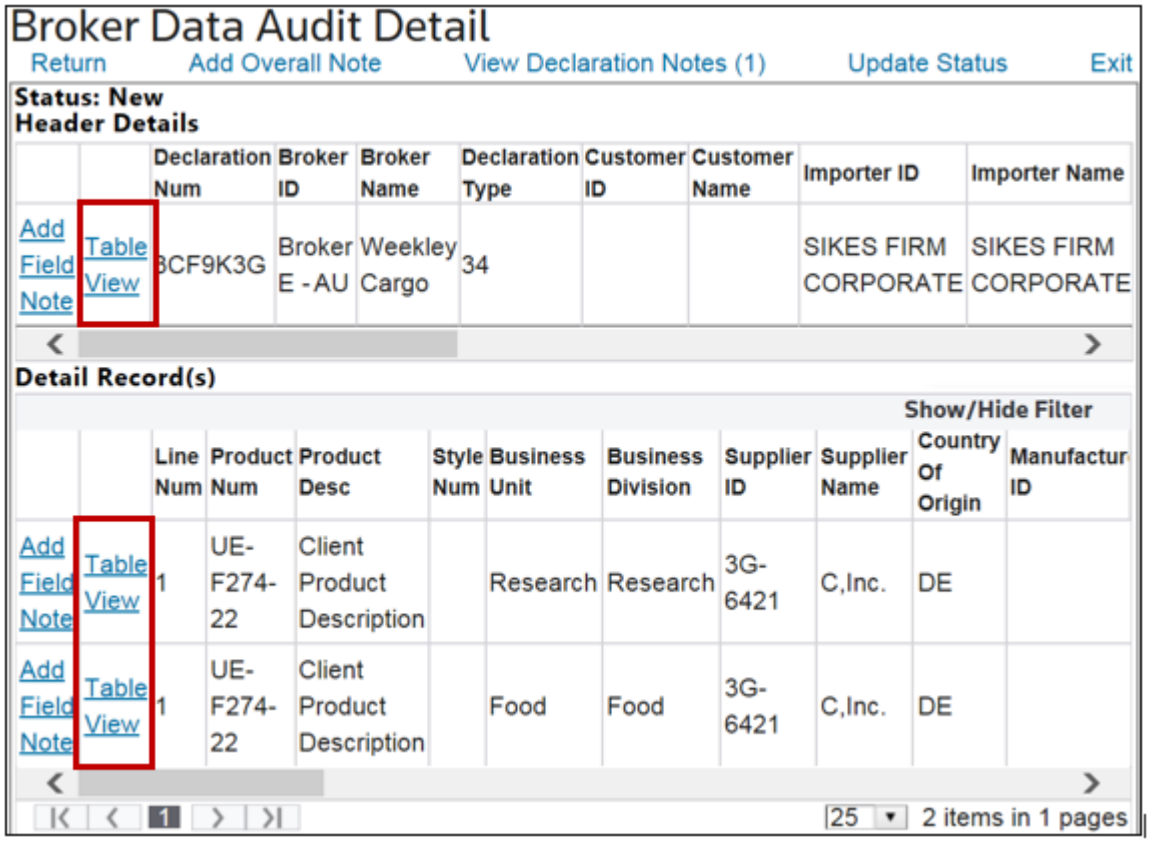
フィルターオプションは、列のデータタイプに応じて少し異なる場合があります。

© 2026 Thomson Reuters



ブローカーデータ監査詳細（テーブルビュー）

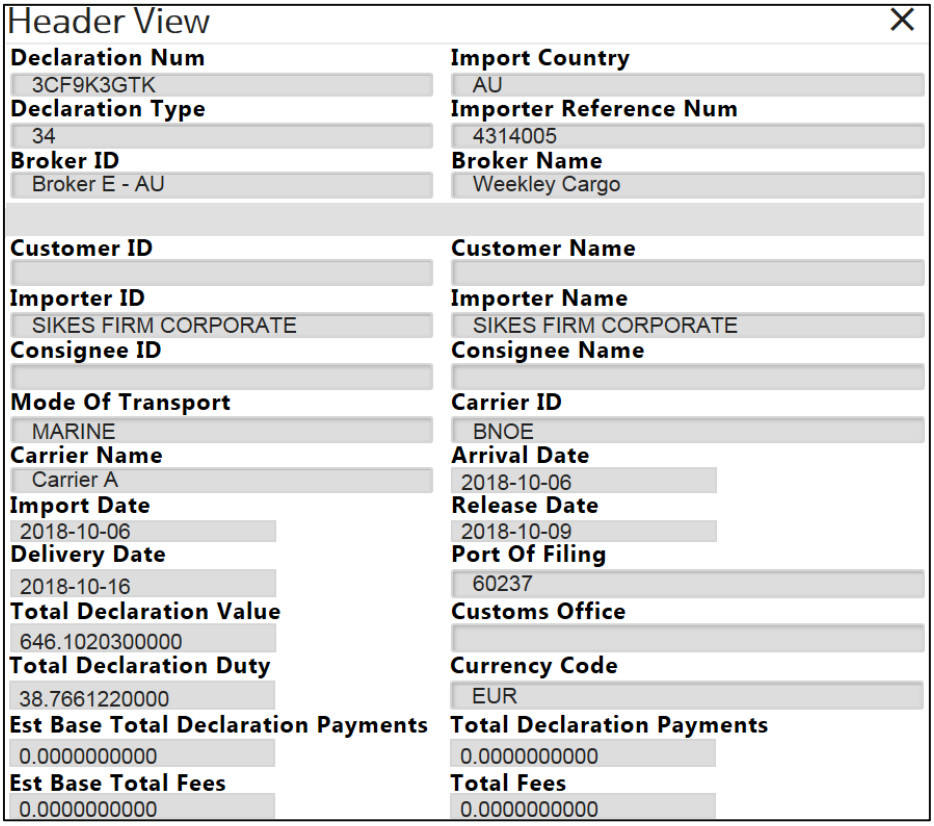
水平スクロールバー以外にも、[テーブルビュー] を介して申告ヘッダーと詳細レコードを表示できます。



© 2026 Thomson Reuters

[テーブルビュー] をクリックすると、ポップアップですべてのデータ要素が表示されます。[ヘッダービュー] ポップアップと [詳細ビュー] ポップアップは読み取り専用です（したがってユーザーは更新できません）。

[ブローカーデータ監査詳細] 画面に表示されたデータには、提供された通貨コードと実装中に設定された基準通貨コードに基づいて、為替レート計算値が ONESOURCE によって適用されています。



ブローカー監査注釈の追加

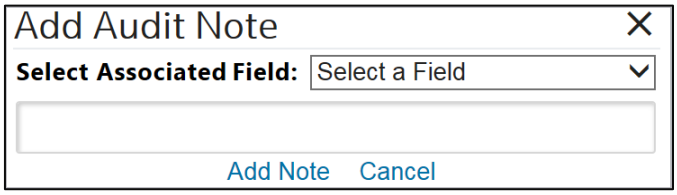
提供されたデータをレビューするときに、[ブローカーデータ監査詳細] 画面の 3 つの異なる場所（ヘッダー、詳細、全体）で注釈を追加できます。[監査注釈の追加] ポップアップには、すべての利用可能なヘッダー/詳細フィールドのドロップダウンと、注釈を追加できるテキストボックスが含まれます。

注釈を保存するには、[注釈を追加] をクリックします。

[監査注釈の追加] ポップアップを終了するには、[キャンセル] をクリックします。

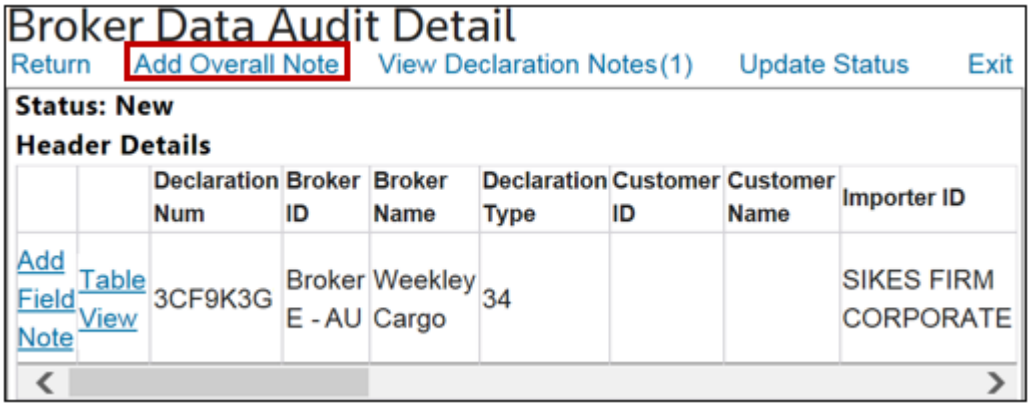
ヘッダー [項目注釈の追加]	ヘッダーレベルの項目に注釈を関連付けます。
詳細 [項目注釈の追加]	詳細行レベルの項目に注釈を関連付けます。注釈は、それが追加された個々の行と結合します。

© 2026 Thomson Reuters

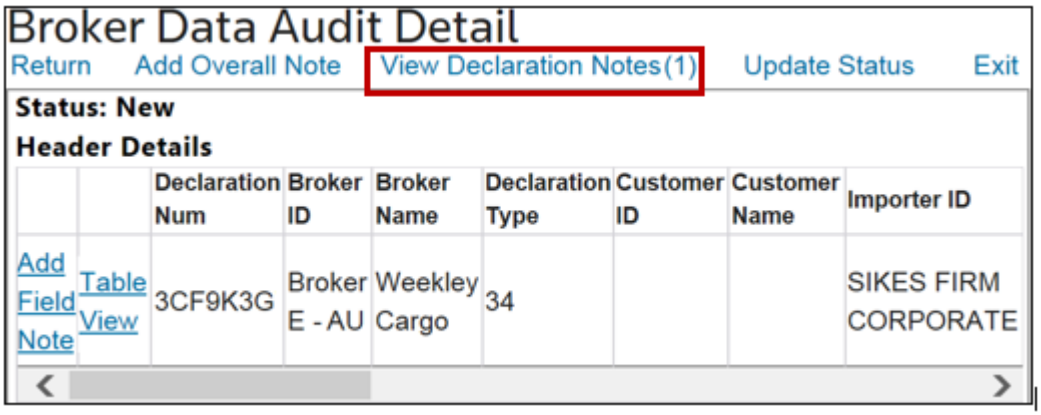


全体注釈の追加

申告全体に全体注釈を追加するには、[全体注釈を追加]（画面の右上）をクリックします。全体注釈には関連付けられた項目はありません。



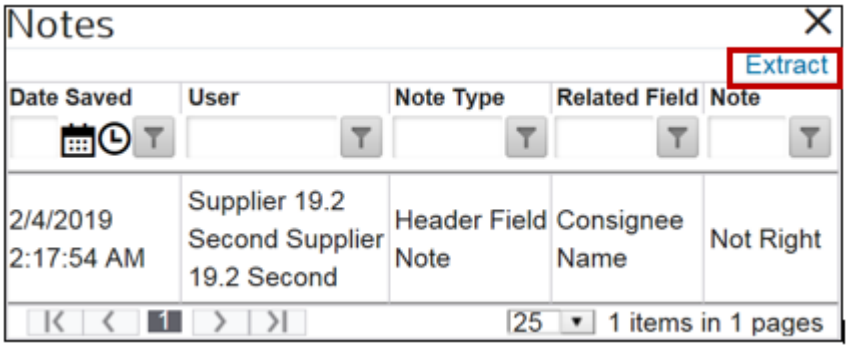
[監査注釈の追加] ポップアップには、注釈の記述用のテキストボックスだけが含まれます。注釈を保存するには、[注釈を追加] をクリックします。[監査注釈の追加] ポップアップを終了するには、[キャンセル] をクリックします。申告に追加される注釈の数は、[申告注釈の表示] リンク（画面の右上）の横に表示されます。リンクをクリックして注釈を表示します。



© 2026 Thomson Reuters

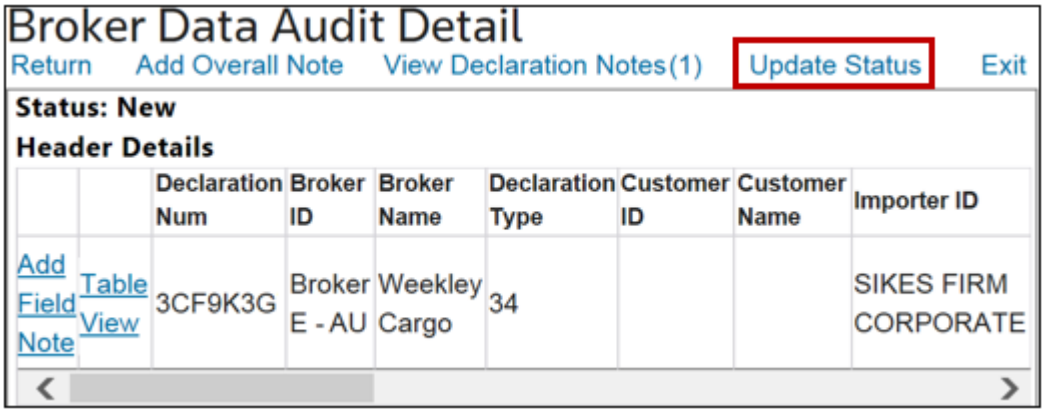
[注釈] ポップアップが開き、申告に追加された [ヘッダー]、[詳細]、[全体] の注釈すべてを含んだグリッドが表示されます。このグリッドでは、注釈を追加したユーザーの名前と、注釈が追加された日付も表示されます。各列には、検索機能のほか、Excel スプレッドシートに情報を抽出するオプションも含まれます。申告に関連付けられたすべての注釈を抽出するには、[抽出]（右上隅）をクリックします。

注釈: 注釈は削除できません。



監査ステータスの設定

申告レビュープロセスが完了したら、ユーザーは搬入ステータスを更新するように要求されます。搬入ステータスを更新するには、[ステータスの更新]（画面の右上）をクリックします。



[ステータスの更新] ポップアップが開き、[ステータスを選択:] ドロップダウンとテキストボックスが含まれています。

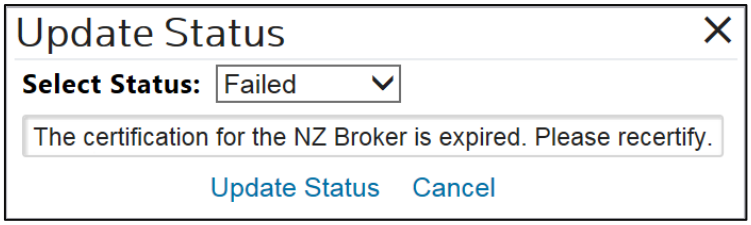
[ステータスを選択] ドロップダウンオプション	説明
進行中	ユーザーは申告のレビューを開始しましたが、レビューを完了していません。
合格	注釈: 申告は自動的には [進行中] ステータスを設定しません。

© 2026 Thomson Reuters

[ステータスを選択] ドロップダウンオプション	説明
失敗	ユーザーは申告をレビューし、気になる点がありませんでした。

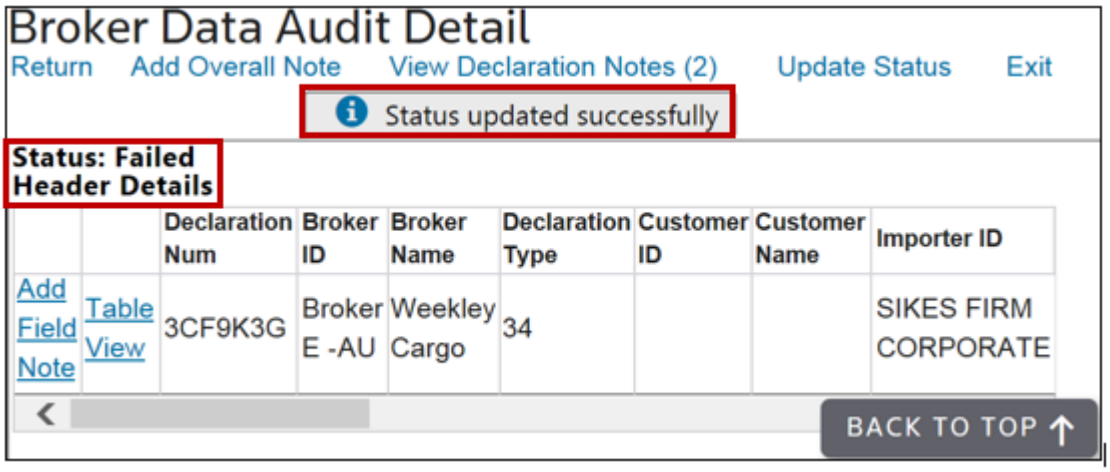
ステータスを選択し、確認の注釈を追加します。注釈が追加されるまで、これ以上進捗が行えません。ステータスを選択し、注釈を追加すると、[ステータスの更新] をクリックしてプロセスを完了します。これにより、[ステータスの更新] ポップアップが閉じ、[ブローカーデータ監査詳細] 画面に戻ります。

変更を行わずに [ステータスの更新] ポップアップを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



ステータスが更新されると、[ステータスが正常に更新されました] メッセージが、画面の上部に表示されます。さらに、ステータスは左上隅で更新されます。

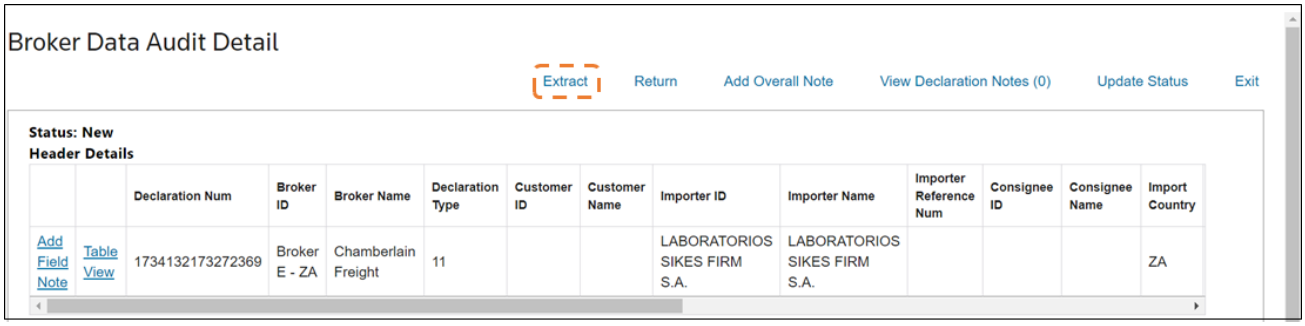
[ブローカーデータ監査管理] 画面に戻るには、[戻る] をクリックします。



申告詳細の抽出

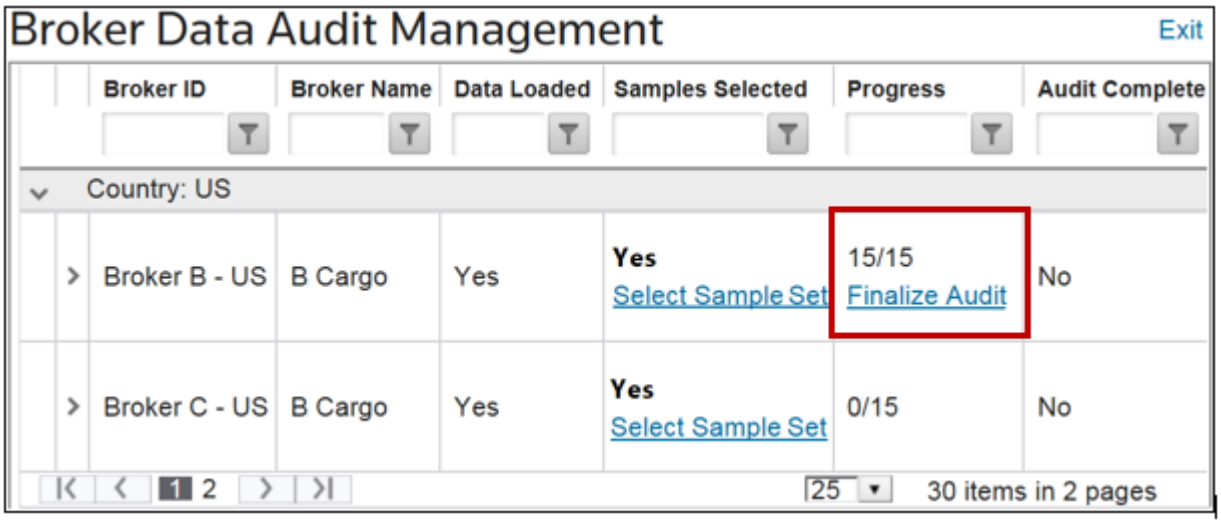
申告の情報を Excel スプレッドシートに抽出するには、[抽出] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



ブローカーデータ監査エントリの更新

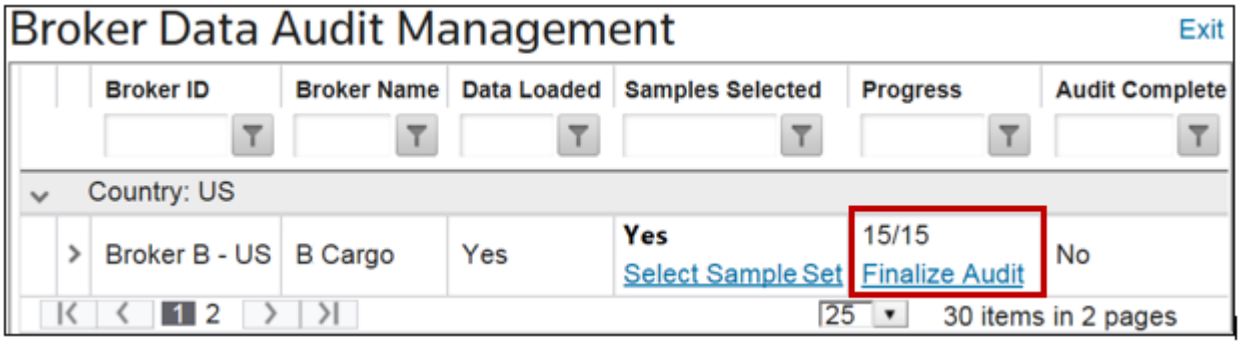
エントリに [失敗] ステータスが与えられると、レビューするサンプルエントリを再選択する必要があります。輸入国/ブローカーの組み合わせを転記するには、15 件のエントリのうち 15 件すべてが監査プロセスに合格する必要があります。



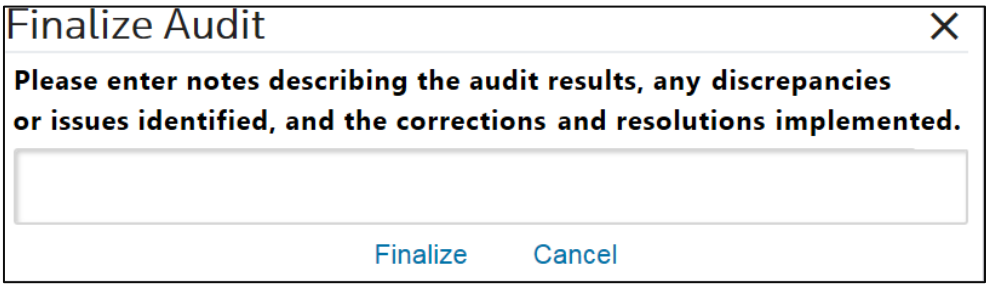
ブローカーデータ監査の転記

輸入国/ブローカーの組み合わせを転記するには、[合格] ステータスの 15 件の申告のうち 15 件が必要です。これが行われると、[ブローカーデータ監査管理] 画面の [進捗] 列には、[監査の転記] リンクが表示されます。15 件の申告すべてが [合格] ステータスで確認されたら、[監査の転記] をクリックします。監査が転記されると、転記を取り消すことはできません。

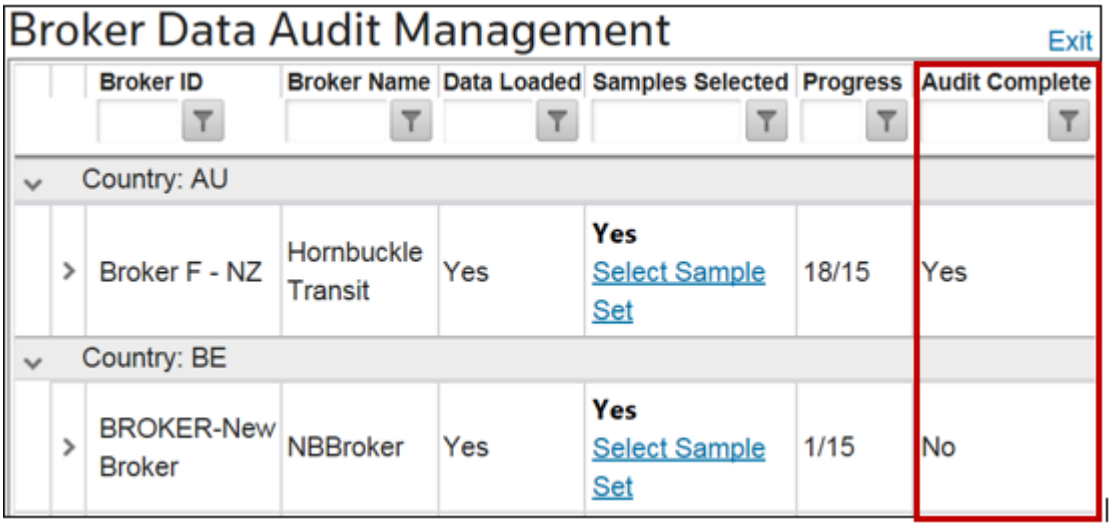
© 2026 Thomson Reuters



[監査を転記] をクリックすると、[監査を転記] ポップアップが開きます。続行するには注釈を追加する必要があります。注釈が追加された後、[転記] をクリックし、輸入国/ブローカー監査を完了し、ポップアップを閉じます。転記をキャンセルし、ポップアップを終了するには、[キャンセル] をクリックします。



[監査完了] 列で監査レコードに対して [はい] と表示されていれば、輸入国/ブローカー監査プロセスは完了です。



© 2026 Thomson Reuters

GTV 検索

[GTV 検索] 画面では、ビジネスユーザーが GTV データを詳細に認識できるようにすることを目的とした強力な検索およびレポートツールにアクセスできます。この画面は、メインメニューから [Global Trade Visibility] を選択し、[GTV 検索] を続けて選択すると、メニューリボンからアクセスできます。

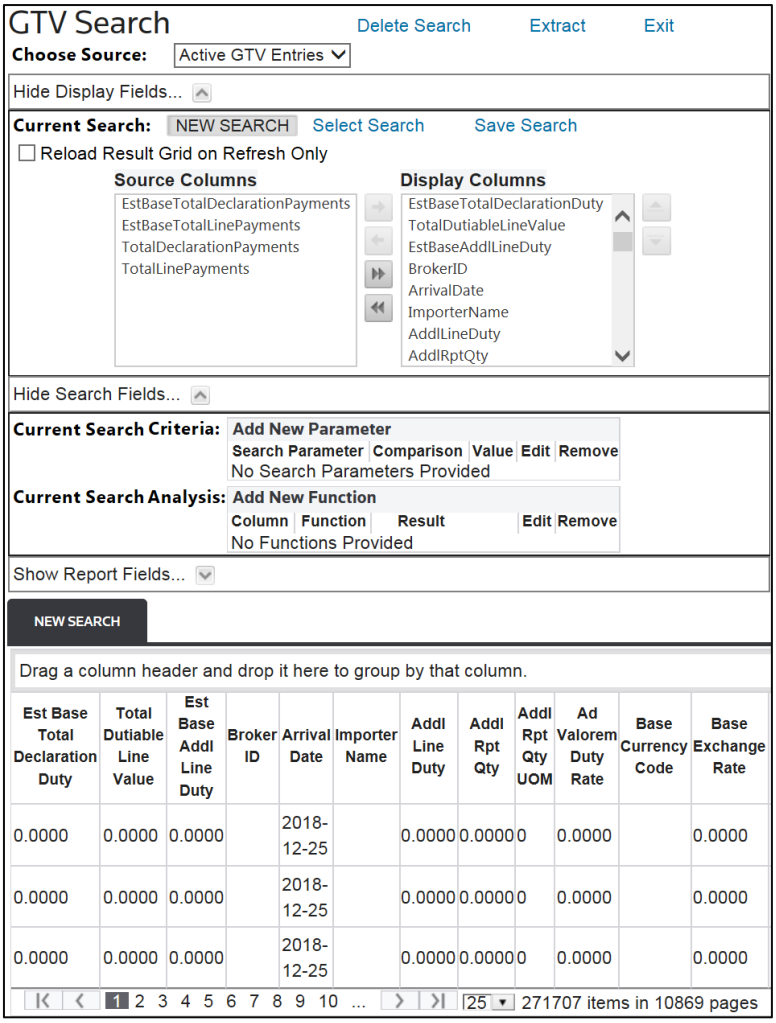
[GTV 検索] 画面の検索機能を使用すると、GTV データのデータ検索、カスタムのクエリ作成、クエリの保存と共有、他のユーザーまたは第三者へのレポートのエクスポートを行えます。[GTV 検索] 画面の機能には、GTV データに対して検索を実行する機能が含まれます。

[ソースを選択] ドロップダウンには、以下を含む複数のオプションがあります。

- アクティブな GTV エントリ
- 現在の検索の検索パラメータを表示する
- 検索パラメータを修正する機能
- 将来使用するために検索を保存する機能
- 「保存した」検索を共有する機能
- スプレッドシートに結果をエクスポートするオプション
- ドラッグしドロップする機能を使用してデータセットを作成し修正する機能

上記の機能を使用すると、GTV アプリケーションに含まれている内容に関する重要な情報を明らかにする場合に役立つクエリを簡単に作成することが可能です。[GTV 検索] の利点は、ユーザーだけでなく組織全体にとって最も重要なクエリとレポートを簡単に作成できることにあります。

© 2026 Thomson Reuters

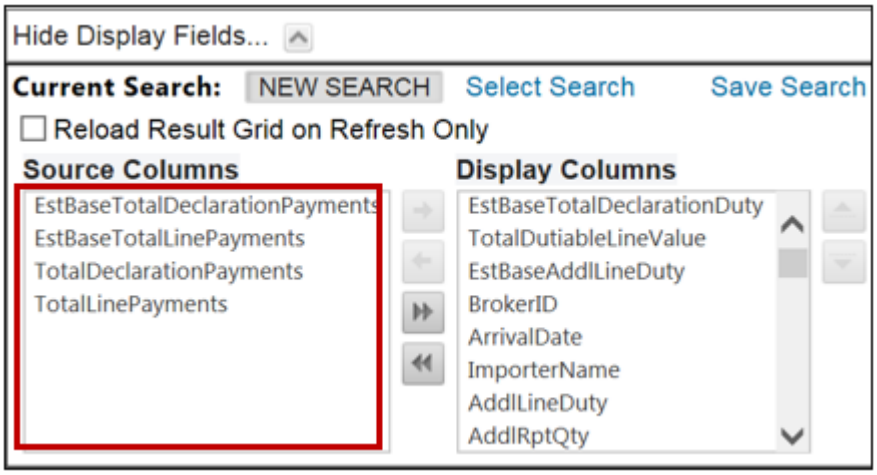


GTV 検索の使用

[GTV 検索] は複数のセクションに配置され、各セクションはクエリ作成の異なる目的に使用します。[GTV 検索] の使用を開始するには、どのレコードを検索するかを [ソースを選択] ドロップダウンから選択します。

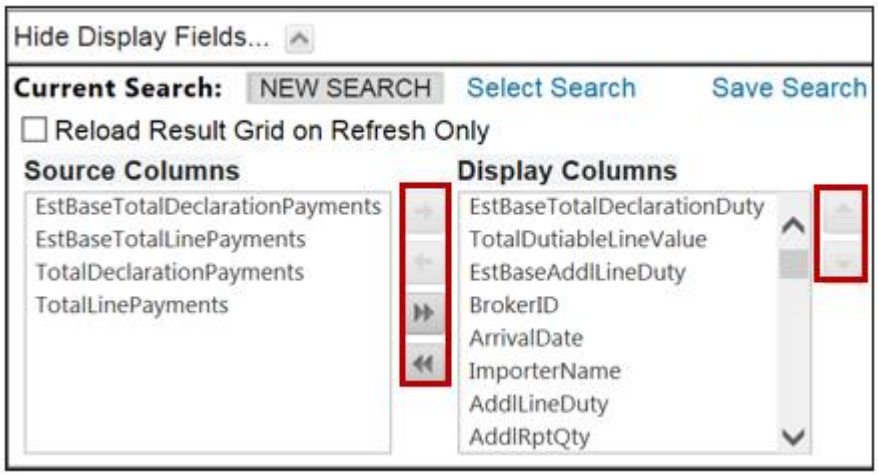
ソースを選択すると、画面の [表示項目] セクションに移動して、クエリのデータセットを作成します。[ソース列] に表示される項目は、[ソースを選択] フィルターでユーザーが選択したソースによって決まります。[ソース列] には、ソース表から利用できるすべての項目が表示されます。

© 2026 Thomson Reuters



次に、[ソース列] から必要な項目を選択し、[表示列] にそれらを移行することにより、データセットを作成します。これは、利用可能な項目をドラッグアンドドロップし、一方から他方に移動するか、提供された矢印（/）を使用して、[ソース列] 側から [表示列] 側、またはその反対に項目を移動することで行えます。

さらに、ボタンを使用するか、項目をドラッグして目的の場所まで移動させることにより、項目の順序を変更できます。



© 2026 Thomson Reuters

すべての項目を選択し、適切に並べ替えると、画面の [レポート項目] セクションにデータを表示できます。新しく作成した検索はすべて、[新規検索] タブの下に含められます。ここに表示された検索はまだ保存されていません。検索の保存の詳細については「検索を保存」セクションで説明します。

NEW SEARCH

Drag a column header and drop it here to group by that column.

Est Base Total Declaration Duty	Total Dutiable Line Value	Est Base Addl Line Duty	Broker ID	Arrival Date	Importer Name	Addl Line Duty	Addl Rpt Qty	Addl Rpt Qty UOM	Ad Valorem Duty Rate	Base Currency Code	Base Exchange Rate
0.0000	0.0000	0.0000		2018-12-25		0.0000	0.0000	0	0.0000		0.0000
0.0000	0.0000	0.0000		2018-12-25		0.0000	0.0000	0	0.0000		0.0000
0.0000	0.0000	0.0000		2018-12-25		0.0000	0.0000	0	0.0000		0.0000

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 25 271707 items in 10869 pages

データセットが作成されると、[検索項目] セクションで利用できる検索機能を使用して、データセットに含まれる重要な情報を検索し始めることができます。

[現在の検索条件] セクションでは、検索条件（[検索パラメータ]、[比較]、[値]）を決定してさらに検索を絞り込むことができます。

検索条件の項目を有効にするには、[新しいパラーメータを追加] をクリックします。

Hide Search Fields...

Current Search Criteria: Add New Parameter

Search Parameter | Comparison | Value | Edit | Remove

No Search Parameters Provided

Current Search Analysis: Add New Function

Column | Function | Result | Edit | Remove

No Functions Provided

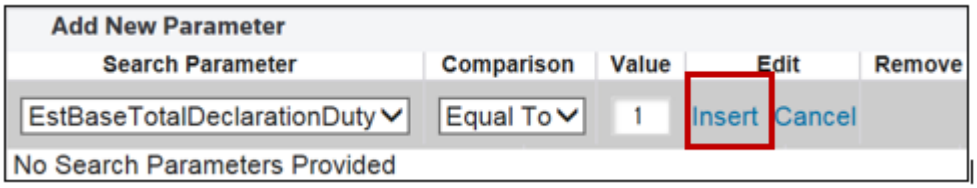
[検索パラメータ] ドロップダウンを使用して、検索パラメータを選択します（たとえば、[注文番号]）。ドロップダウンの利用可能な選択肢は、データセットの作成時に選択された項目によって決まります。[検索パラメータ] ドロップダウンに表示された項目は、[レポート項目] データセットの列名に一致します。

[比較] ドロップダウンを使用して、比較検索パラメータを選択します（たとえば、[含む]）。

[値] フィールドを使用して、検索で使用する値（たとえば「1」）を入力します。

3 つすべての検索パラメータを入力したら、[挿入] をクリックして検索を続けるか、[キャンセル] をクリックして検索パラメータをクリアします。

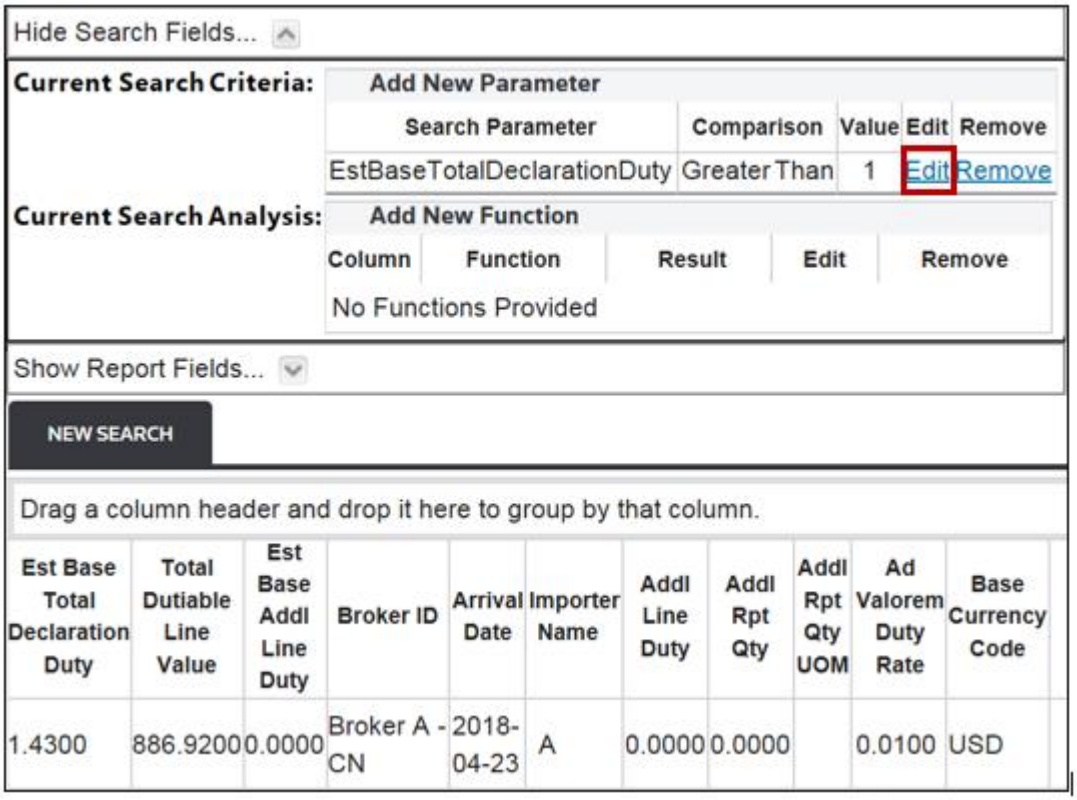
© 2026 Thomson Reuters



[挿入] をクリックすると、入力した検索パラメータに基づいてクエリが実行されます。クエリの結果は下の例のように強調表示されます。

上記の手順に従って、追加の検索パラメータを追加できます。

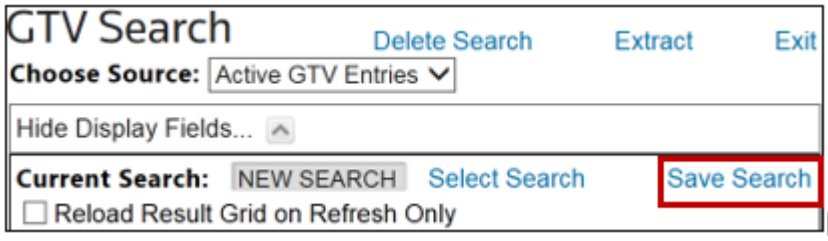
既存の検索パラメータを編集するには、[検索項目] セクションで [編集] をクリックします。



検索の保存

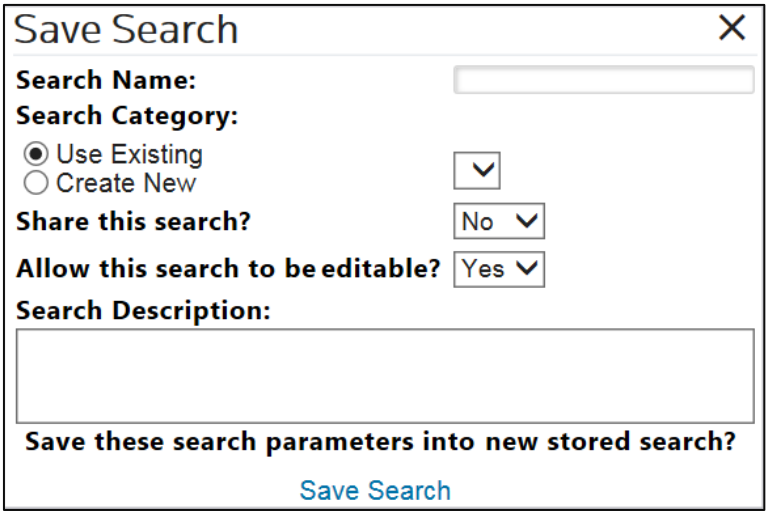
[GTV 検索] 画面では、将来再利用するために検索条件を保存できます。検索パラメータが定義され、ユーザーが検索を再び使用すると考えている場合は、画面の [表示項目] セクションの [検索を保存] をクリックします。

© 2026 Thomson Reuters



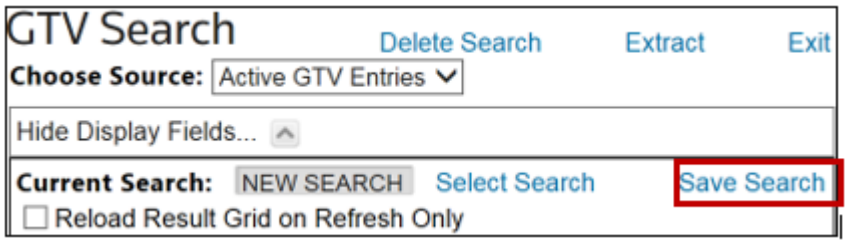
[検索名] フィールドに検索の名前を入力し、[検索を保存] をクリックします。さらに、[GTV 検索] により、保存した検索を保存するカテゴリ、つまりフォルダの作成が可能です。

既存のカテゴリ下に検索を保存するには、[既存のものを使用] ドロップダウンを開き、検索を保存するカテゴリを選択し、[検索を保存] をクリックします。「レポートフィールド」セクションに表示されるタブ名が、新たに保存した検索の名前に変わります。保存した検索の検索方法については、「保存した検索の取得」のセクションで詳しく説明します。



保存した検索の「カテゴリ」の作成

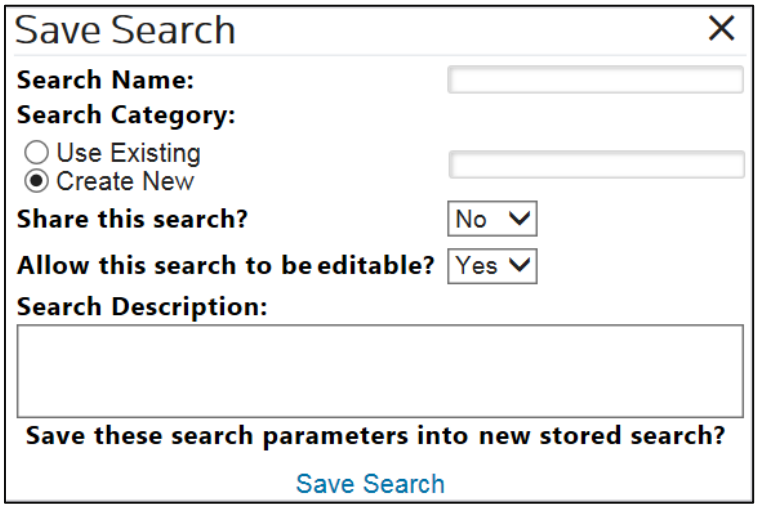
新しいカテゴリを作成するには、[検索を保存] をクリックします。このアクションにより、[検索を保存] ポップアップが開きます。



© 2026 Thomson Reuters

[検索を保存] フィールドで [新規作成] をクリックします。検索が、他のユーザー間で共有可能か編集可能であるかを決定します。どちらかに対し「はい」である場合は、個々のドロップダウンで [はい] をクリックします。

保存した検索を簡単に見つけるには、ポップアップの下部で検索を保存するときに、検索可能な説明を含めることができます。一度保存すると、説明のキーワードを使って類似の検索を探したり、保存された検索を見つけたりすることができます。

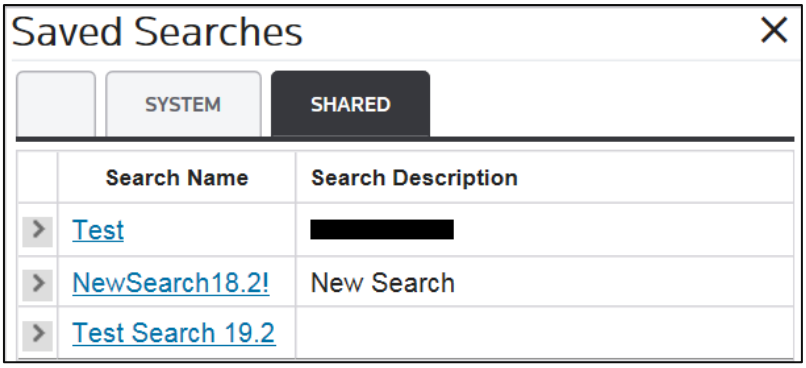


保存した検索の取得

保存した検索を取得するには、[検索を選択] をクリックします。

利用可能なタブは、ユーザーが作成したカテゴリであるか、利用可能な保存した検索すべてを含む [保存した検索] です。

© 2026 Thomson Reuters



保存した検索の編集/コピー

一度保存した検索は、編集したり、新しい検索のベースラインとしてコピーしたりすることができます。

既存の検索を編集するには、[ソースを選択] ドロップダウンを使用してカテゴリを選択し開きます。検索が読み込まれたら、「GTV 検索の使用」のセクションで以前に説明した手順を使用して、目的の検索パラメータを修正します。

検索名、共有ステータス、検索の説明を編集するには、[検索を編集] をクリックします。このアクションにより、[検索を編集] ポップアップが開きます。必要な変更を加えて保存します。

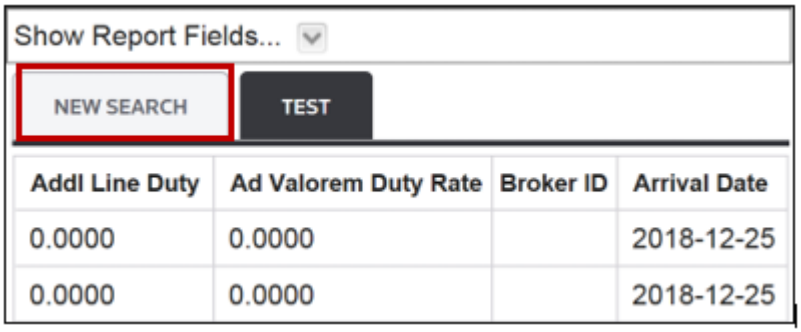
保存した検索をコピーするには、前に詳しく説明した手順を使用して保存した検索を開き、[検索を新規検索にコピー] をクリックします。これにより、画面で保存した検索をコピーし、新規検索を作成できます。

新規検索を作成したら、前述の手順に従って検索を作成して保存します。

新規検索の作成

新しい検索を開始するには、[レポート項目] セクションの [新規検索] タブをクリックします。ここから、「搬入検索の使用」セクションの説明に従って、新しい検索を作成し、新しい検索パラメータを追加します。

© 2026 Thomson Reuters



抽出機能の使用

検索結果をExcelスプレッドシートにエクスポートするには、[抽出] をクリックしてください。Excel スプレッドシートをダウンロードしてローカルに保存できます。

[検索を削除] オプションの使用

[検索を削除] オプションは、[GTV 検索] 画面をリセットし、すべての検索パラメータおよび/または選択した保存済みの検索を画面から消去します。

用語と主要定義

このセクションでは、このドキュメントでよく使用される用語を定義して、すべての当事者が共通の語彙を使用するようにします。

© 2026 Thomson Reuters

システム用語	説明
カテゴリ	GTV 内でレポートをカタログ化する最も広いレベル。カテゴリは、左側の引き出し式ナビに置かれ、複数の関連付けられたビューがあります。
ビュー	GTV 内でレポートをカタログ化する中レベル。ビューは、GTV レポート画面で垂直方向に配置されており、複数の関連付けられたレポートがあります。
レポート	GTV 内のクライアントデータを表示するグラフ/グリッド。レポートは、GTV レポート画面で水平方向に配置されています。
フィルター	レポートに追加されたパラメータ。フィルターは、レポートの表示範囲を絞り込みます。
対象	2 つのレポートを接続する行為。

日付の用語	説明
YoY（前年比）	カレンダー年の初めから前年の同じ月までで去年のデータと比べた現在のカレンダー年データ。
YTD（年初来）	現在のカレンダー年の 1 月に始まり今日の日付までの月ごとに示されたデータ。
FY（会計年度）	クライアントの会計報告期間（カレンダー年とは異なる）。
-365（通年ビュー）	今日の日付から 365 日さかのぼった通年の情報。

© 2026 Thomson Reuters